

高齢者保健福祉や地域福祉に関する実態調査 報告書

令和 8 年 3 月

小 牧 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	2
II	調査結果.....	3
1	一般高齢者調査.....	3
A	本人、家族の状況などについて.....	3
B	本人の健康状況などについて.....	6
C	本人の日常生活の状況などについて.....	14
D	暮らし向きや仕事や生きがいについて.....	22
E	あなたとまわりの人の「たすけあい」について.....	33
F	認知症や介護について.....	39
G	介護保険サービス以外の福祉サービスについて.....	44
H	成年後見制度について.....	47
I	保健・福祉・介護の制度全般について.....	51
2	介護保険認定者実態調査.....	52
A	ご本人について.....	52
B	介護サービスの利用などについて.....	60
C	介護保険サービス以外の福祉サービスについて.....	67
D	成年後見制度について.....	72
E	ケアマネジャー（居宅サービス計画を作る人）について.....	74
F	主に宛名の方を介護している方について.....	75
G	保険・福祉・介護の制度全般について.....	82
3	在宅介護実態調査（対面）.....	83
A票	認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目.....	83
B票	主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目.....	90

4 介護保険事業所調査.....	93
（1）事業所の概要.....	93
（2）介護サービスの状況.....	95
（3）在宅介護の支援.....	96
（4）要支援者・事業対象者の支援について.....	100
（5）貴事業所の介護人材について.....	101
（6）施設サービス事業所・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入所者 生活介護事業所の入所状況について.....	106
（7）BCP（業務継続計画）について.....	107
（8）ICTを利用した業務について.....	109
（9）介護情報基盤の活用について.....	111
（10）小牧市の介護保険事業について.....	112

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第10期介護保険事業計画」を策定するにあたり、市民の生活状況や要望、地域福祉活動に関する状況等を把握し、計画の基礎資料とするために実施したものです。

2 調査対象

一般高齢者調査：65歳以上で介護保険の要介護（要支援）認定を受けていない方

介護保険認定者実態調査：介護保険の要介護（要支援）認定を受けている方

在宅介護実態調査（対面）：在宅の介護保険の要介護（要支援）認定者で、更新、区分変更申請を行った方

介護保険事業所調査：市内のサービス事業者連絡会加入事業所、特定施設及び地域包括支援センター

3 調査期間

令和7年12月16日～令和8年1月9日

※在宅介護実態調査（対面）は令和8年3月31日まで調査期間を延長しました。

4 調査方法

一般高齢者調査：郵送配布、郵送・WEB併用回収

介護保険認定者実態調査：郵送配布、郵送・WEB併用回収

在宅介護実態調査（対面）：直接配布、回収

介護保険事業所調査：郵送配布、郵送・WEB併用回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	有効回答率
一般高齢者調査	2,000件	郵送 1,257件	66.8%
		WEB 79件	
介護保険認定者実態調査	1,000件	郵送 520件	56.3%
		WEB 43件	
在宅介護実態調査		対面 482件	
介護保険事業所調査	138件	郵送 102件	73.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

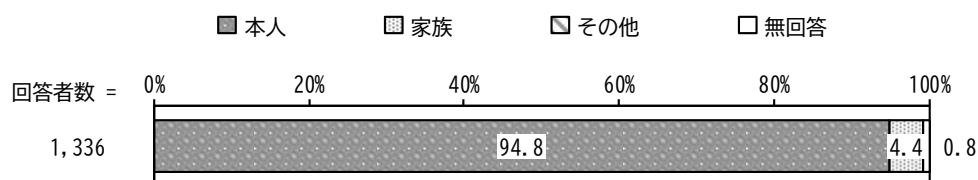
Ⅱ 調査結果

1 一般高齢者調査

A 本人、家族の状況などについて

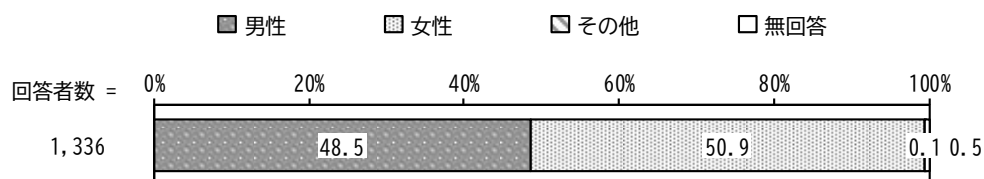
問1 この調査票の回答を記入される方はどなたですか。(○は1つ)

「本人」の割合が94.8%、「家族」の割合が4.4%となっています。



問2 あなた（以下、宛名の方本人を「あなた」といいます）の性別はどちらですか。(○は1つ)

「男性」の割合が48.5%、「女性」の割合が50.9%となっています。

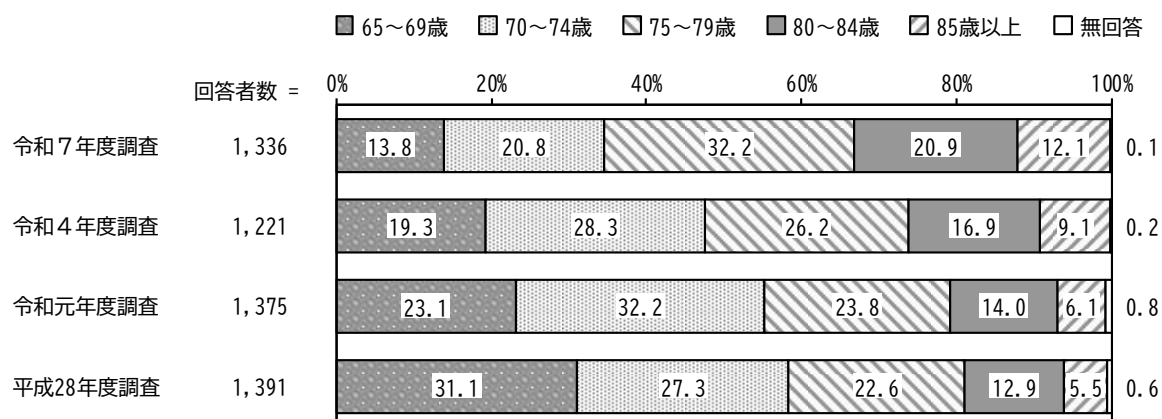


問3 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

「75～79歳」の割合が32.2%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が20.9%、「70～74歳」の割合が20.8%となっています。

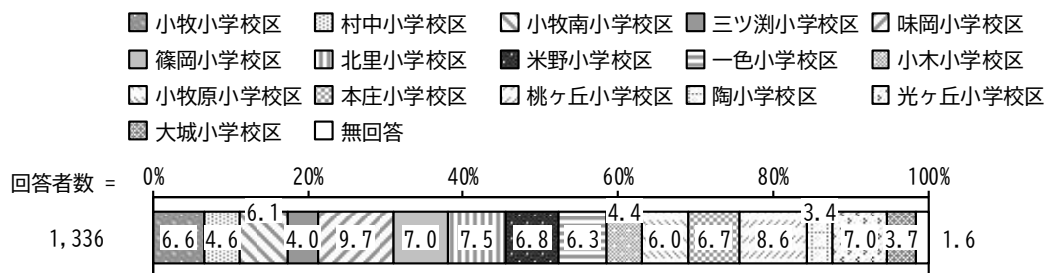
過去調査と比較すると、平成28年度調査から「75～79歳」「80～84歳」「85歳以上」の割合が増加しています。一方、「65～69歳」の割合が減少しています。

また、令和4年度調査から「70～74歳」の割合が減少しています。



問4 あなたのお住まいの小学校区は、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

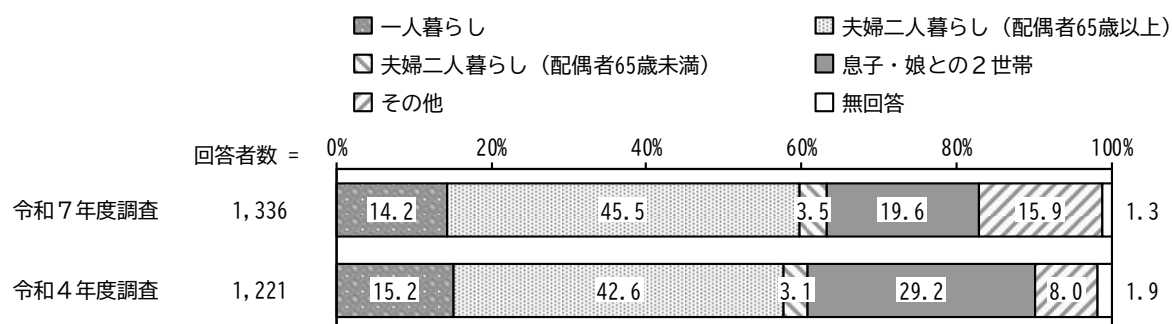
「味岡小学校区」の割合が9.7%と最も高くなっています。



問5 家族構成を教えてください。(〇は1つ)

「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が 19.6%、「一人暮らし」の割合が 14.2%となっています。

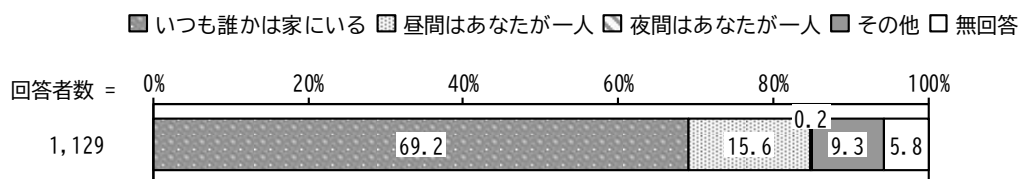
令和4年度調査と比較すると、「息子・娘との2世帯」の割合が減少しています。



※夫婦と子ども世帯で、本来「息子・娘との2世帯」と回答すべき方が、「その他」として回答された方が81名いらっしゃいました。その人数を足すと、令和4年度調査と大きな差はみられません。

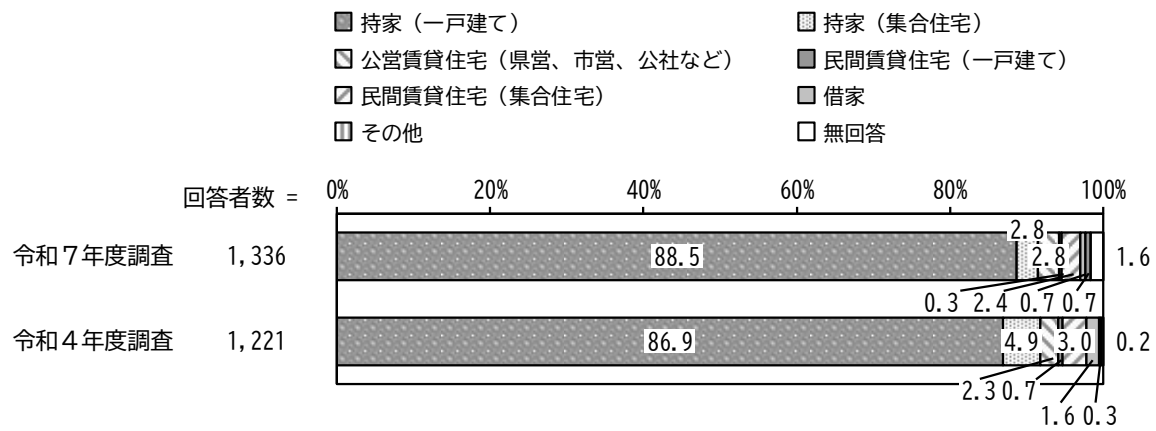
問5-1 問5で「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」～「その他」の誰かと一緒に住んでいると回答された方にお尋ねします。一緒に住んでいる方の状況はいかがですか。(〇は1つ)

「いつも誰かは家にいる」の割合が 69.2%、「昼間はあなたが一人」の割合が 15.6%、「夜間はあなたが一人」の割合が 9.3%、「夜間はあなたが一人」の割合が 0.2%となっています。



問6 あなたのお住まいの形態はどれですか。(○は1つ)

「持家（一戸建て）」の割合が88.5%と最も高くなっています。
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

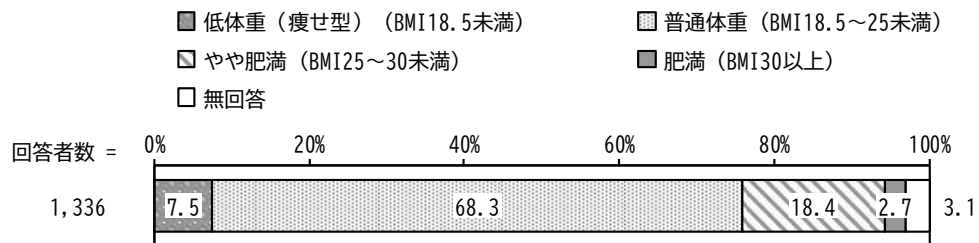


B 本人の健康状況などについて

問7 身長・体重をご記入ください。

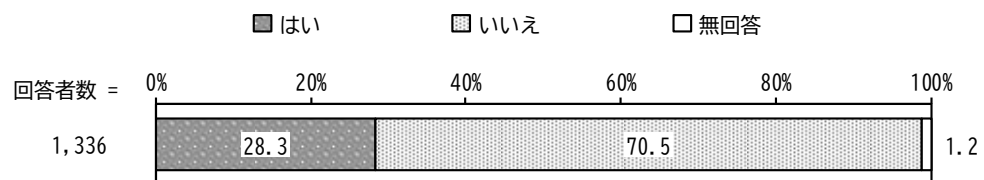
BMI

「普通体重 (BMI18.5～25 未満)」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「やや肥満 (BMI25～30 未満)」の割合が 18.4%となっています。



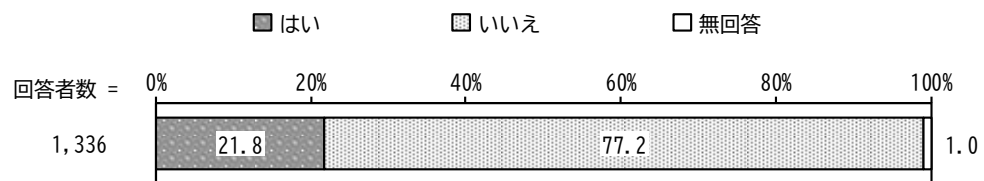
問8 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が 28.3%、「いいえ」の割合が 70.5%となっています。



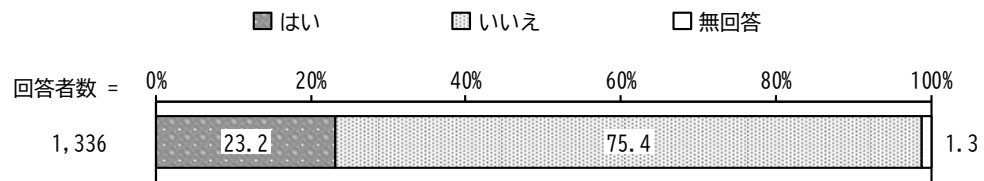
問9 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 21.8%、「いいえ」の割合が 77.2%となっています。



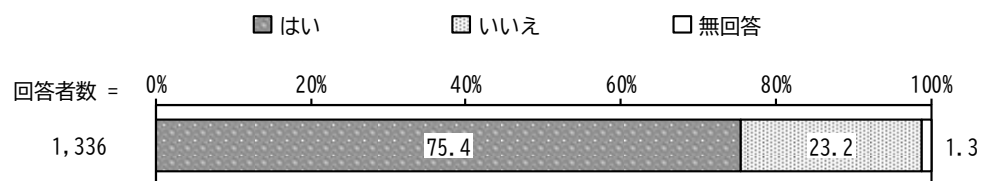
問 10 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 23.2%、「いいえ」の割合が 75.4%となっています。



問 11 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日2回以上、していますか。(○は1つ)

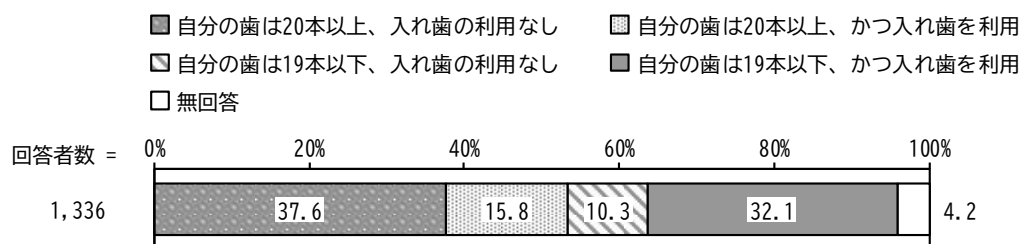
「はい」の割合が 75.4%、「いいえ」の割合が 23.2%となっています。



問 12 歯の本数と入れ歯の利用状況を教えてください。(○は1つ)

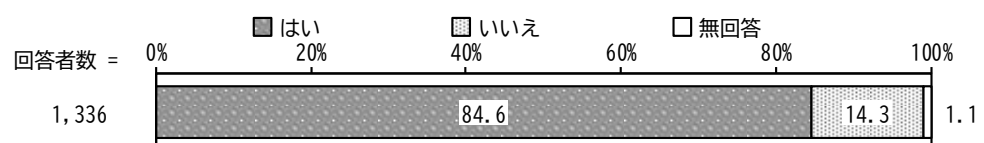
※成人の歯の総本数は親知らずを含めて 32 本です。

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 32.1%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 15.8%となっています。



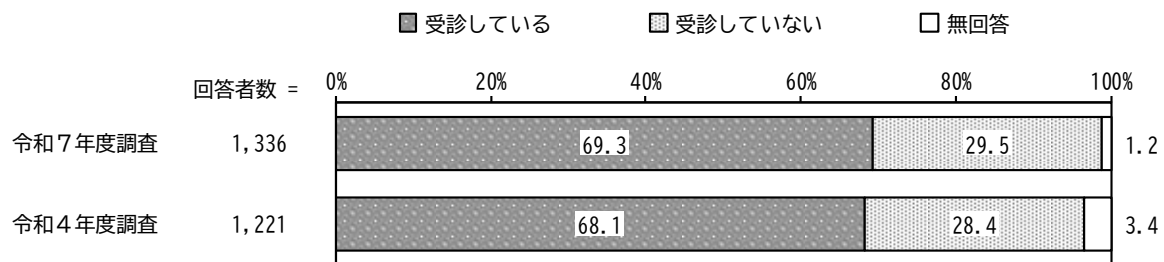
問 13 さきいか・たくあん位のかたさのものがかめますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 84.6%、「いいえ」の割合が 14.3%となっています。



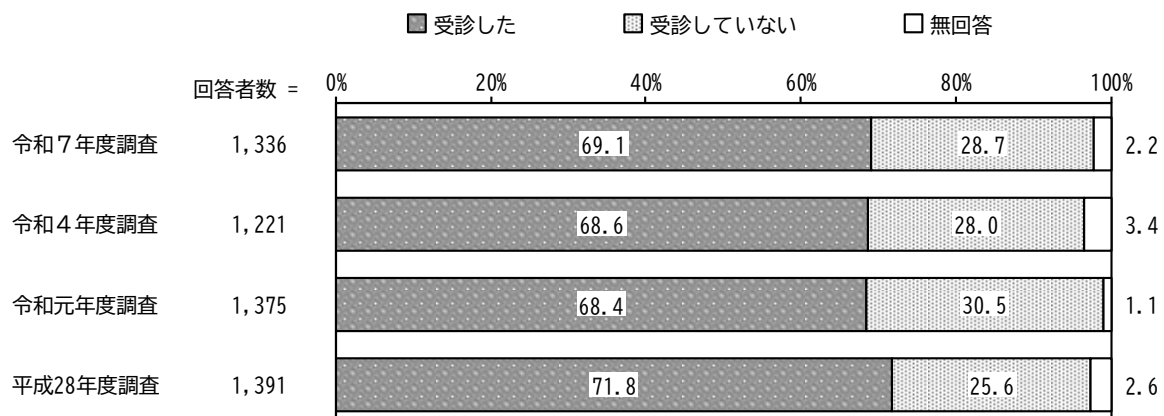
問 14 1 年間に 1 回以上は、歯科医院を受診していますか。(○は 1 つ)

「受診している」の割合が 69.3%、「受診していない」の割合が 29.5%となっています。
令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



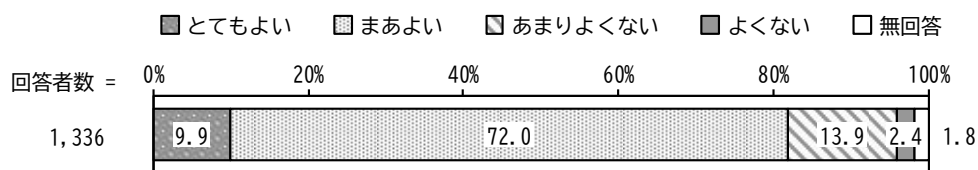
問 15 過去 1 年間に、特定健診・がん検診・人間ドック等の健診を受診しましたか。(○は 1 つ)

「受診した」の割合が 69.1%、「受診していない」の割合が 28.7%となっています。
過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 16 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

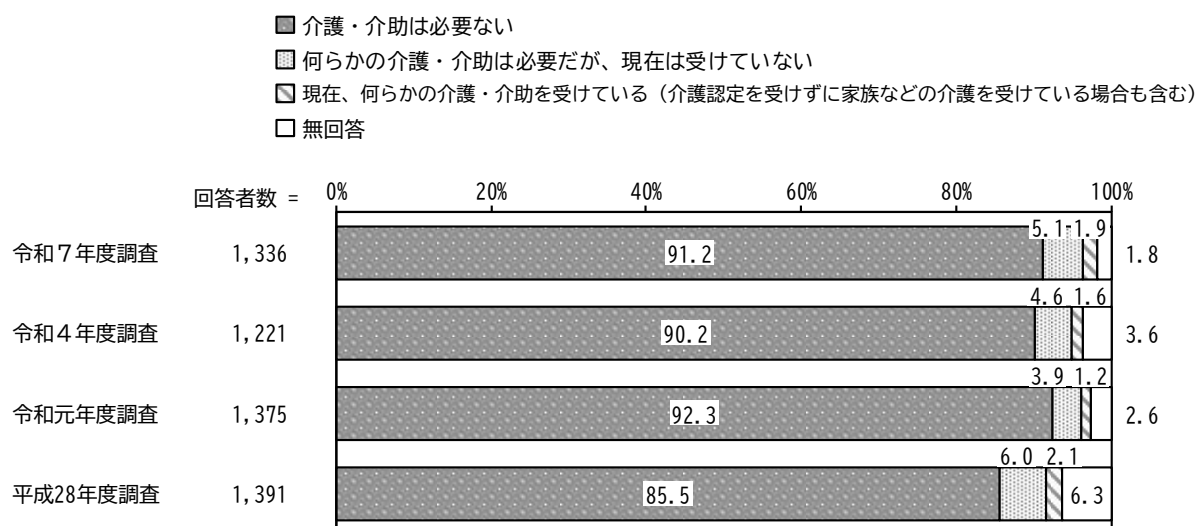
「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が81.9%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が16.3%となっています。



問 17 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

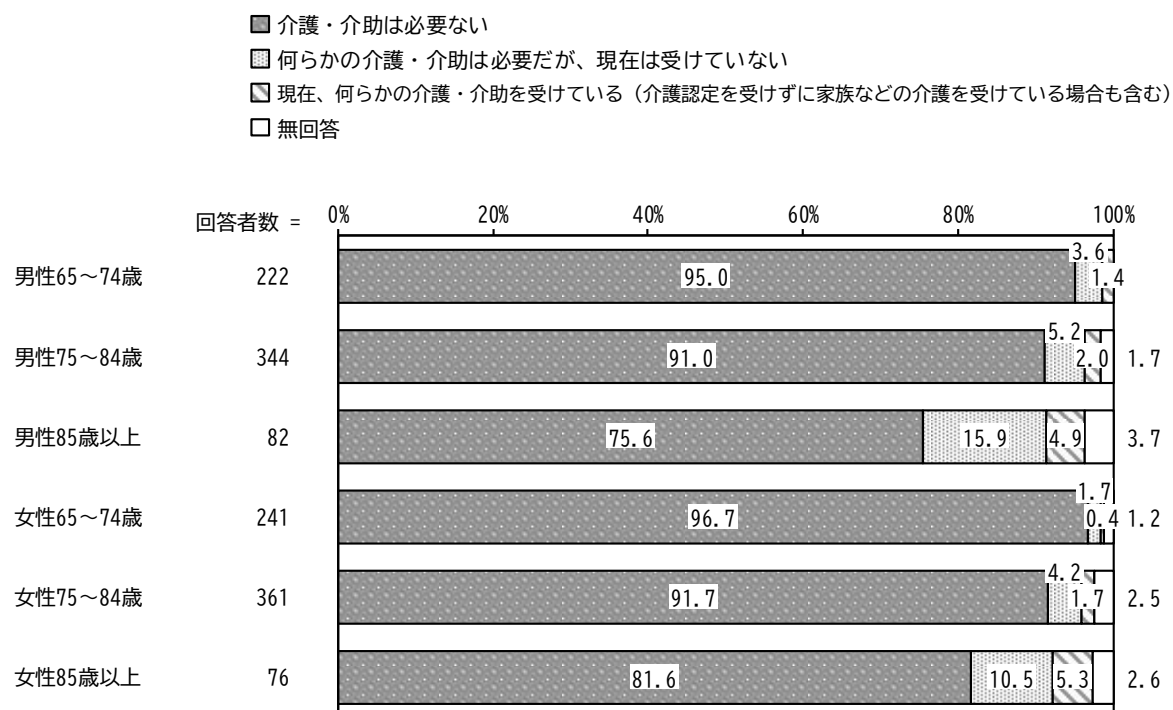
「介護・介助は必要ない」の割合が91.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が5.1%、「現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が1.9%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年齢別】

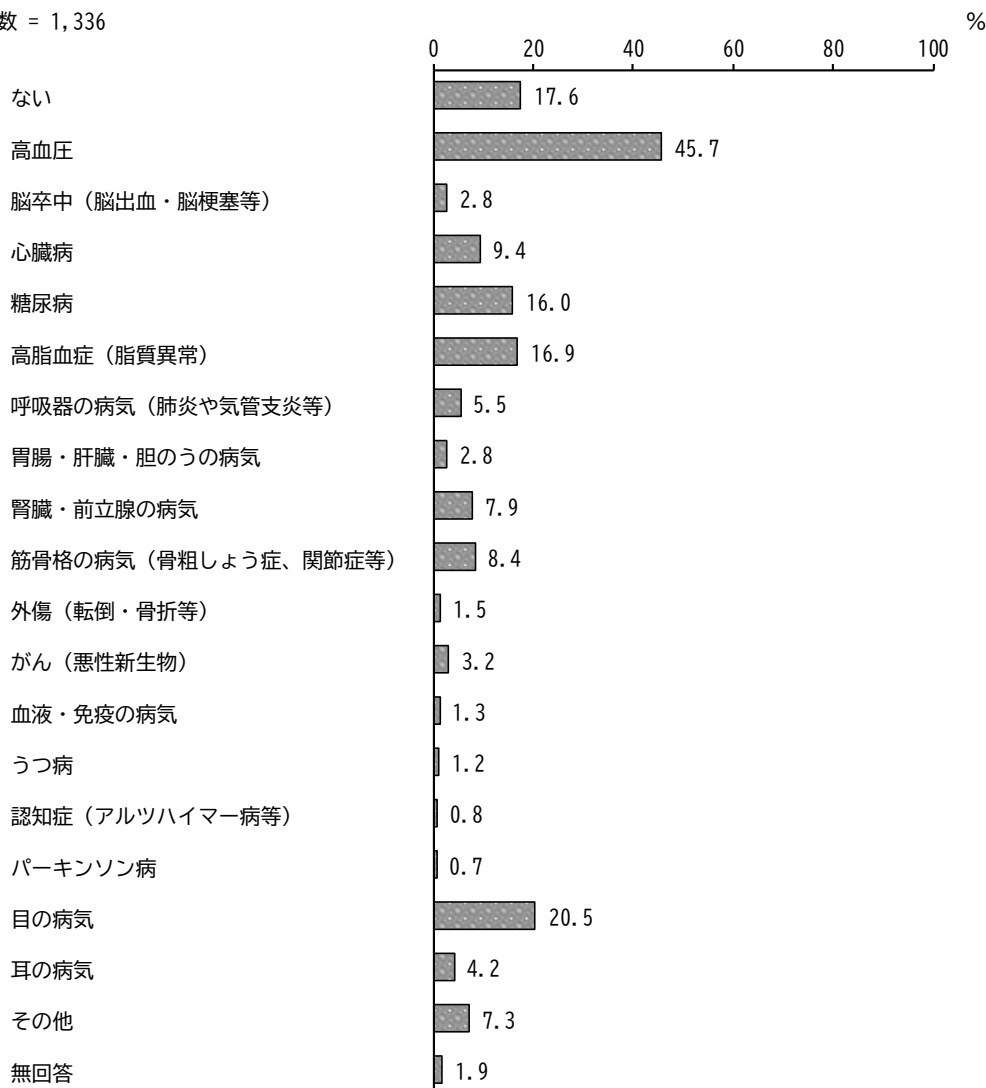
性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高く、「介護・介助は必要ない」の割合が低くなっています。



問 18 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

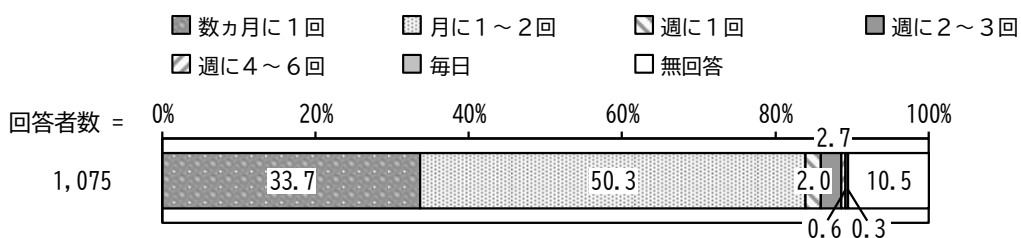
「高血圧」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 20.5%、「ない」の割合が 17.6%となっています。

回答者数 = 1,336



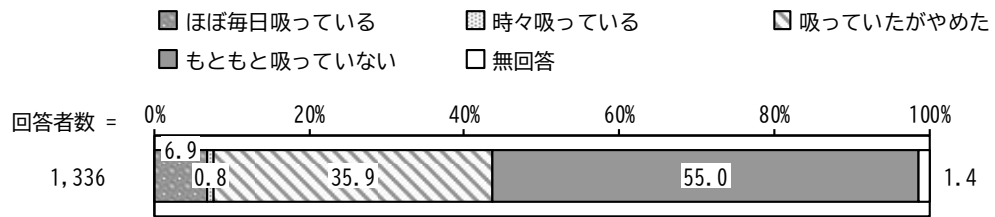
問 18-1 通院、訪問診療等をうけている方にお尋ねします。通院、訪問診療等の頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

「月に1～2回」の割合が 50.3%と最も多く、次いで「数カ月に1回」が 33.7%となっています。「週に1回」「週に2～3回」「週に4～6回」「毎日」を合わせた“週に1回以上”の割合が 5.6%となっています。



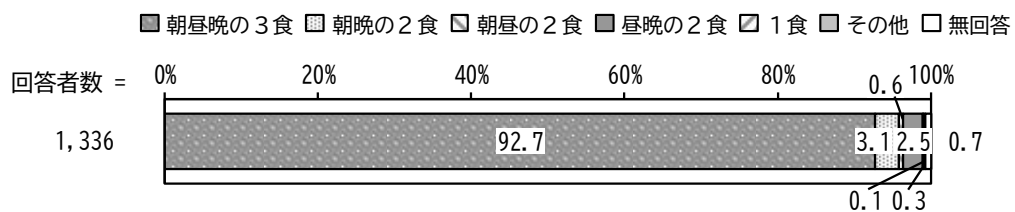
問 19 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」を合わせた“吸っている”の割合が7.7%、「吸っていたがやめた」「もともと吸っていない」を合わせた“吸っていない”の割合が90.9%となっています。



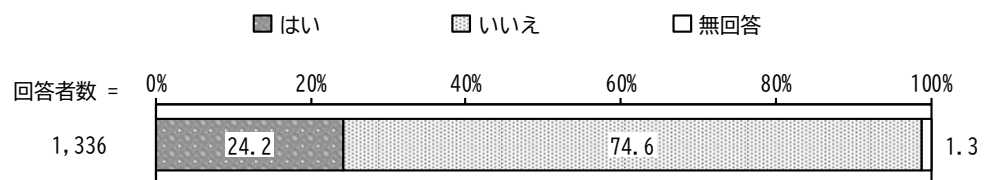
問 20 1日の食事の回数は何回ですか。(○は1つ)

「朝昼晩の3食」の割合が92.7%と最も高くなっています。



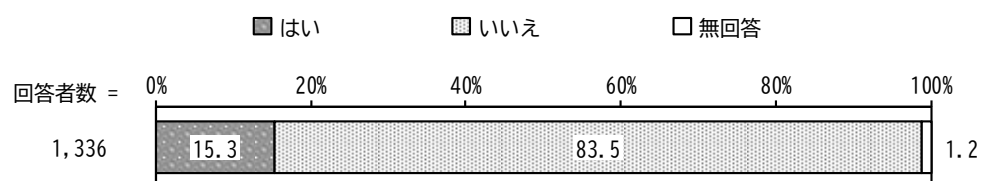
問 21 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が24.2%、「いいえ」の割合が74.6%となっています。



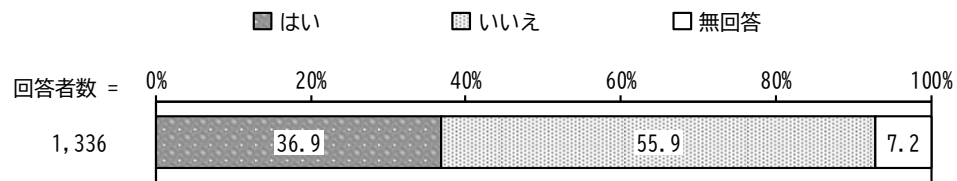
問 22 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が15.3%、「いいえ」の割合が83.5%となっています。



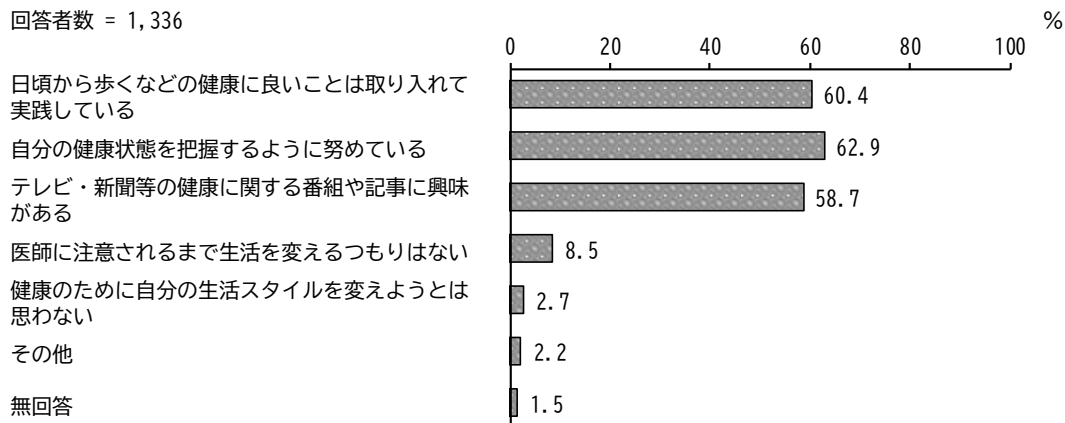
問 23 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 36.9%、「いいえ」の割合が 55.9%となっています。



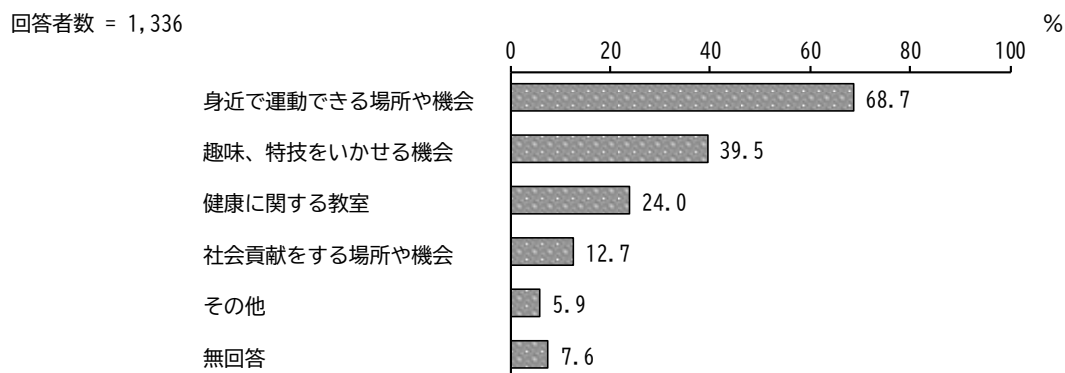
問 24 健康についての考え方で該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

「自分の健康状態を把握するように努めている」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「日頃から歩くなどの健康に良いことは取り入れて実践している」の割合が 60.4%、「テレビ・新聞等の健康に関する番組や記事に興味がある」の割合が 58.7%となっています。



問 25 いつまでも元気で、介護を受けなくてもよい生活（介護予防）のために、強化する必要があると思われるものを教えてください。(○はいくつでも)

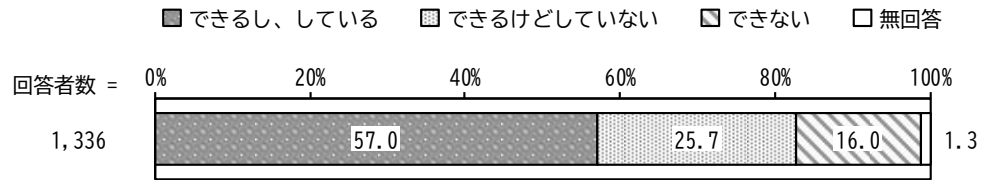
「身近で運動できる場所や機会」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「趣味、特技をいかせる機会」の割合が 39.5%、「健康に関する教室」の割合が 24.0%となっています。



C 本人の日常生活の状況などについて

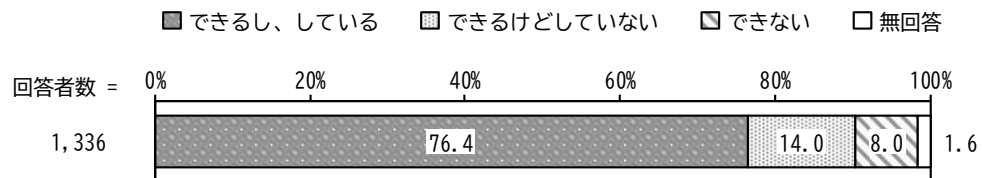
問 26 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 57.0%、「できるけどしていない」の割合が 25.7%、「できない」の割合が 16.0%となっています。



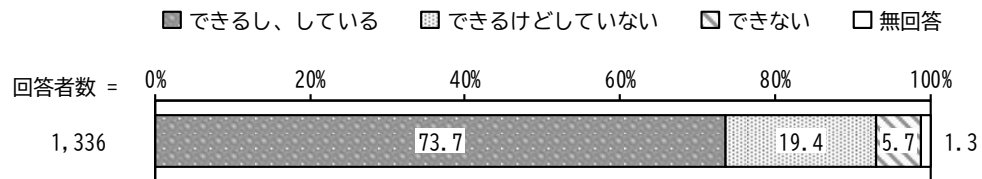
問 27 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 76.4%、「できるけどしていない」の割合が 14.0%、「できない」の割合が 8.0%となっています。



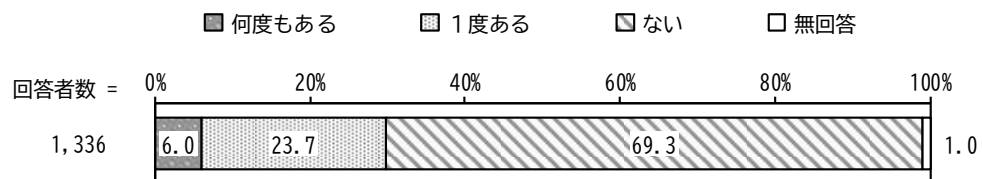
問 28 15 分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 73.7%、「できるけどしていない」の割合が 19.4%、「できない」の割合が 5.7%となっています。



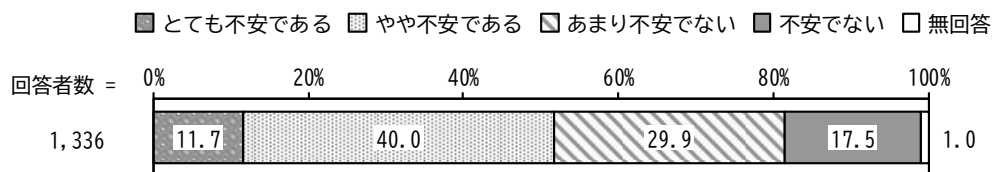
問 29 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「何度もある」の割合が 6.0%、「1度ある」の割合が 23.7%、「ない」の割合が 69.3%となっています。



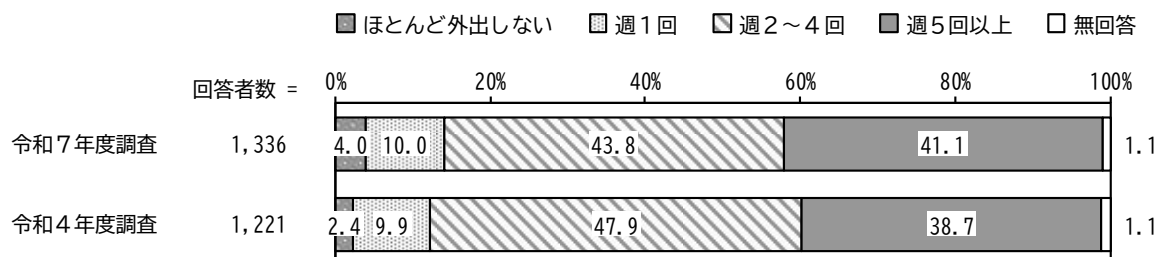
問 30 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安である”の割合が 51.7%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた“不安でない”の割合が 47.4%となっています。



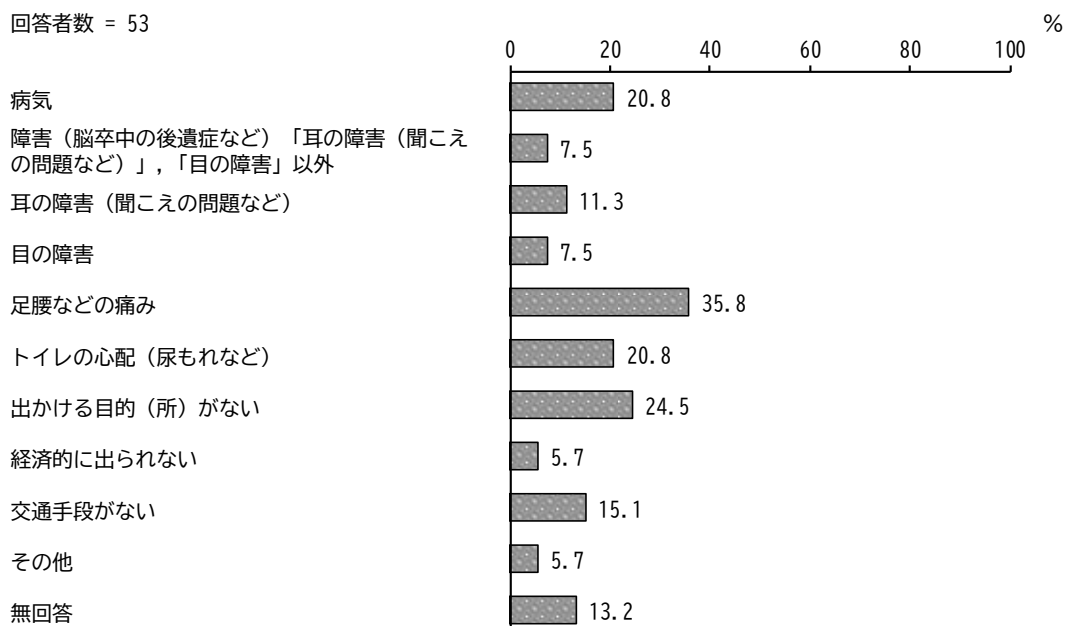
問 31 週 1 回以上は外出していますか。(○は1つ)

「週 1 回」「週 2～4 回」「週 5 回以上」を合わせた“週 1 回以上”の割合が 94.9%となっています。令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 31-1 問 31 で「ほとんど外出しない」と回答された方にお尋ねします。 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

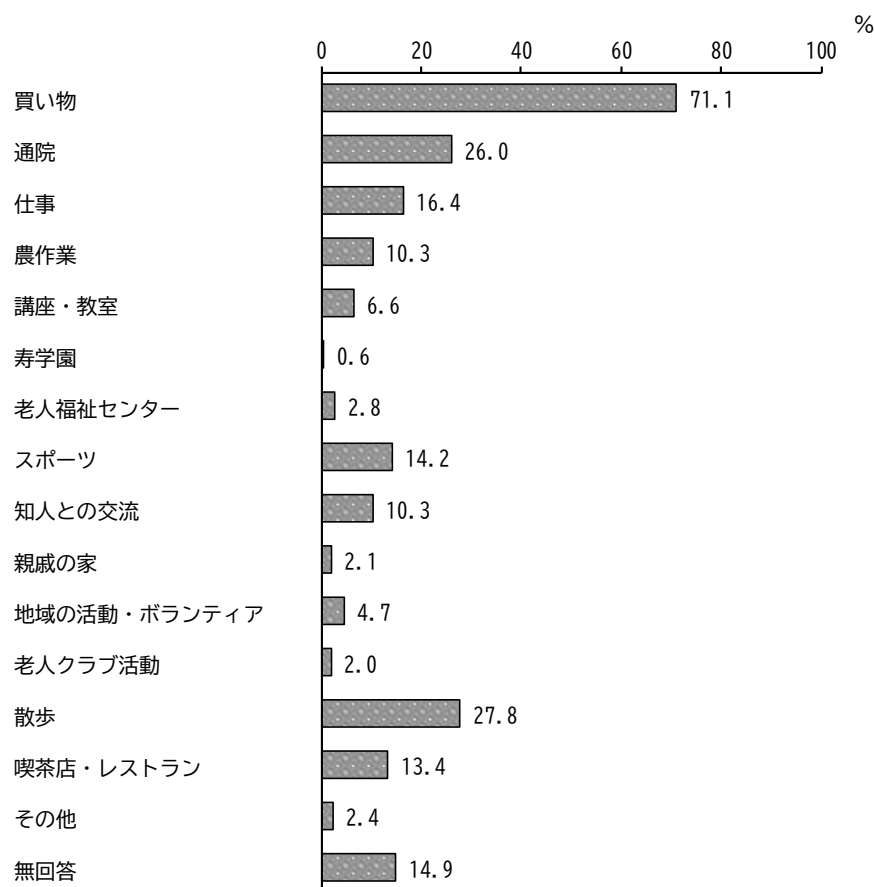
「足腰などの痛み」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「出かける目的(所)がない」の割合が 24.5%、「病気」、「トイレの心配(尿もれなど)」の割合が 20.8%となっています。



問 31-2 問 31 で「週 1 回」～「週 5 回以上」の外出していると回答された方にお尋ねします。外出する目的は、次のどれですか。（機会の多いもの 3 つまでに○）

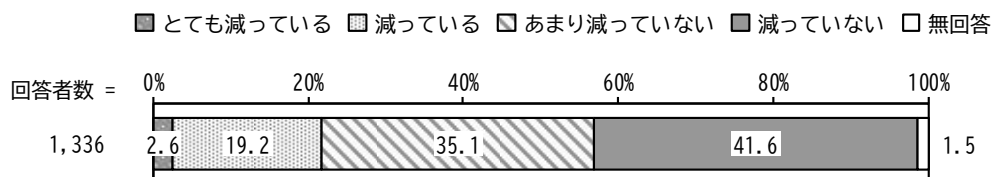
「買い物」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「散歩」の割合が 27.8%、「通院」の割合が 26.0%となっています。

回答者数 = 1,268



問 32 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（○は 1 つ）

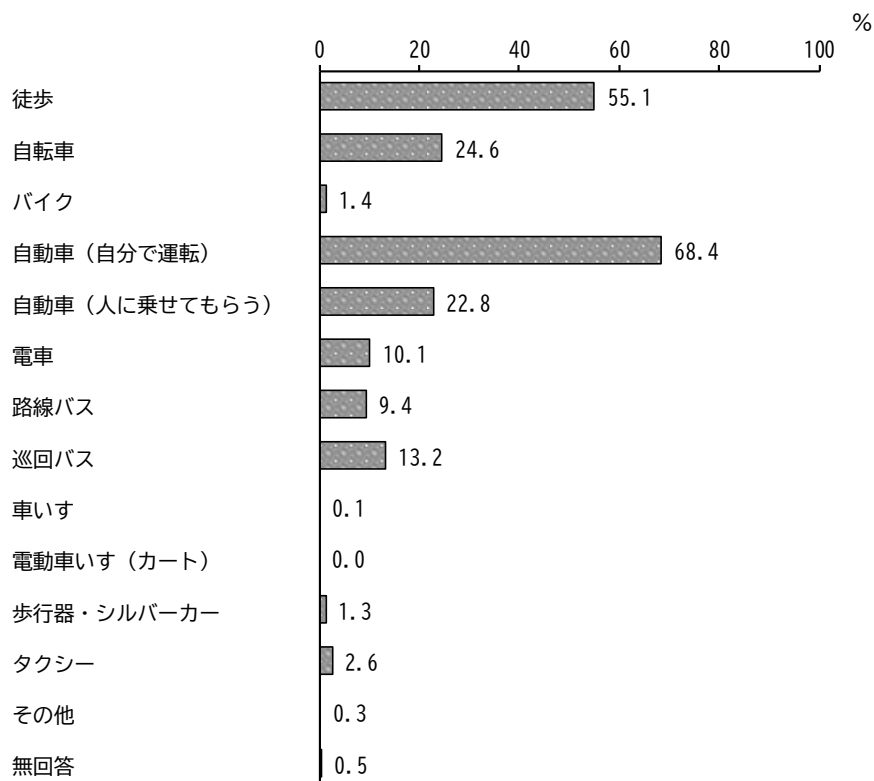
「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が 21.8%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が 76.7%となっています。



問 33 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

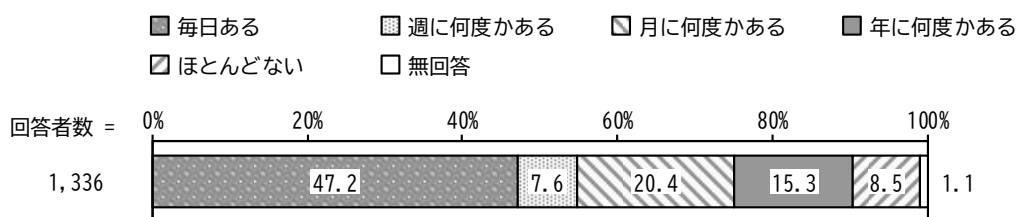
「自動車（自分で運転）」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が 55.1%、「自転車」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 1,336



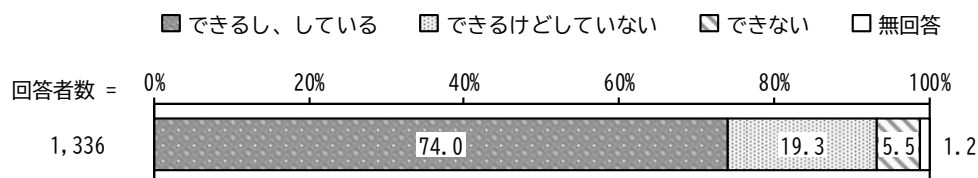
問 34 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

「毎日ある」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 20.4%、「年に何度かある」の割合が 15.3%となっています。



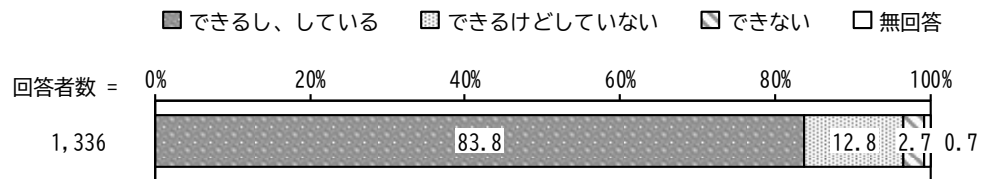
問 35 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

「できるし、している」の割合が 74.0%、「できるけどしていない」の割合が 19.3%、「できない」の割合が 5.5%となっています。



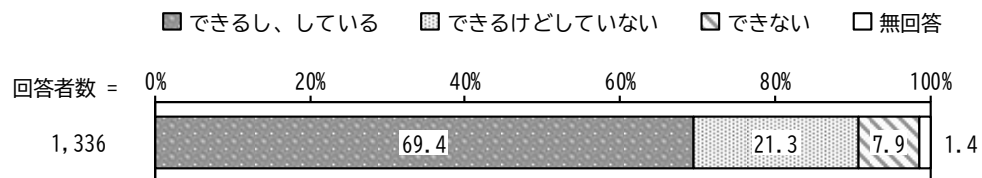
問 36 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 83.8%、「できるけどしていない」の割合が 12.8%、「できない」の割合が 2.7%となっています。



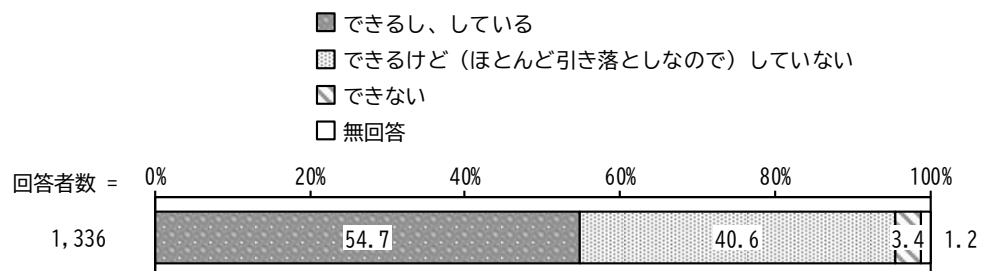
問 37 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 69.4%、「できるけどしていない」の割合が 21.3%、「できない」の割合が 7.9%となっています。



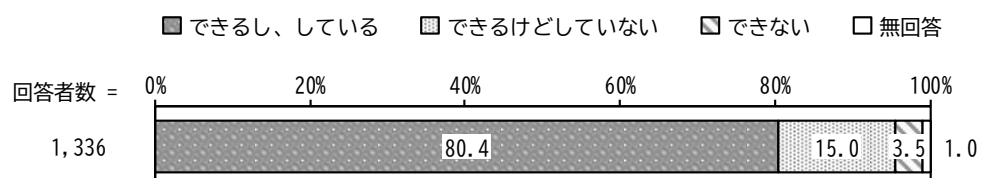
問 38 あなたは公共料金や保険料等の請求書が届いた場合、自分で支払いができますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 54.7%、「できるけど（ほとんど引き落としなので）していない」の割合が 40.6%、「できない」の割合が 3.4%となっています。



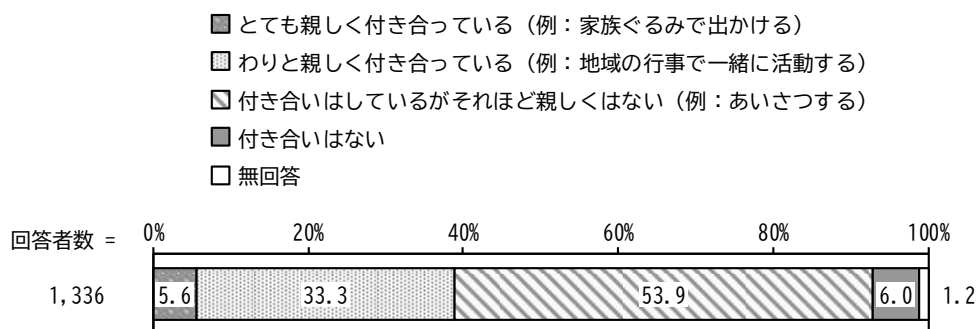
問 39 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

「できるし、している」の割合が 80.4%、「できるけどしていない」の割合が 15.0%、「できない」の割合が 3.5%となっています。



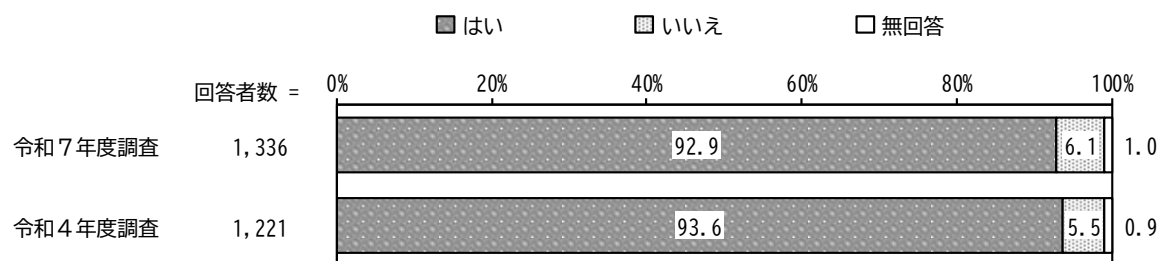
問 40 あなたは、どの程度のご近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

「付き合いはしているがそれほど親しくはない（例：あいさつする）」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「わりと親しく付き合っている（例：地域の行事で一緒に活動する）」の割合が 33.3%となっています。



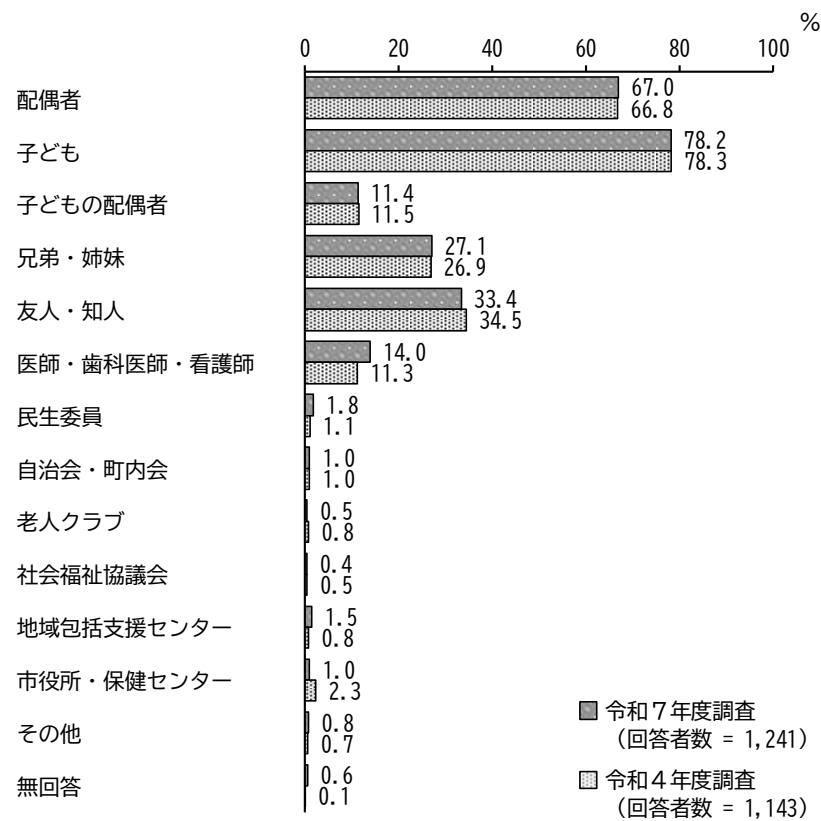
問 41 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談していますか。(○は1つ)

「はい」の割合が 92.9%、「いいえ」の割合が 6.1%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 41－1 問 41 で「はい」と回答された方にお尋ねします。相談相手（先）を教えてください。（〇はいくつでも）

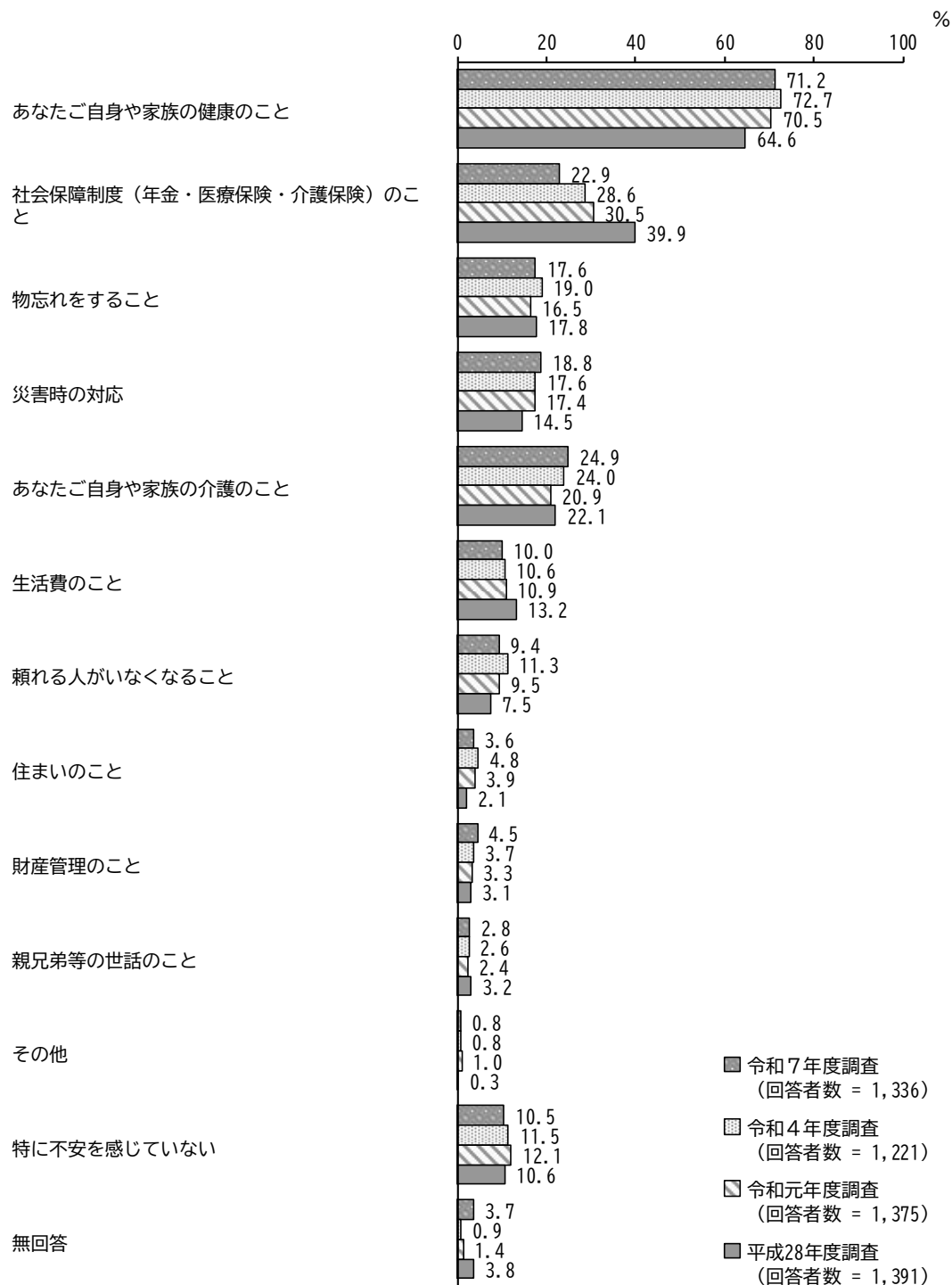
「子ども」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 67.0%、「友人・知人」の割合が 33.4%となっています。



問 42 あなたは、日常生活においてどのような不安を感じていますか。(○は3つまで)

「あなたご自身や家族の健康のこと」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「あなたご自身や家族の介護のこと」の割合が 24.9%、「社会保障制度（年金・医療保険・介護保険）のこと」の割合が 22.9%となっています。

過去調査と比較すると、「社会保障制度（年金・医療保険・介護保険）のこと」の割合が平成 28 年度調査から毎回減少しています。

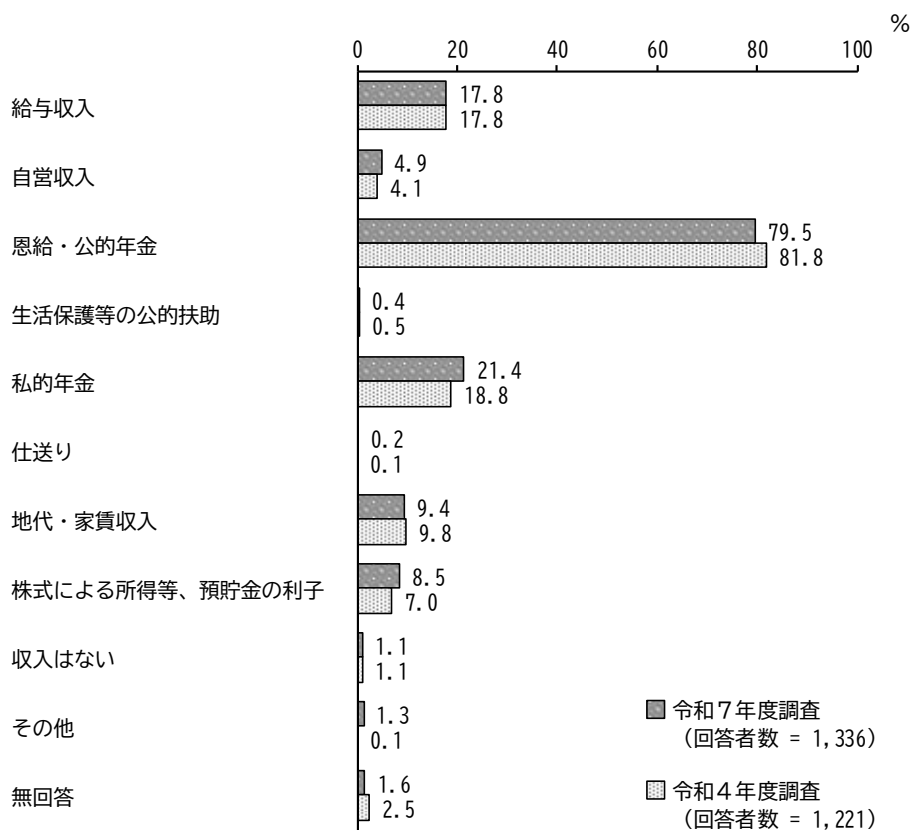


D 暮らし向きや仕事や生きがいについて

問 43 あなたは、どのような収入がありますか。(○はいくつでも)

「恩給・公的年金」の割合が 79.5%と最も高く、次いで「私的年金」の割合が 21.4%、「給与収入」の割合が 17.8%となっています。

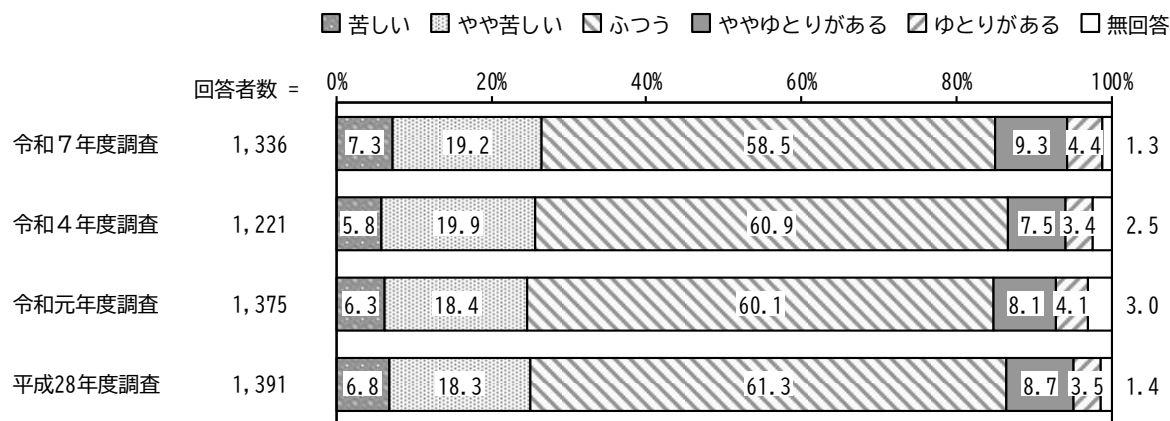
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 44 現在の暮らしの状況を経済的にみて、どのように感じていますか。(○は1つ)

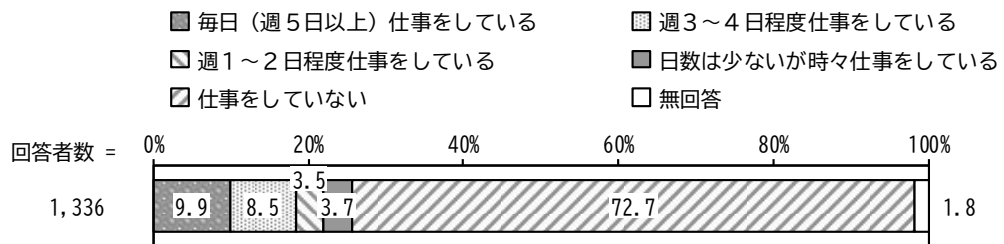
「苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 26.5%、「ややゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 13.7%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



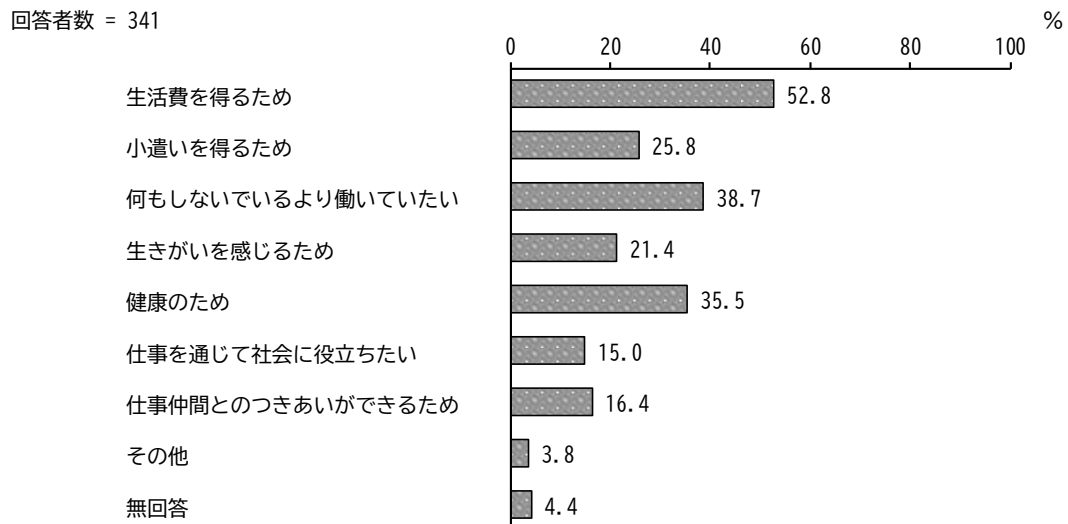
問 45 あなたは収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

何らかの仕事をしている割合は 25.6%です。



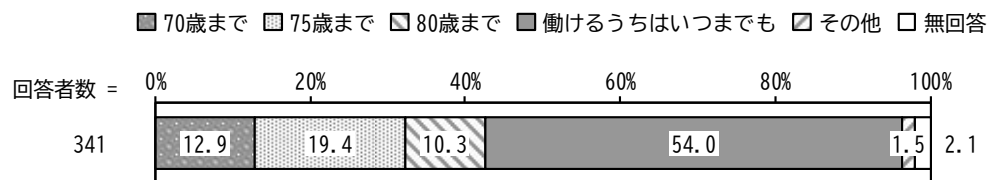
問 45－1 問 45 で「毎日 (週5日以上) 仕事をしている」～「日数は少ないが時々仕事をしている」の仕事をしていると回答された方にお尋ねします。働いている理由は何ですか。(○は3つまで)

「生活費を得るため」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「何もしていないより働いていたい」の割合が 38.7%、「健康のため」の割合が 35.5%となっています。



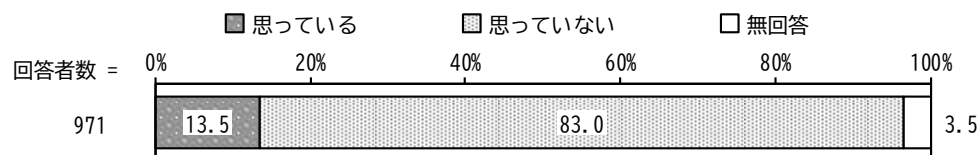
問 45－1－1 問 45 で「毎日（週 5 日以上）仕事をしている」～「日数は少ないが時々仕事をしている」の仕事をしていると回答された方にお尋ねします。何歳まで働きたいと思いますか。（○は 1 つ）

「働けるうちはいつまでも」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「75 歳まで」の割合が 19.4%、「70 歳まで」の割合が 12.9%となっています。



問 45－2 問 45 で「仕事をしていない」と回答された方にお尋ねします。仕事をしたいと思いますか。（○は 1 つ）

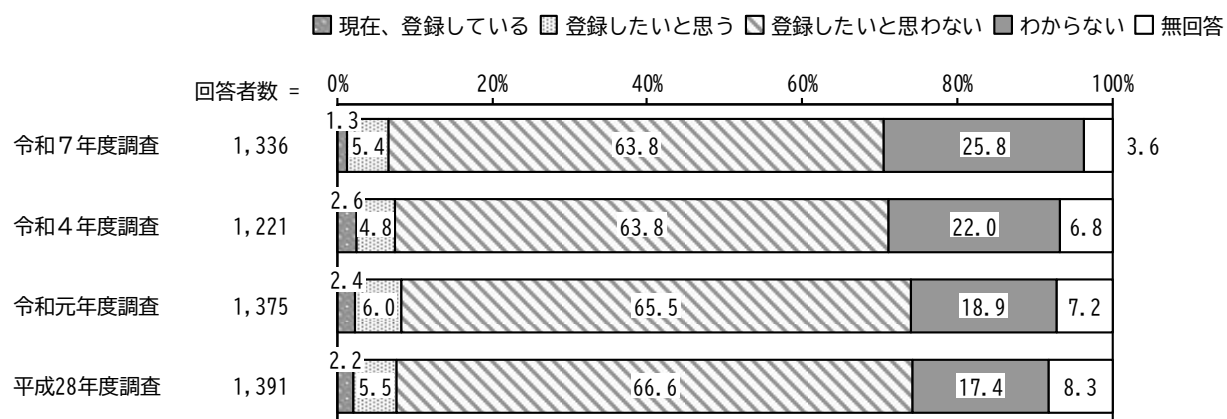
「思っている」の割合が 13.5%、「思っていない」の割合が 83.0%となっています。



問 46 シルバー人材センターに登録したいと思いますか。（○は 1 つ）

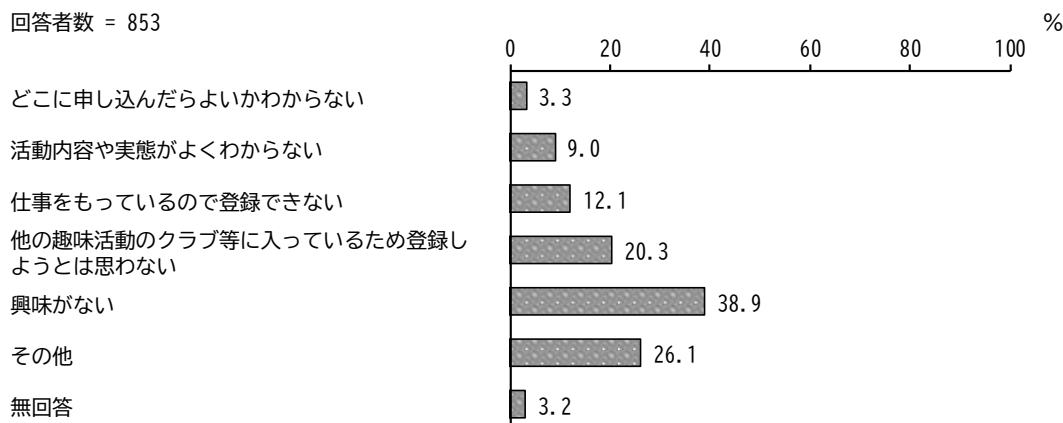
「現在、登録している」の割合が 1.3%、「登録したいと思う」の割合が 5.4%、「登録したいと思わない」の割合が 63.8%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。



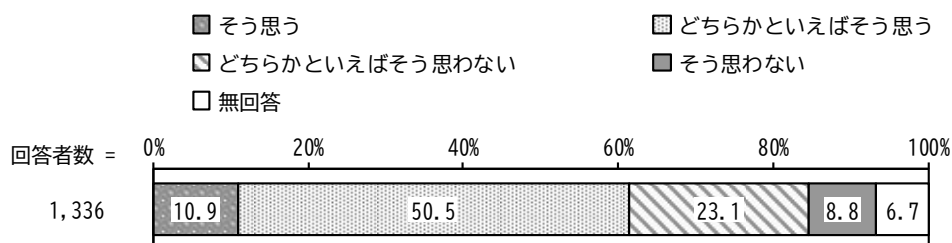
問 46－1 問 46 で「登録したいと思わない」と回答された方にお尋ねします。登録したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「興味がない」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「他の趣味活動のクラブ等に入っているため登録しようとは思わない」の割合が 20.3%、「仕事をもっているので登録できない」の割合が 12.1%となっています。



問 47 小牧市は、「地域活動（自治会活動や防犯活動など）やボランティア活動が活発なまち」だと思いますか。(○は1つ)

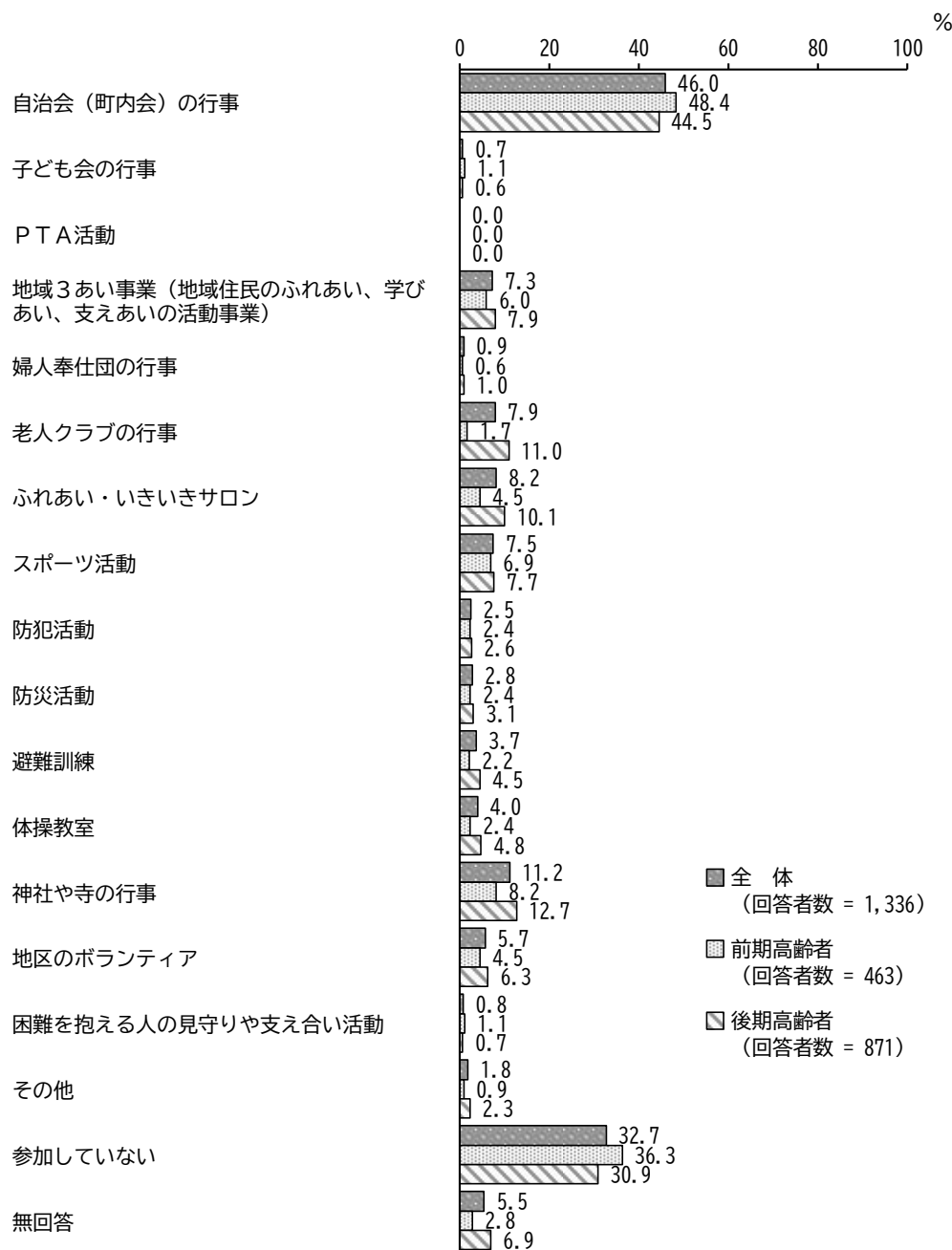
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」の割合が 61.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた「そう思わない」の割合が 31.9%となっています。



問 48 あなたは、地域活動や行事に参加していますか。(〇はいくつでも)

「自治会（町内会）の行事」の割合が46.0%と最も高く、次いで「神社や寺の行事」の割合が11.2%となっています。一方、「参加していない」の割合が32.7%となっています。

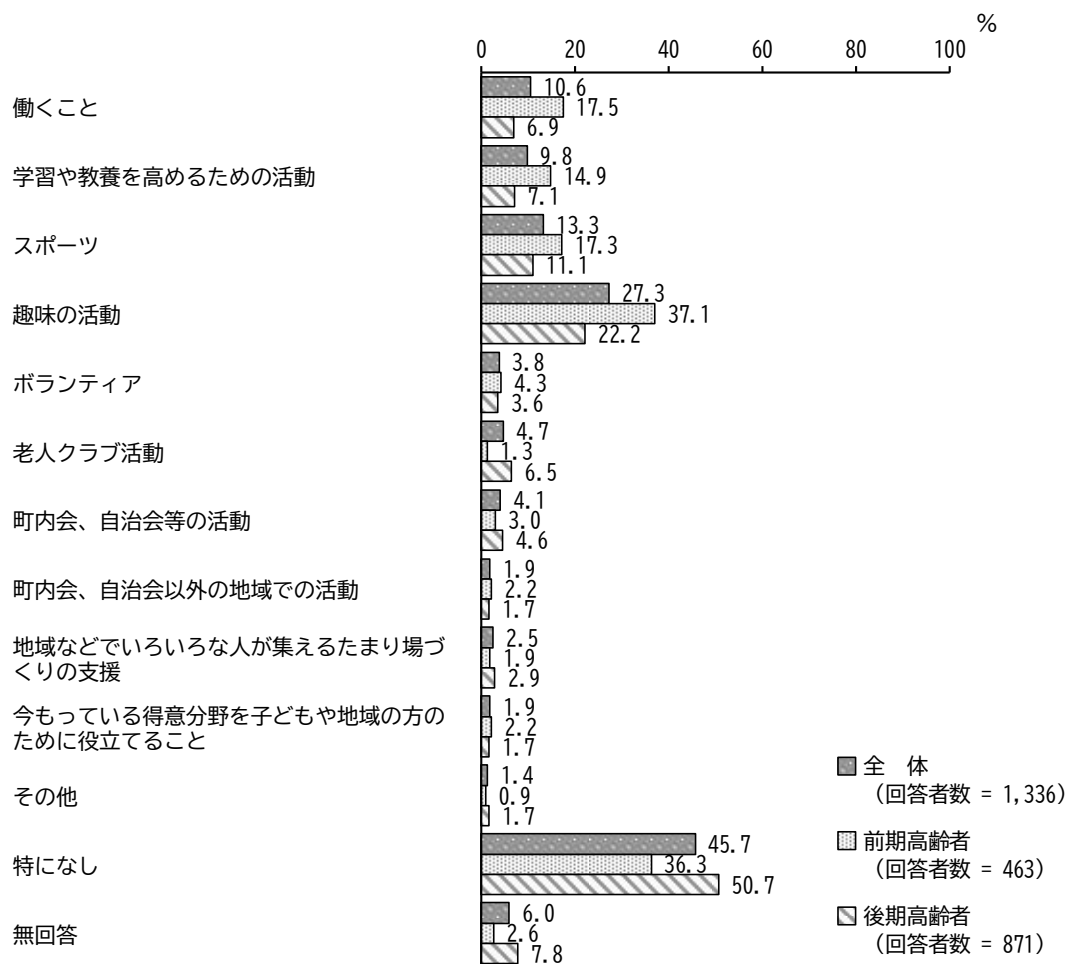
前期高齢者・後期高齢者別にみると、前期高齢者、後期高齢者ともに「自治会（町内会）の行事」が最も高く、約半数を占めています。また、後期高齢者は、前期高齢者に比べ、「老人クラブの行事」や「神社や寺の行事」などが高くなっています。



問 49 あなたが、今後、やってみたいことはどんなことですか。(〇はいくつでも)

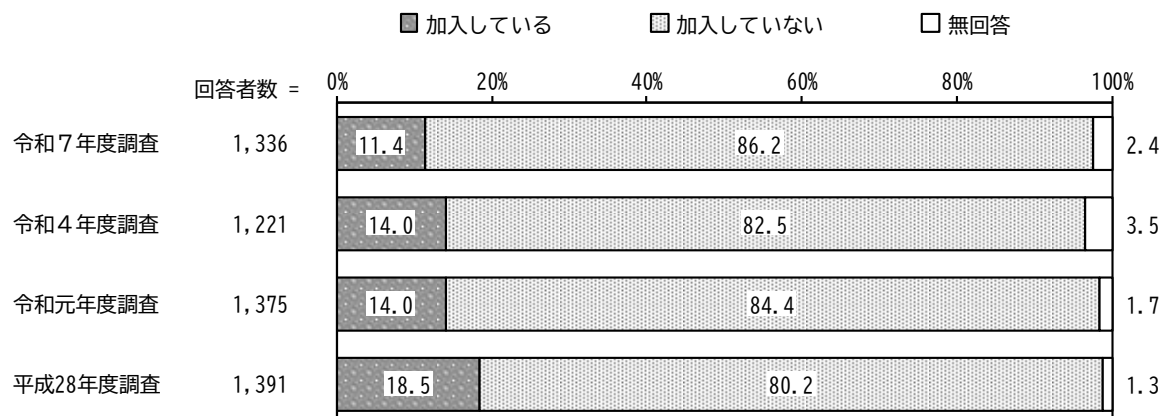
「特になし」の割合が45.7%と高く、次いで「趣味の活動」の割合が27.3%、「スポーツ」の割合が13.3%、「働くこと」の割合が10.6%となっています。

前期高齢者・後期高齢者別にみると、前期高齢者、後期高齢者ともに上位にあがっているものに大きな違いはないものの、後期高齢者に比べ、前期高齢者の方がやってみたいこととしてあげている割合が高くなっています。一方、後期高齢者で「特になし」の割合が約半数を占めています。



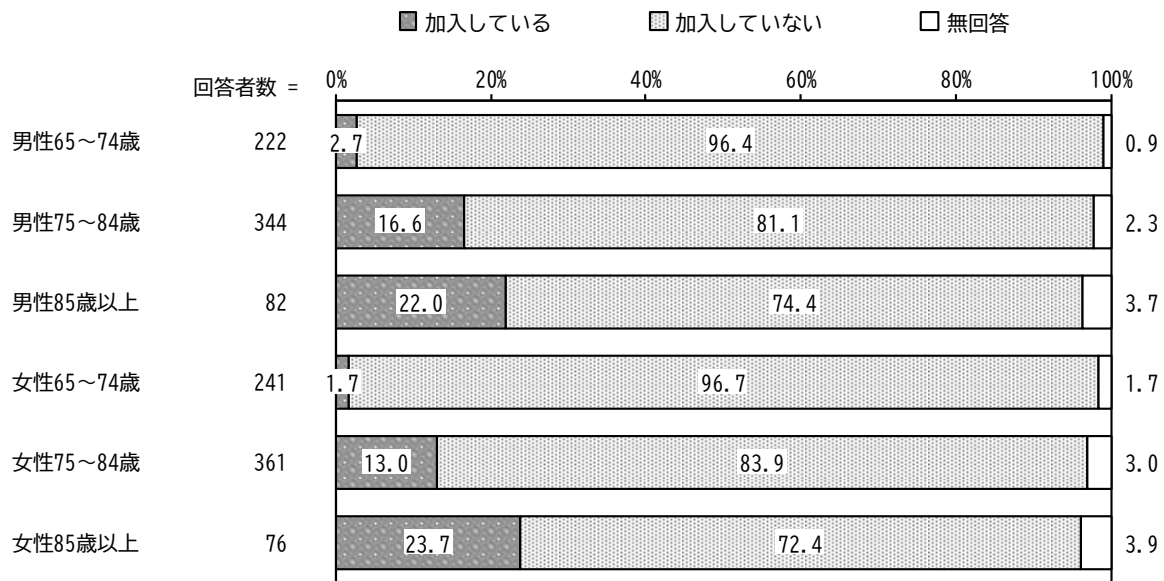
問 50 あなたは、老人クラブに加入していますか。(〇は1つ)

「加入している」の割合が11.4%、「加入していない」の割合が86.2%となっています。過去調査と比較すると、平成28年度調査から「加入している」の割合が減少傾向にあります。



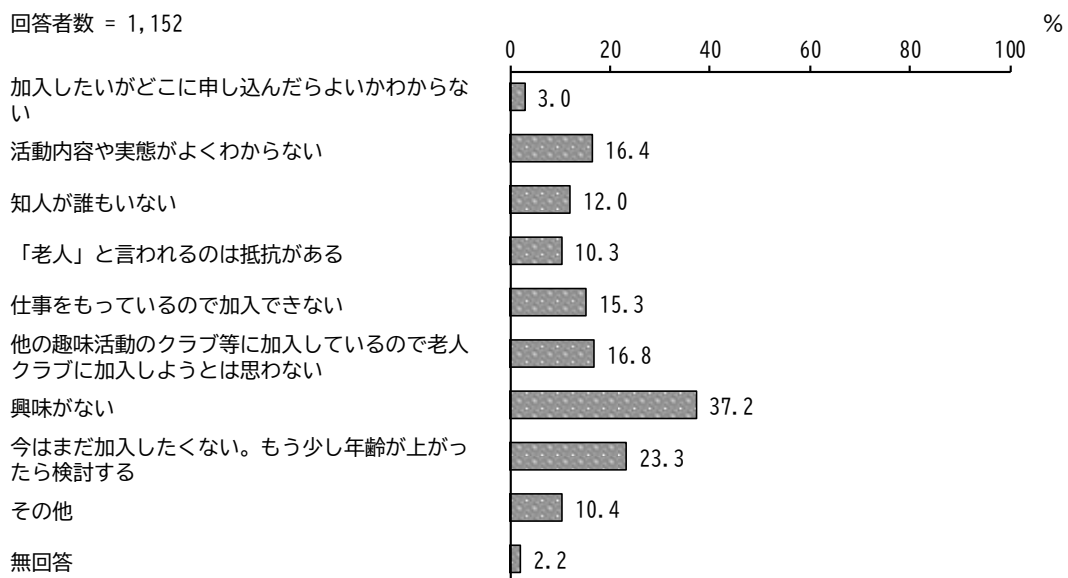
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「加入している」の割合が高くなっています。



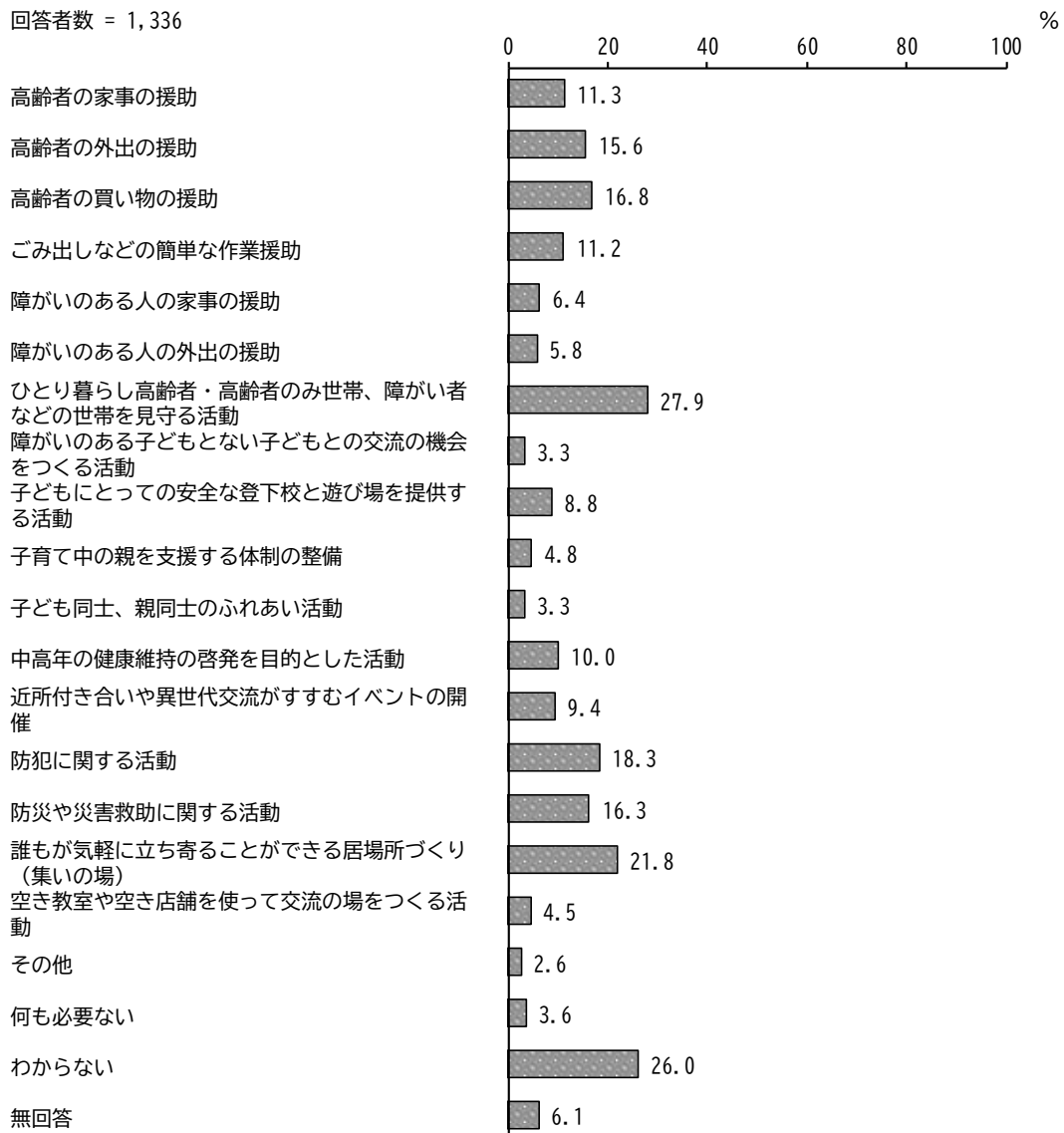
問 50－1 問 50 で「加入していない」と回答された方にお尋ねします。老人クラブに加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「興味がない」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「今はまだ加入したくない。もう少し年齢が上がったら検討する」の割合が 23.3%、「他の趣味活動のクラブ等に参加しているので老人クラブに参加しようとは思わない」の割合が 16.8%となっています。



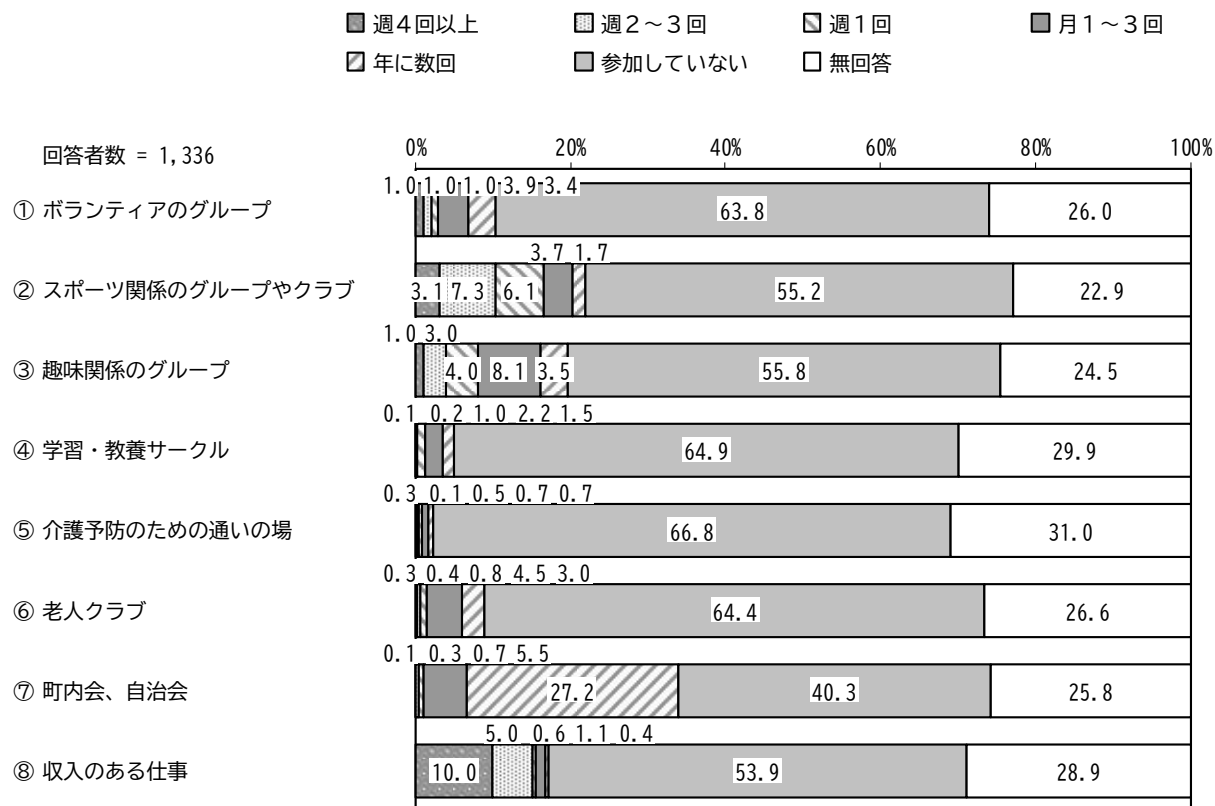
問 51 あなたの住んでいる地域に必要な活動（課題）は何ですか。（〇はいくつでも）

「ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯、障がい者などの世帯を見守る活動」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所づくり（集いの場）」の割合が 21.8%、「防犯に関する活動」の割合が 18.3%となっています。



問 52 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(○はそれぞれ1つ)

「年に数回」は「⑦町内会、自治会」が27.2%と最も多く、「週1回以上」は「②スポーツ関係のグループやクラブ」が16.5%と最も多い。

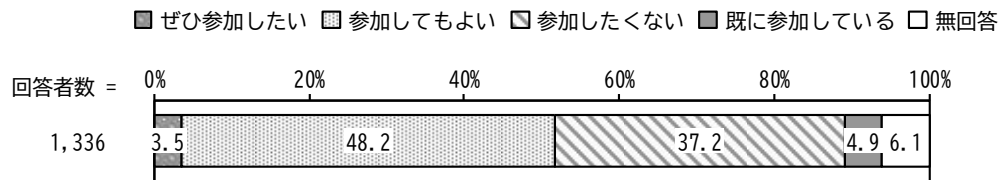


単位：％

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	1.0	1.0	1.0	3.9	3.4	63.8	26.0
②スポーツ関係のグループやクラブ	3.1	7.3	6.1	3.7	1.7	55.2	22.9
③趣味関係のグループ	1.0	3.0	4.0	8.1	3.5	55.8	24.5
④学習・教養サークル	0.1	0.2	1.0	2.2	1.5	64.9	29.9
⑤介護予防のための通いの場	0.3	0.1	0.5	0.7	0.7	66.8	31.0
⑥老人クラブ	0.3	0.4	0.8	4.5	3.0	64.4	26.6
⑦町内会、自治会	0.1	0.3	0.7	5.5	27.2	40.3	25.8
⑧収入のある仕事	10.0	5.0	0.6	1.1	0.4	53.9	28.9

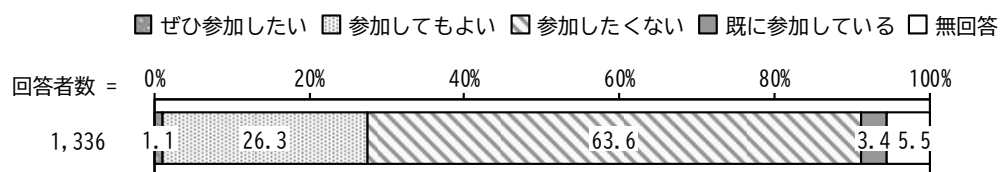
問 53 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動をおこなって、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」を合わせた「参加したい」の割合が56.6%であり、「参加したくない」の割合37.2%を上回っています。



問 54 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動をおこなって、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

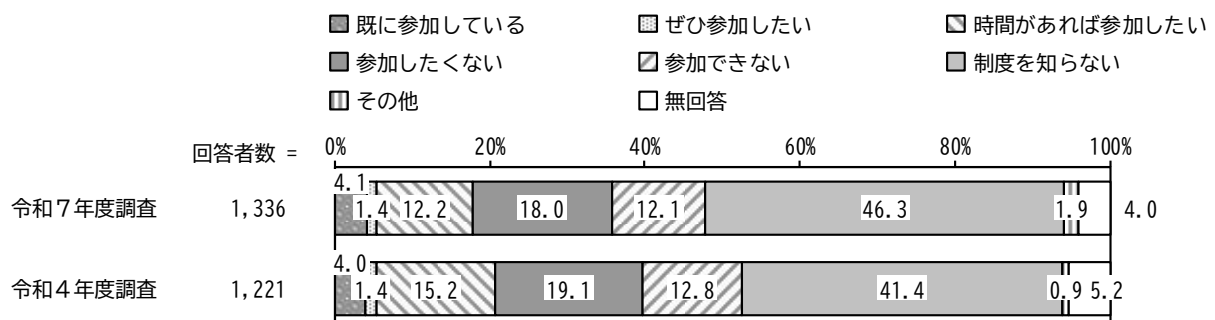
「参加したくない」の割合が63.6%であり、「ぜひ参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」を合わせた「参加したい」の割合30.8%を上回っています。



問 55 「こまき支え合いいきいきポイント制度」についてお尋ねします。この制度について、参加を希望しますか。(○は1つ)

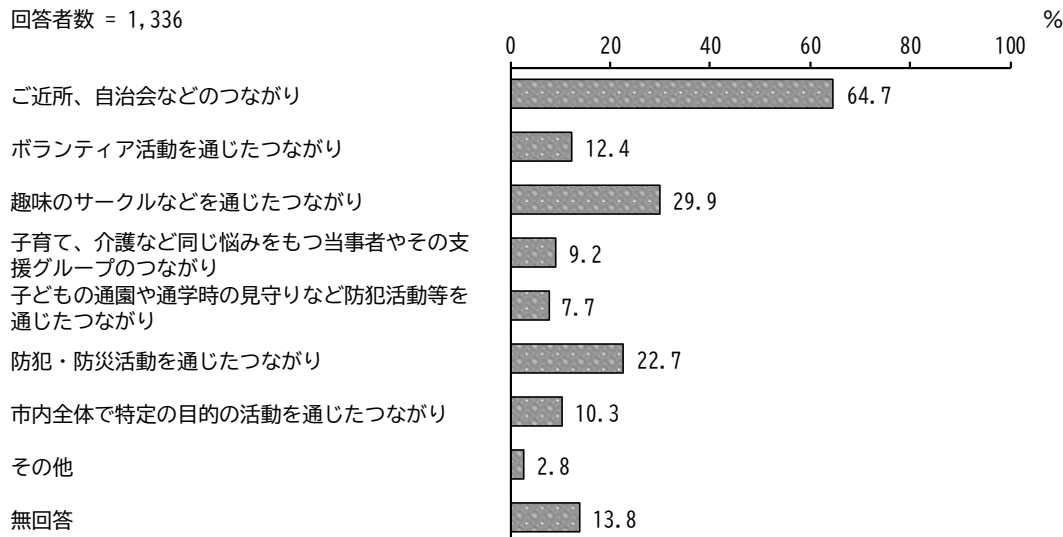
「制度を知らない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が18.0%、「時間があれば参加したい」の割合が12.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 56 人と人とのつながりが薄れてきていると言われています。新たな支え合いの関係を築いていくためには、どのようなつながりが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

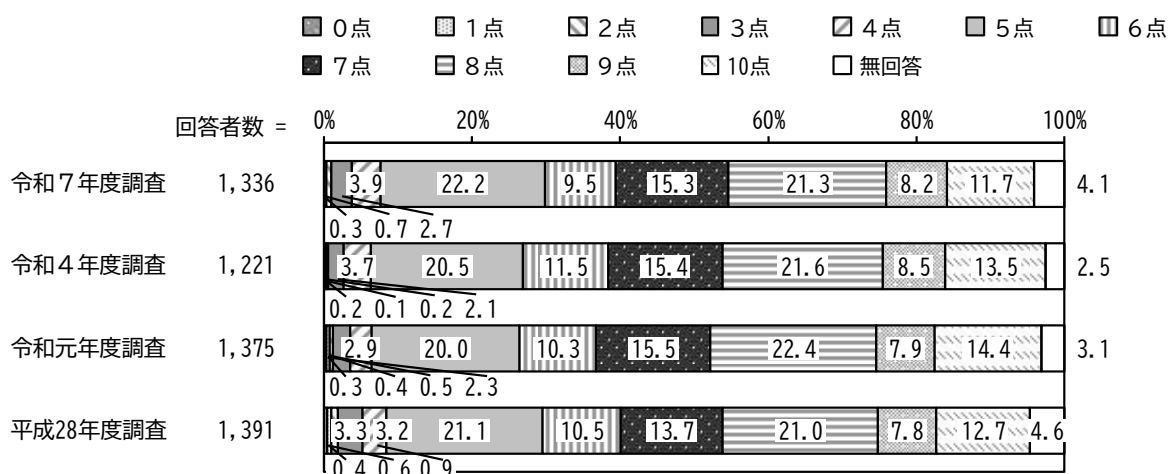
「ご近所、自治会などのつながり」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「趣味のサークルなどを通じたつながり」の割合が 29.9%、「防犯・防災活動を通じたつながり」の割合が 22.7%となっています。



問 57 あなたは現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる数字に〇をご記入ください)

「5点」の割合が 22.2%と最も高く、次いで「8点」の割合が 21.3%、「7点」の割合が 15.3%となっています。

過去調査と比較すると、大きな変化はみられません。

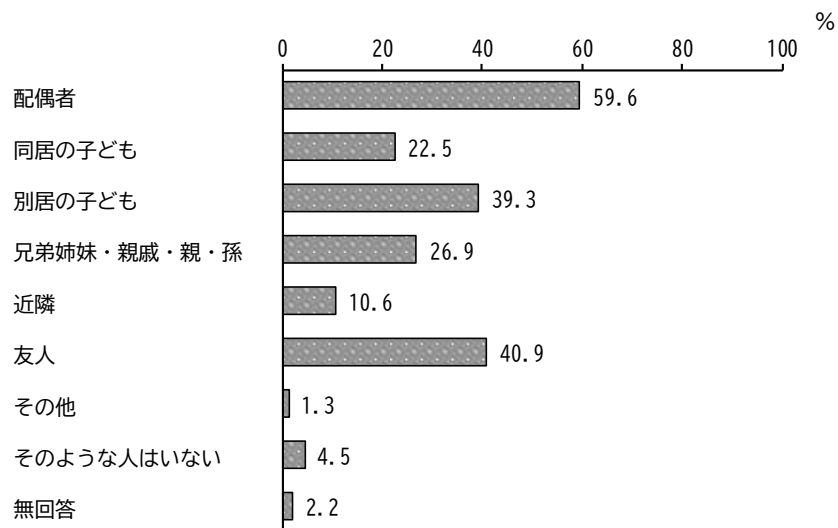


E あなたとまわりの人の「たすけあい」について

問 58 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（○はいくつでも）

「配偶者」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が 40.9%、「別居の子ども」の割合が 39.3%となっています。

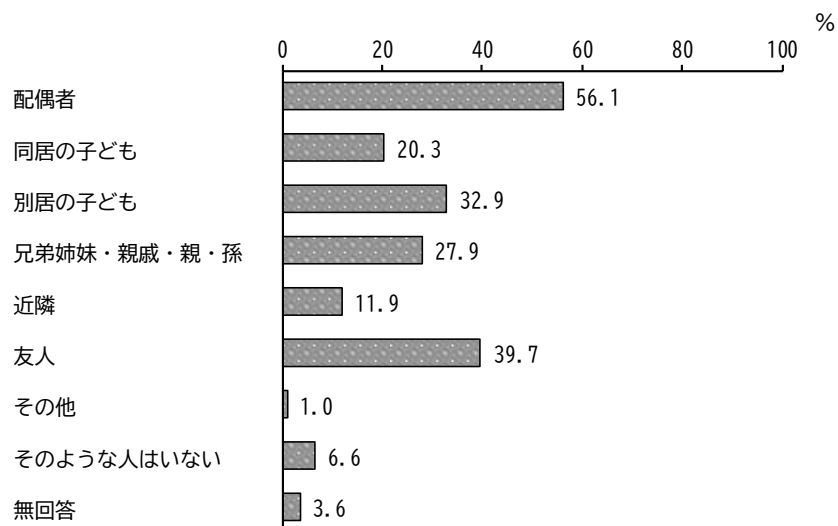
回答者数 = 1,336



問 59 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（○はいくつでも）

「配偶者」の割合が 56.1%と最も高く、次いで「友人」の割合が 39.7%、「別居の子ども」の割合が 32.9%となっています。

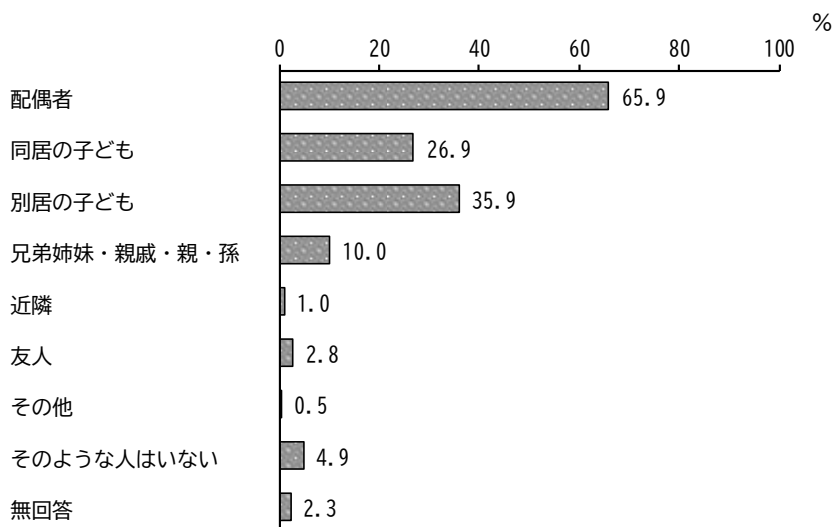
回答者数 = 1,336



問 60 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 35.9%、「同居の子ども」の割合が 26.9%となっています。

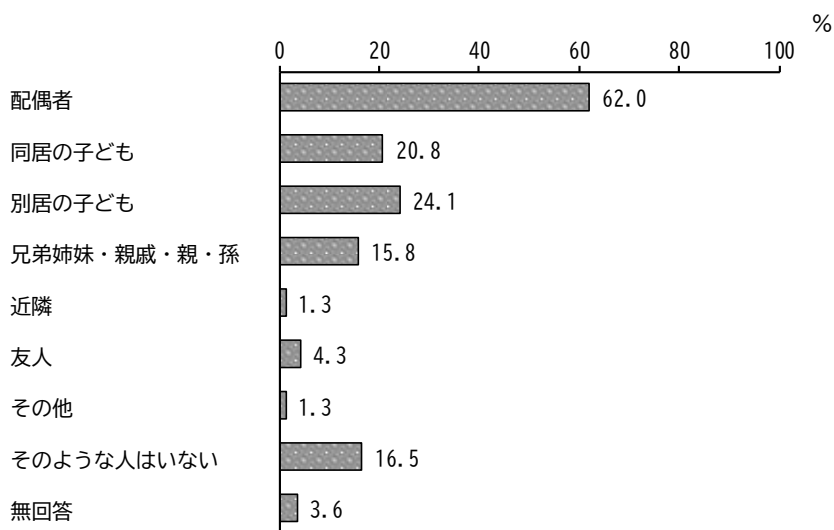
回答者数 = 1,336



問 61 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(〇はいくつでも)

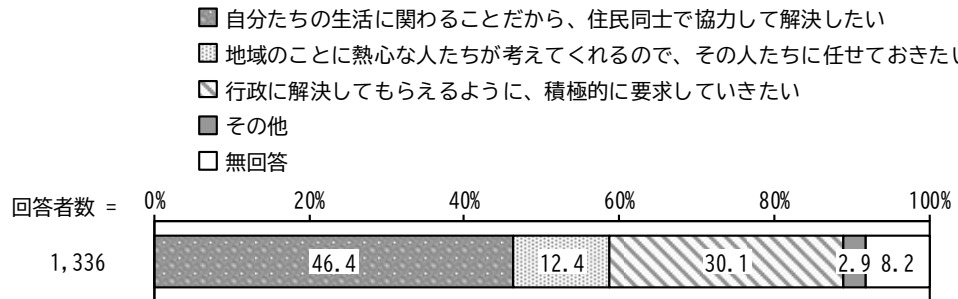
「配偶者」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 24.1%、「同居の子ども」の割合が 20.8%となっています。

回答者数 = 1,336



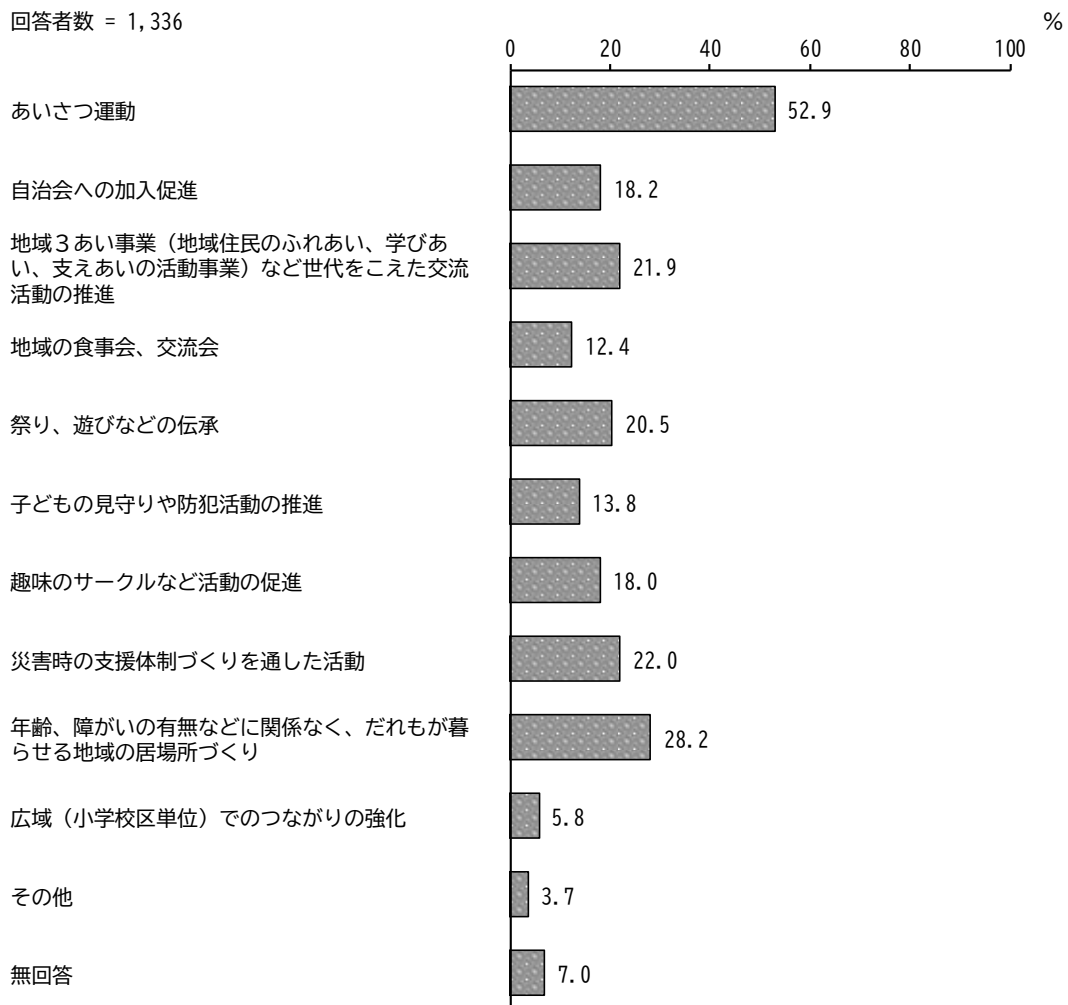
問 62 あなたの住んでいる地域で、問題や困りごとが生じた場合、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(○は1つ)

「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」の割合が46.4%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」の割合が12.4%、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」の割合が30.1%となっています。



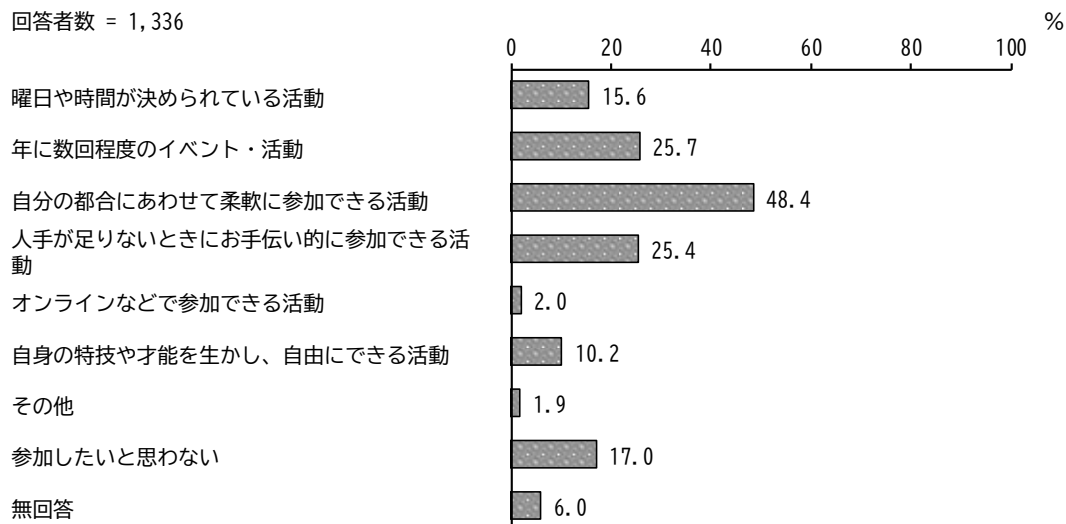
問 63 新たな地域のつながりを築くためには、どのような取り組みを進めたらよいと思いますか。(○はいくつでも)

「あいさつ運動」の割合が52.9%と最も高く、次いで「年齢、障がいの有無などに関係なく、だれもが暮らせる地域の居場所づくり」の割合が28.2%、「災害時の支援体制づくりを通した活動」の割合が22.0%となっています。



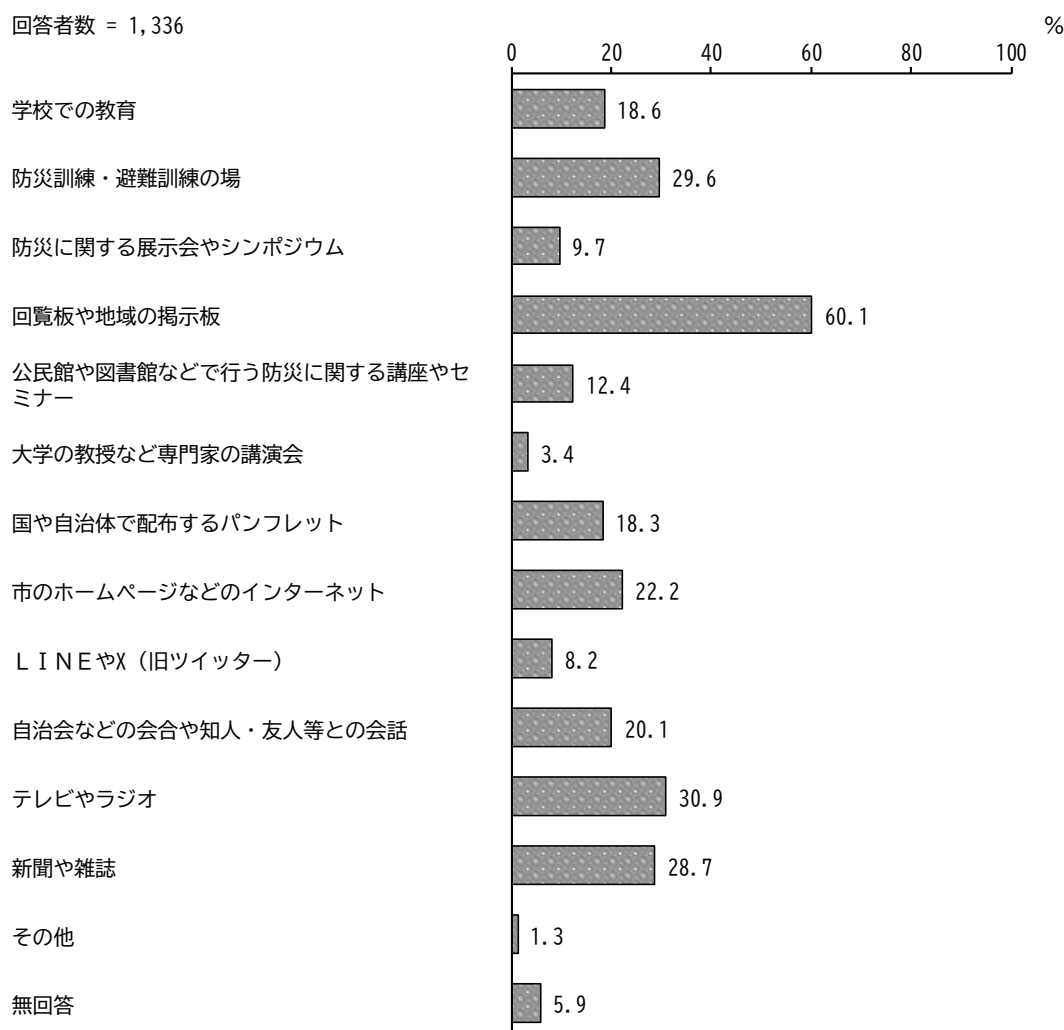
問 64 あなたは地域で活動を行うとしたら、どのような形で参加したいですか。
(〇はいくつでも)

「自分の都合にあわせて柔軟に参加できる活動」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「年に数回程度のイベント・活動」の割合が 25.7%、「人手が足りないときにお手伝いのに参加できる活動」の割合が 25.4%となっています。



問 65 地域の活動や防災に関する知識や情報について、何によって提供されればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

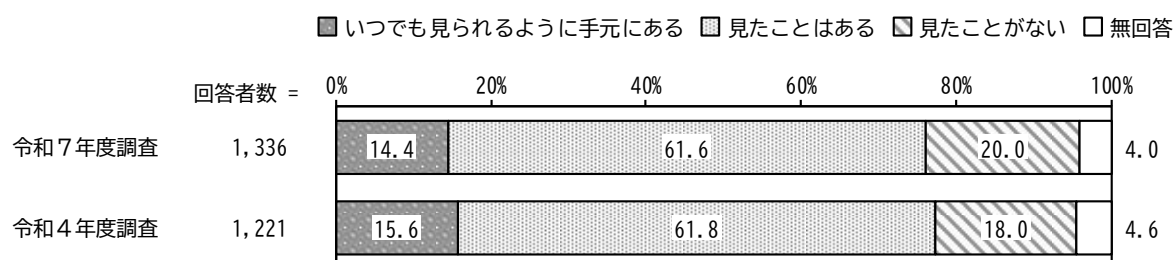
「回覧板や地域の掲示板」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「テレビやラジオ」の割合が 30.9%、「防災訓練・避難訓練の場」の割合が 29.6%となっています。



問 66 あなたは「防災ガイドブック」を見たことがありますか。(〇は1つ)

「いつでも見られるように手元にある」の割合が 14.4%、「見たことはある」の割合が 61.6%、「見たことがない」の割合が 20.0%となっています。

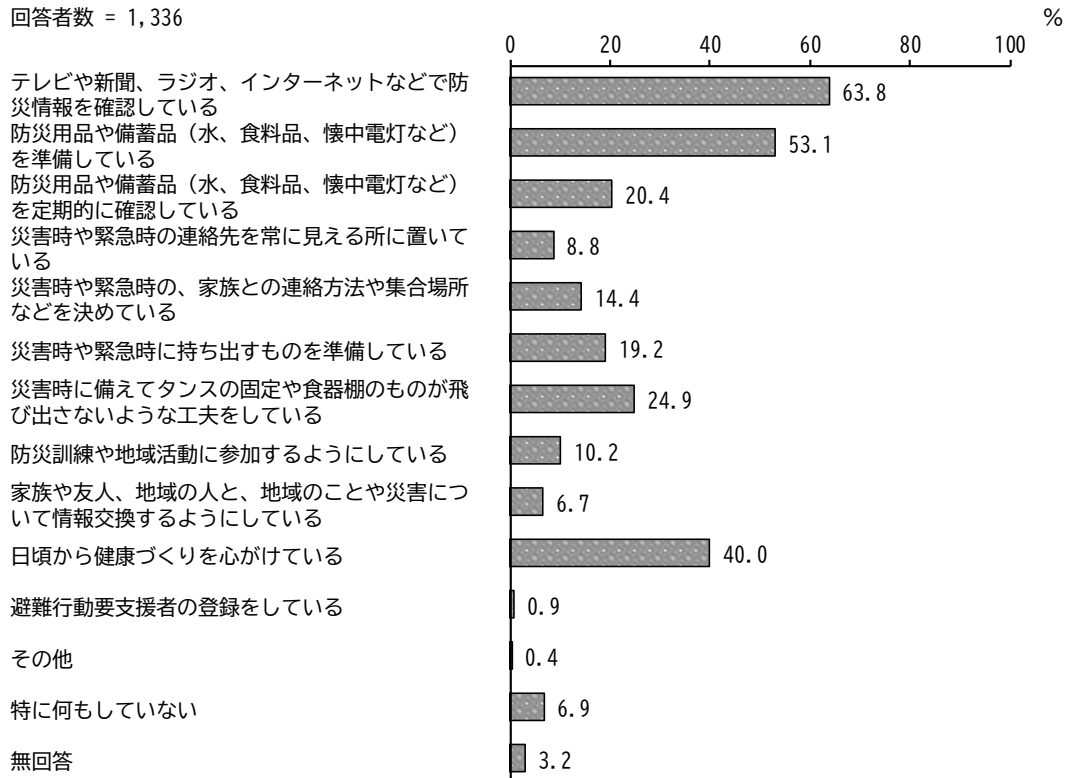
令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 67 あなたはどのような自助活動（自分の身は自分で守る、日頃から備える行動）を行っていますか。（〇はいくつでも）

「テレビや新聞、ラジオ、インターネットなどで防災情報を確認している」の割合が 63.8%と最も高く、次いで「防災用品や備蓄品（水、食料品、懐中電灯など）を準備している」の割合が 53.1%、「日頃から健康づくりを心がけている」の割合が 40.0%となっています。

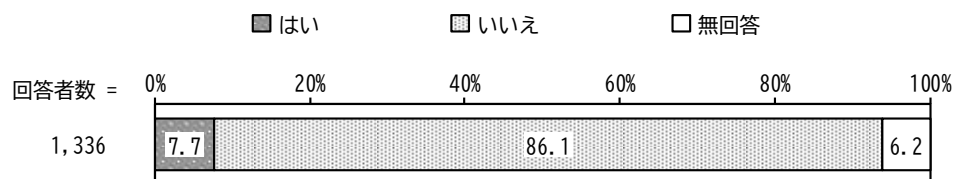
回答者数 = 1,336



F 認知症や介護について

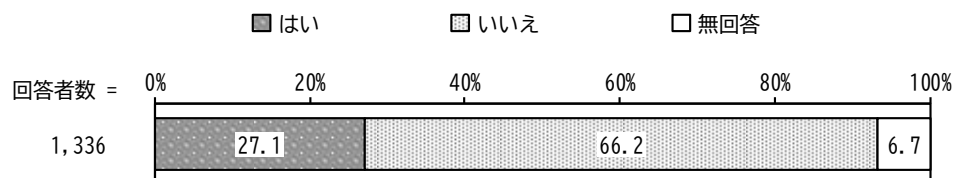
問 68 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

「はい」の割合が7.7%、「いいえ」の割合が86.1%となっています。



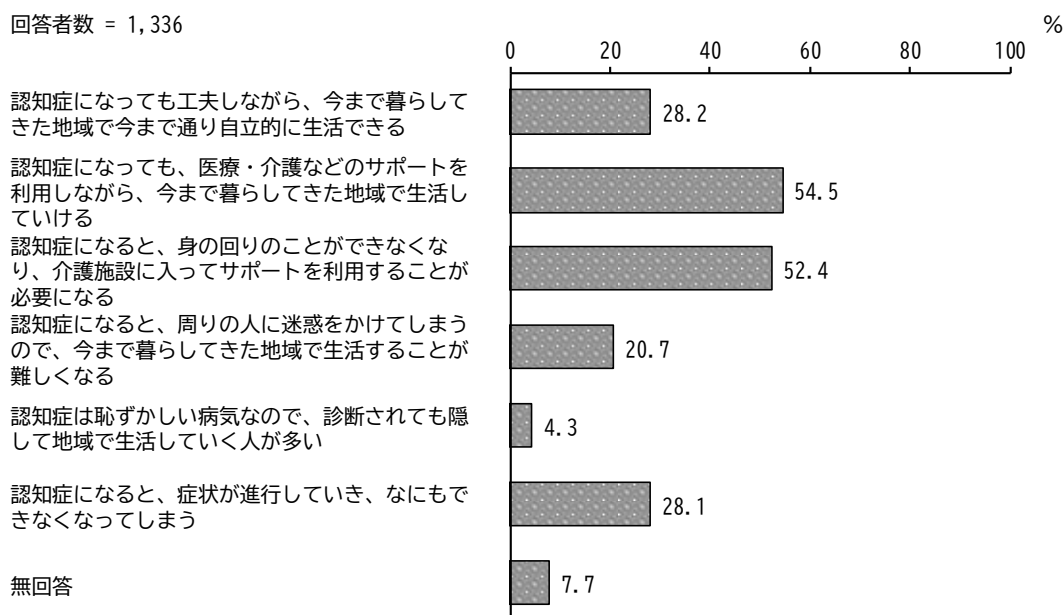
問 69 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が27.1%、「いいえ」の割合が66.2%となっています。



問 70 あなたは認知症の人の日常生活についてどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

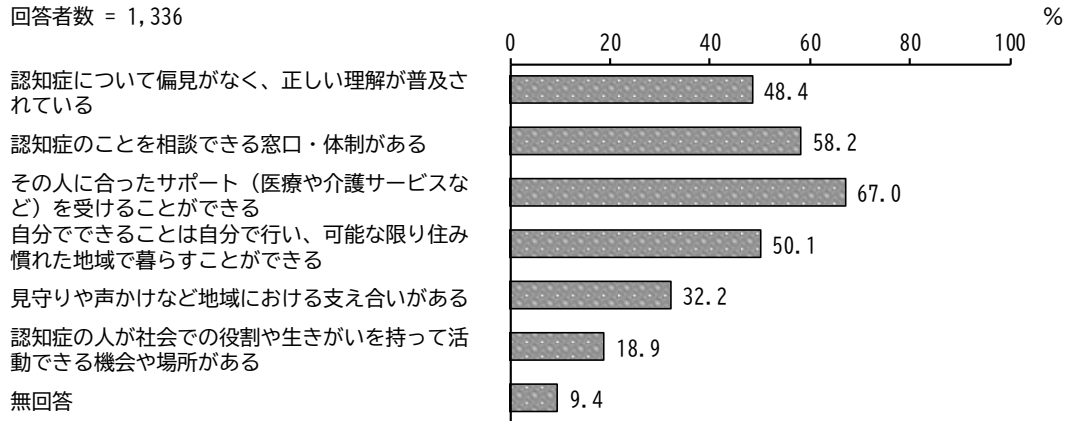
「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」の割合が54.5%と最も高く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」の割合が52.4%、「認知症になっても工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で今まで通り自立的に生活できる」の割合が28.2%となっています。



問 71 認知症の人にとって安心して希望を持って暮らせるまちは、どんなまちだと思いますか。(〇はいくつでも)

「その人に合ったサポート（医療や介護サービスなど）を受けることができる」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「認知症のことを相談できる窓口・体制がある」の割合が 58.2%、「自分でできることは自分で行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らすことができる」の割合が 50.1%となっています。

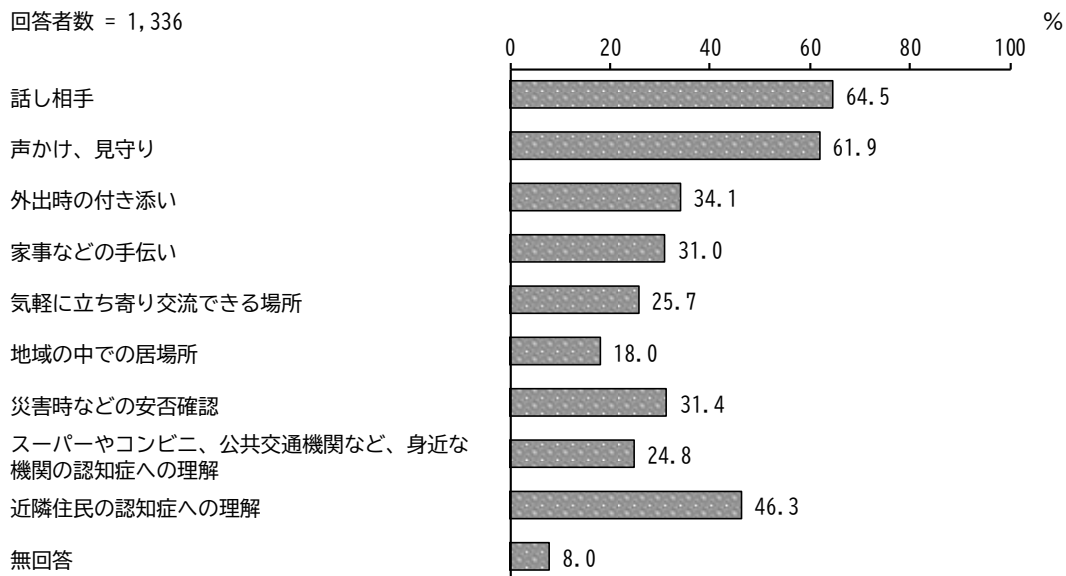
回答者数 = 1,336



問 72 自分や大切な人が認知症になったとしても、安心して、希望を持って暮らし続けることができるために地域の支えとして大切だと思うことを教えてください。(〇はいくつでも)

「話し相手」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「声かけ、見守り」の割合が 61.9%、「近隣住民の認知症への理解」の割合が 46.3%となっています。

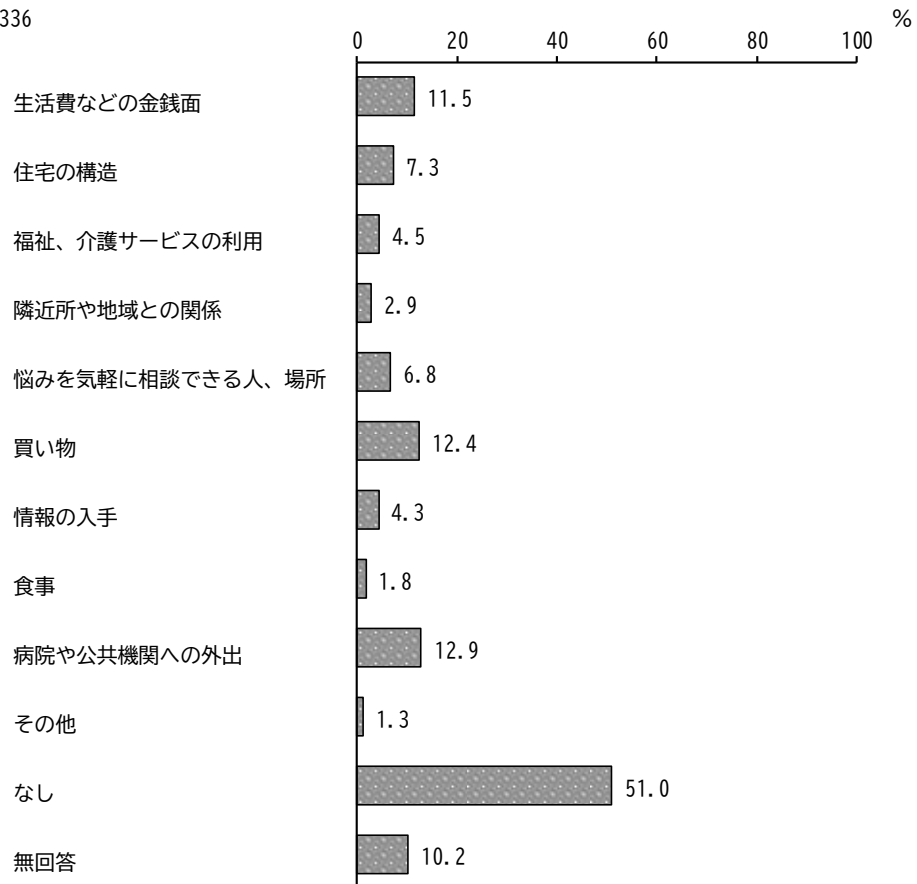
回答者数 = 1,336



問 73 現在、あなたが生活する上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

「なし」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「病院や公共機関への外出」の割合が 12.9%、「買い物」の割合が 12.4%、「生活費などの金銭面」の割合が 11.5%となっています。

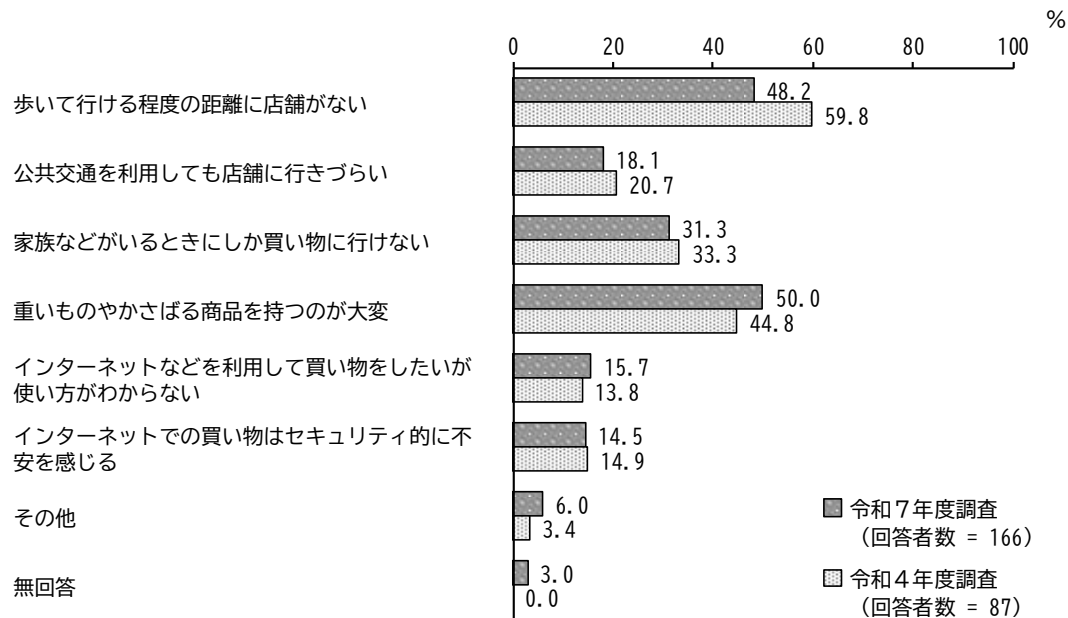
回答者数 = 1,336



問 73－1 問 73 で「買い物」と回答された方にお尋ねします。具体的にどのようなことにお困りですか。(○はいくつでも)

「重いものやかさばる商品を持つのが大変」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「歩いて行ける程度の距離に店舗がない」の割合が 48.2%、「家族などがいるときにしか買い物に行けない」の割合が 31.3%となっています。

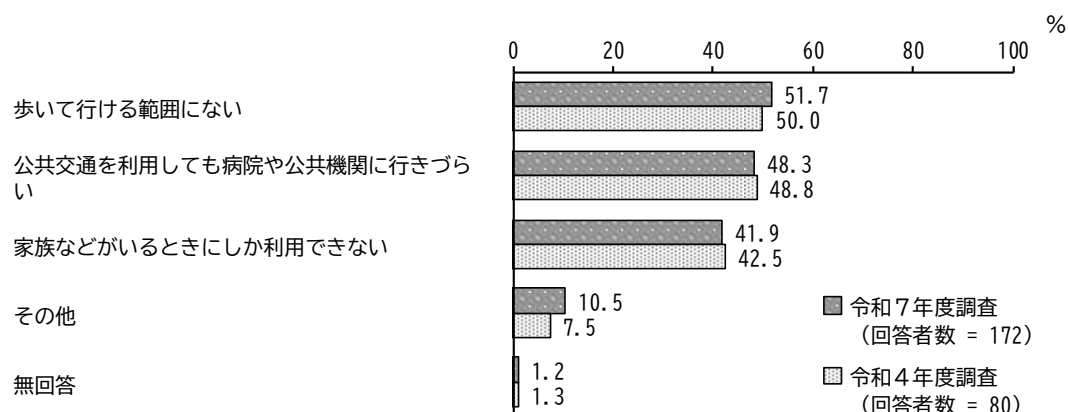
令和 4 年度調査と比較すると、「重いものやかさばる商品を持つのが大変」の割合が増加しています。一方、「歩いて行ける程度の距離に店舗がない」の割合が減少しています。



問 73－2 問 73 で「病院や公共機関への外出」と回答された方にお尋ねします。具体的にどのようなことにお困りですか。(○はいくつでも)

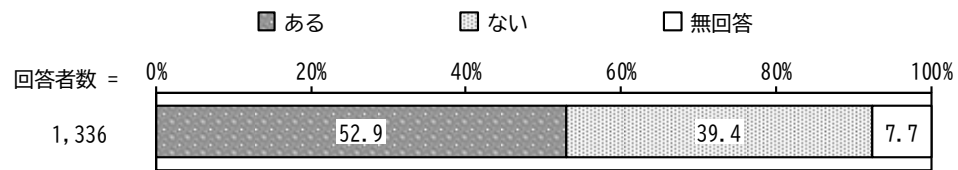
「歩いて行ける範囲にない」の割合が 51.7%、「公共交通を利用しても病院や公共機関に行きづらい」の割合が 48.3%、「家族などがいるときにしか利用できない」の割合が 41.9%となっています。

令和 4 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 74 介護について、悩みを気軽に相談できる人や場所はありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 52.9%、「ない」の割合が 39.4%となっています。

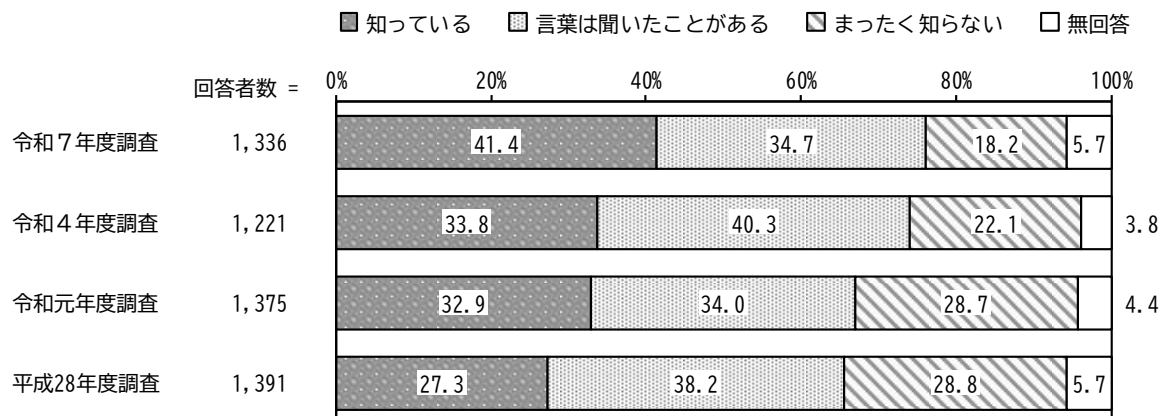


問 75 あなたは「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が 41.4%、「言葉は聞いたことがある」の割合が 34.7%、「まったく知らない」の割合が 18.2%となっています。

過去調査と比較すると、平成 28 年度調査から「知っている」の割合が増加しています。一方、「まったく知らない」の割合が減少しています。

また、令和 4 年度調査から「言葉は聞いたことがある」の割合が減少しています。



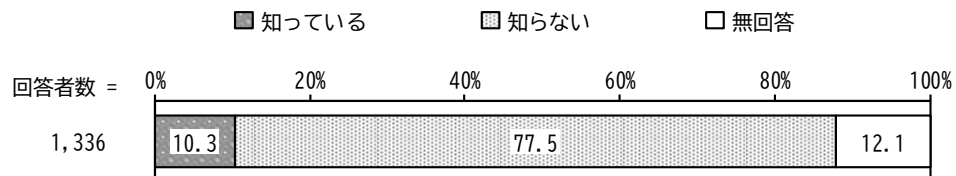
G 介護保険サービス以外の福祉サービスについて

問 76 小牧市には介護保険サービス以外に、次のような福祉サービスがあります。これらのサービスを知っていますか。また、利用したいと思いますか。
①から⑥の各サービスに対し、それぞれ該当する番号に○をつけてください。(○は1つずつ)

周知状況

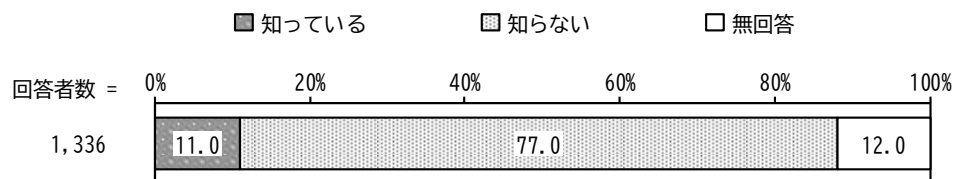
①家庭介護のためのハートフルケアセミナー

「知っている」の割合が 10.3%、「知らない」の割合が 77.5%となっています。



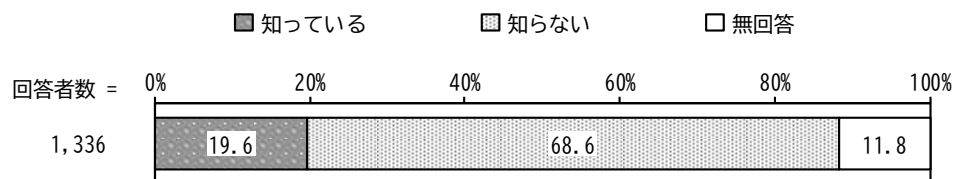
②家族介護用品の支給

「知っている」の割合が 11.0%、「知らない」の割合が 77.0%となっています。



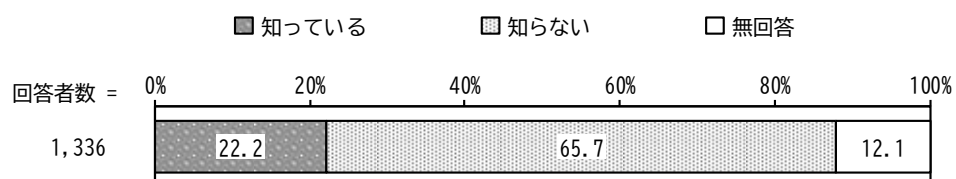
③外出支援サービス

「知っている」の割合が 19.6%、「知らない」の割合が 68.6%となっています。



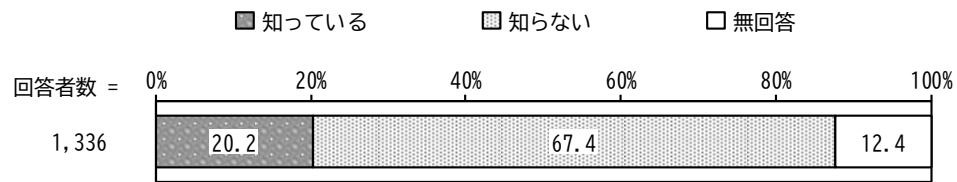
④高齢者タクシー料金助成事業（費用：運賃の一部を助成）

「知っている」の割合が 22.2%、「知らない」の割合が 65.7%となっています。



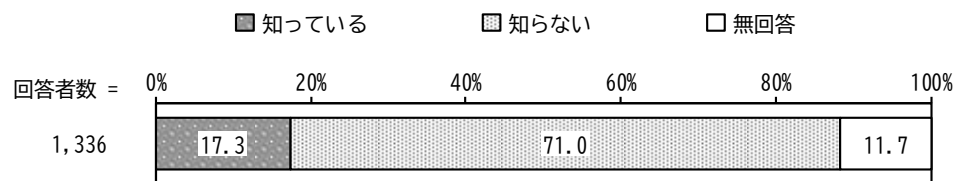
⑤緊急通報システム装置設置（費用：無料、電話料金は自己負担）

「知っている」の割合が20.2%、「知らない」の割合が67.4%となっています。



⑥「食」の自立支援事業（配食サービス）（費用：月～金曜日の最大5回。1食350円）

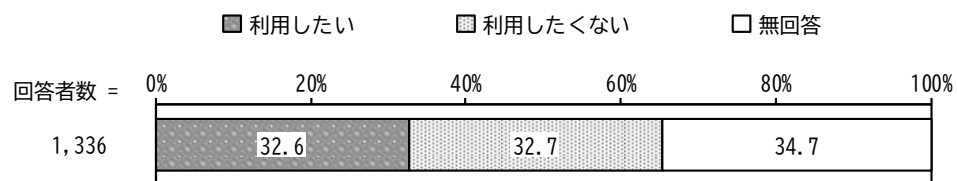
「知っている」の割合が17.3%、「知らない」の割合が71.0%となっています。



利用意向

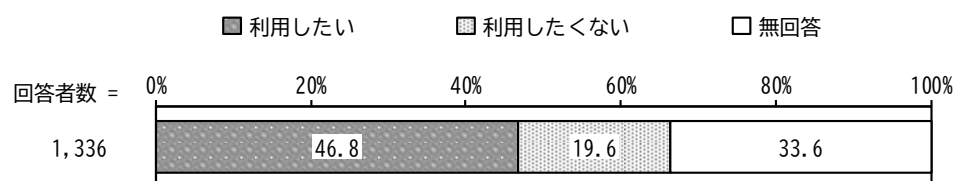
①家庭介護のためのハートフルケアセミナー

「利用したい」の割合が32.6%、「利用したくない」の割合が32.7%となっています。



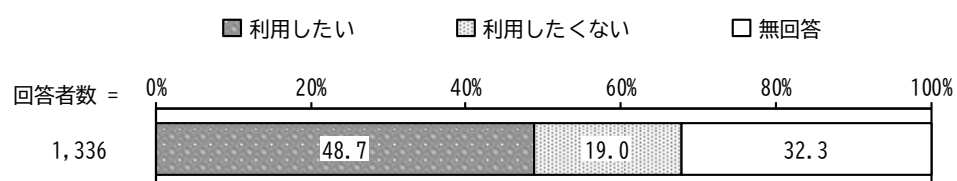
②家族介護用品の支給（費用：月額約6,000円相当の利用券を交付）

「利用したい」の割合が46.8%、「利用したくない」の割合が19.6%となっています。



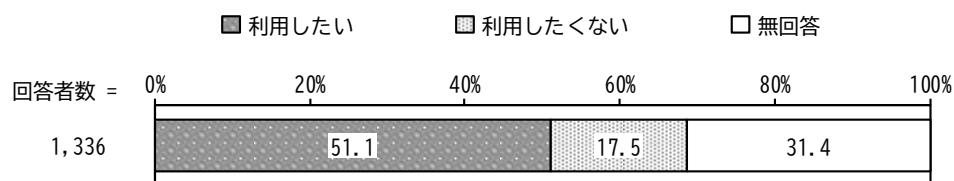
③外出支援サービス（費用：運賃の一部を助成）

「利用したい」の割合が48.7%、「利用したくない」の割合が19.0%となっています。



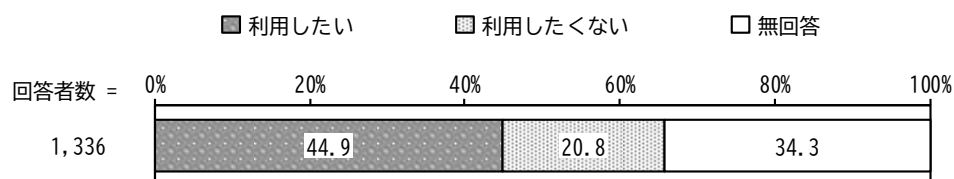
④高齢者タクシー料金助成事業（費用：運賃の一部を助成）

「利用したい」の割合が51.1%、「利用したくない」の割合が17.5%となっています。



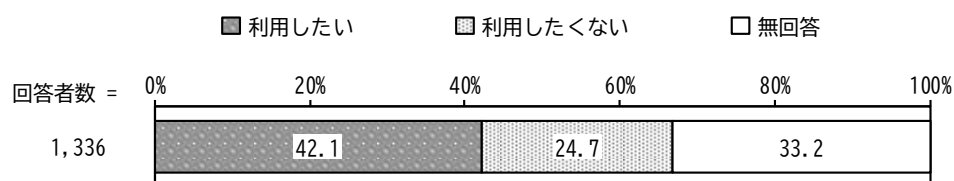
⑤緊急通報システム装置設置（費用：無料、電話料金は自己負担）

「利用したい」の割合が44.9%、「利用したくない」の割合が20.8%となっています。



⑥「食」の自立支援事業（配食サービス）（費用：月～金曜日の最大5回。1食350円）

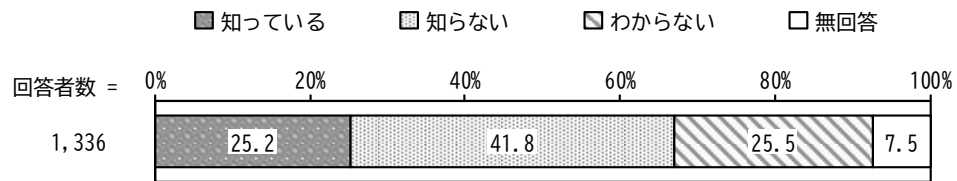
「利用したい」の割合が42.1%、「利用したくない」の割合が24.7%となっています。



H 成年後見制度について

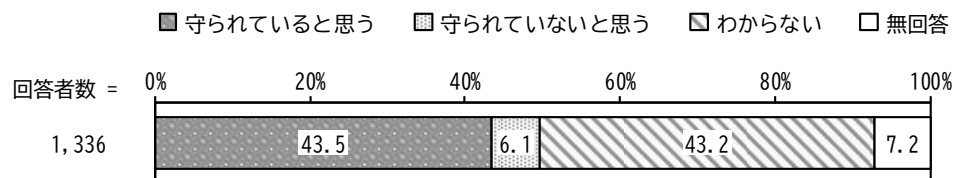
問 77 あなたは、子どもの権利や子どもの権利条約について知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が 25.2%、「知らない」の割合が 41.8%となっています。



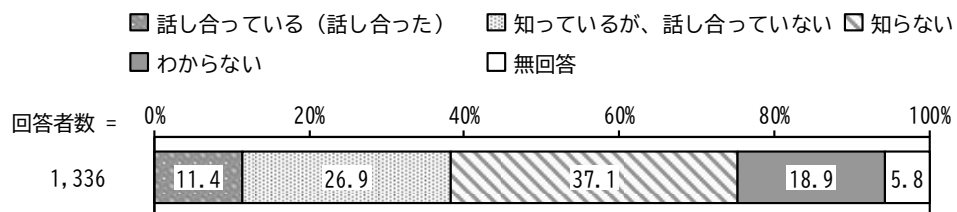
問 78 人権教育・啓発に関する基本計画の中で、「すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、国民一人一人の人権の尊重の精神の涵養を図ることが不可欠」とされていますが、あなたは「あなた自身の人権が守られている」と思いますか。(○は1つ)

「守られていると思う」の割合が 43.5%、「守られていないと思う」の割合が 6.1%となっています。



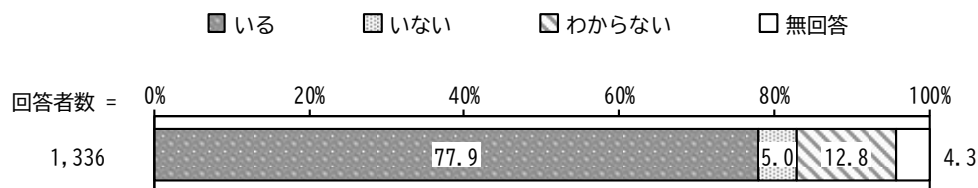
問 79 あなたは、あなた自身の「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」についてご家族と話し合っていますか。(○は1つ)

「話し合っている（話し合った）」の割合が 11.4%、「知っているが、話し合っていない」の割合が 26.9%、「知らない」の割合が 37.1%となっています。



問 80 あなたがもし判断能力を失ってしまった場合、あなたの医療・介護などの希望を代わりに伝えてくれる人はいますか。(○は1つ)

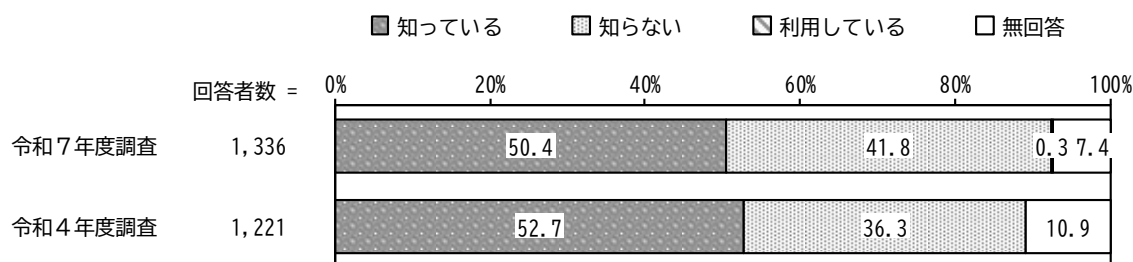
「いる」の割合が 77.9%、「いない」の割合が 5.0%となっています。



問 81 判断能力の不十分な方々の権利を擁護する「成年後見制度」を知っていますか。(○は1つ)

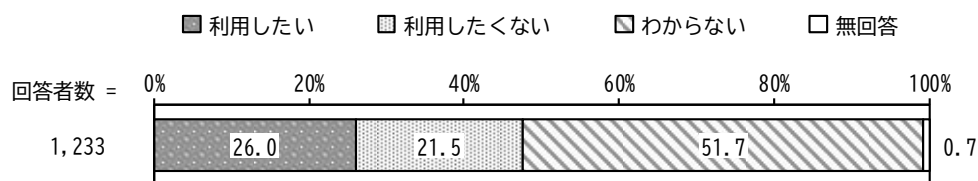
「知っている」の割合が 50.4%、「知らない」の割合が 41.8%、「利用している」の割合が 0.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



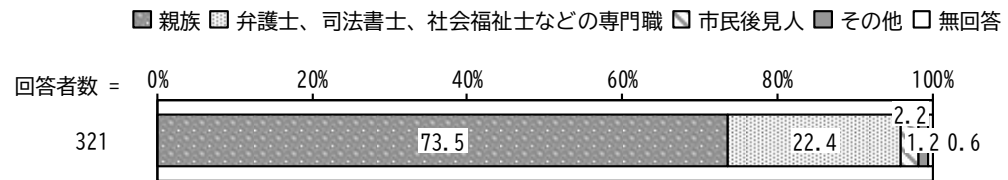
問 81-1 問 81 で「知っている」「知らない」と回答された方にお尋ねします。成年後見制度を今後、利用したいと思いますか。(○は1つ)

「利用したい」の割合が 26.0%、「利用したくない」の割合が 21.5%となっています。



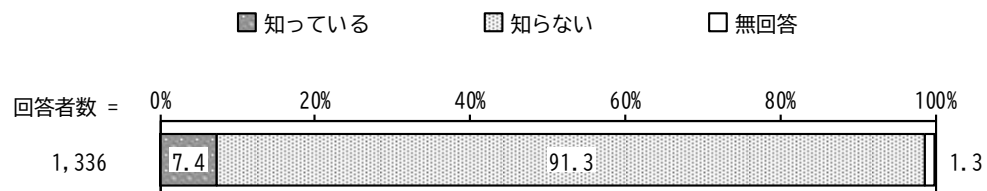
問 81-1-1 問 81-1 で「利用したい」と回答された方にお尋ねします。支援してくれる後見人はどのような方を希望されますか。(○は1つ)

「親族」の割合が 73.5%、「弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職」の割合が 22.4%、「市民後見人」の割合が 2.2%となっています。



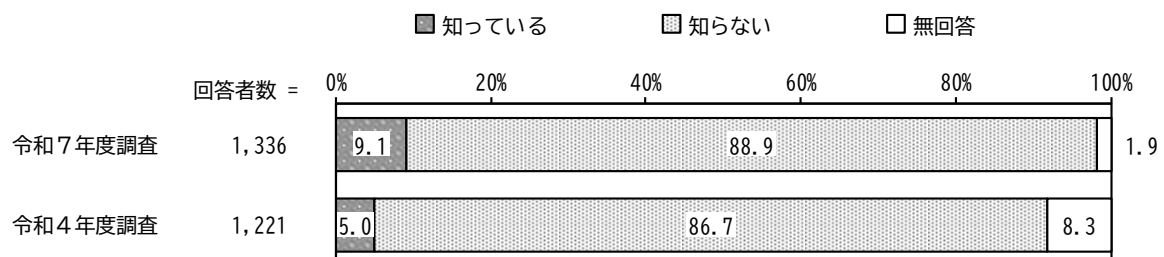
問 82 令和 6 年度に、小牧市に市民後見人が誕生したことを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が 7.4%、「知らない」の割合が 91.3%となっています。



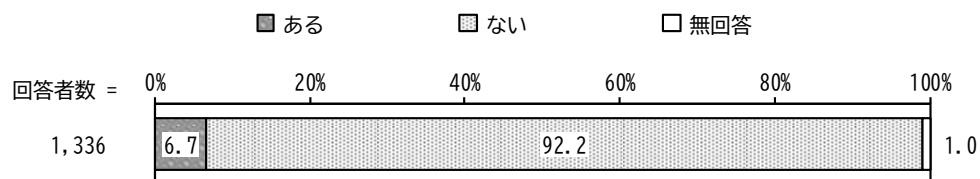
問 83 成年後見制度の相談や利用支援などを行う「尾張北部権利擁護支援センター（ふれあいセンター内）」を知っていますか (○は1つ)

「知っている」の割合が 9.1%、「知らない」の割合が 88.9%となっています。
令和 4 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が微増しています。



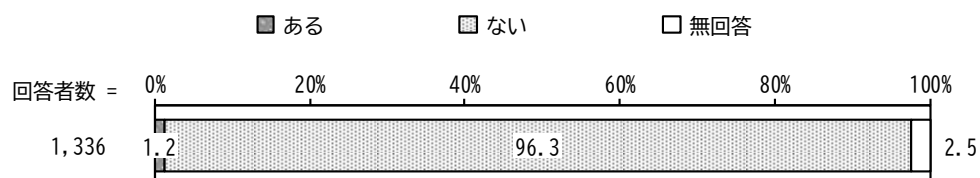
問 84 あなたは、ちょっとした家事（買い物、ごみ出し、電球交換、庭の草取り、書類整理、生活費の管理）を行う人（家族や友人等）がいないために困ったことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が 6.7%、「ない」の割合が 92.2%となっています。



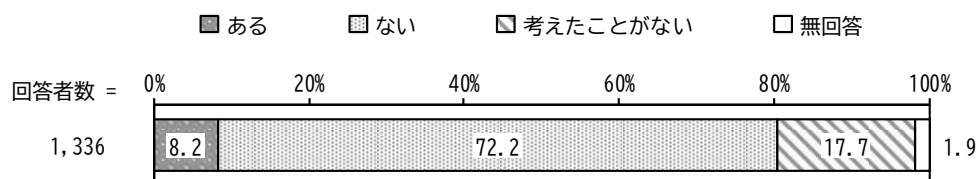
問 85 あなたは、保証人や緊急連絡先となる人がいないために、賃貸住宅への入居や、病院への入院、施設への入所ができないことで困ったことがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が 1.2%、「ない」の割合が 96.3%となっています。



問 86 あなたは、あなたが亡くなったあとの手続きを行う人がいないために不安に感じることがありますか。（○は1つ）

「ある」の割合が 8.2%、「ない」の割合が 72.2%、「考えたことがない」の割合が 17.7%となっています。



I 保健・福祉・介護の制度全般について

問 87 保健・福祉・介護の制度全般について要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

保健・福祉・介護の制度全般について、ご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

分類項目	件数
介護保険制度について	7
介護保険料やサービス利用料の負担について	14
要支援・要介護認定について	12
介護保険サービスや福祉サービスについて	19
情報提供や相談の対応について	32
交通手段や外出支援について	10
介護者負担について	4
介護サービス事業者について	1
介護サービス提供従事者について	6
市政について	10
将来について	22

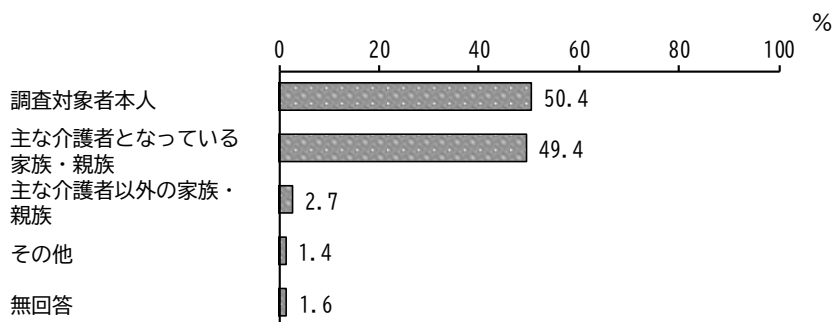
2 介護保険認定者実態調査

A 本人について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数回答可）

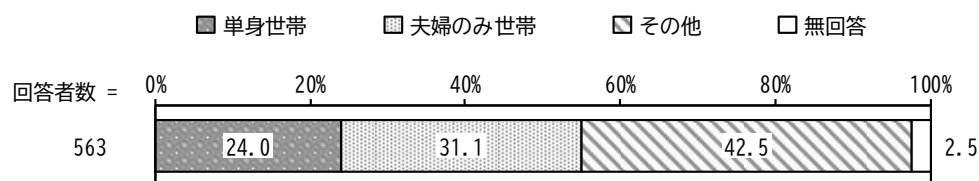
「調査対象者本人」の割合が50.4%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が49.4%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が2.7%となっています。

回答者数 = 563



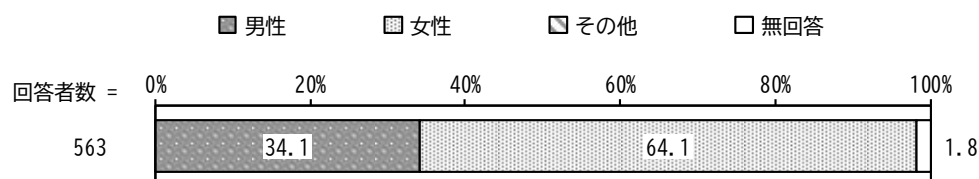
問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

「単身世帯」の割合が24.0%、「夫婦のみ世帯」の割合が31.1%となっています。



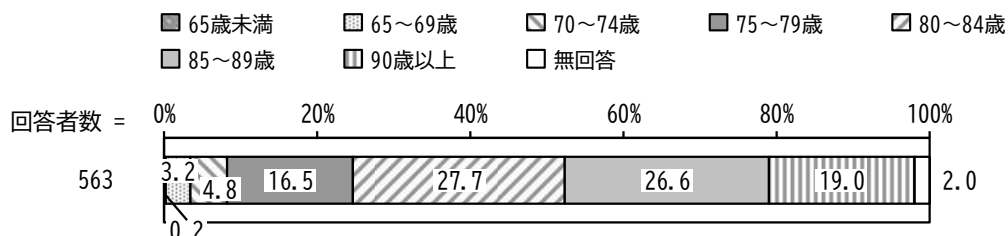
問3 ご本人の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」の割合が34.1%、「女性」の割合が64.1%となっています。



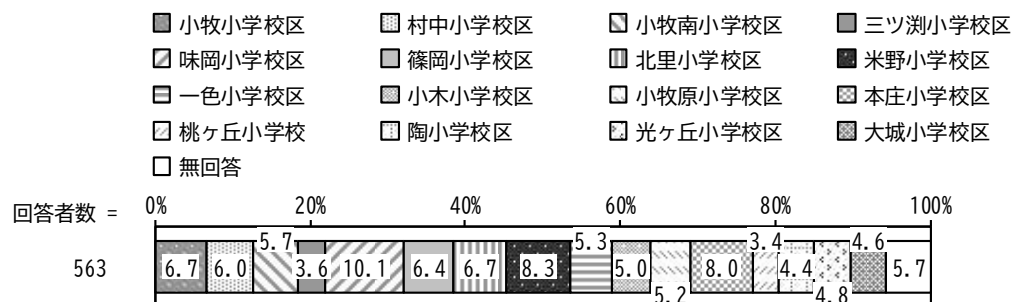
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

「80～84歳」の割合が27.7%と最も高く、次いで「85～89歳」の割合が26.6%、「90歳以上」の割合が19.0%となっています。



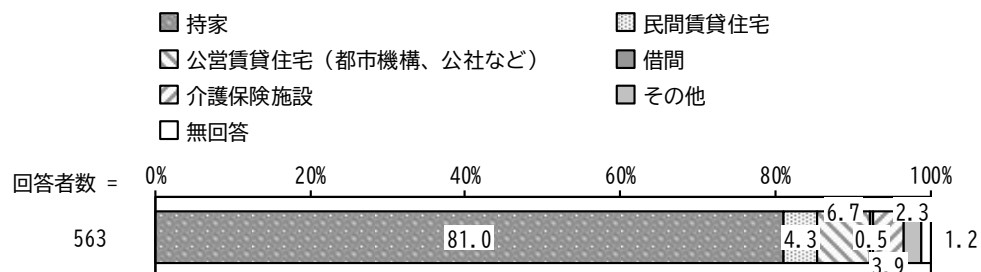
問5 ご本人のお住まいの小学校区は、次のどれにあたりますか。（1つを選択）

「味岡小学校区」の割合が10.1%と最も高くなっています。



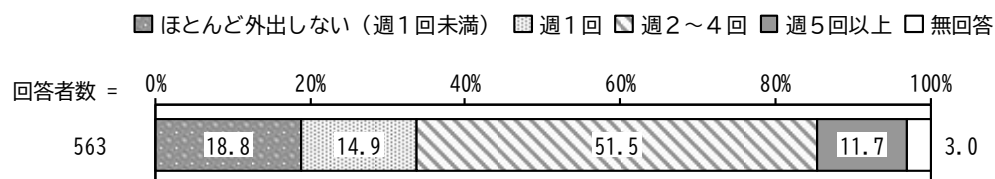
問6 ご本人のお住まいの形態はどれですか。（1つを選択）

「持家」の割合が81.0%と最も高くなっています。



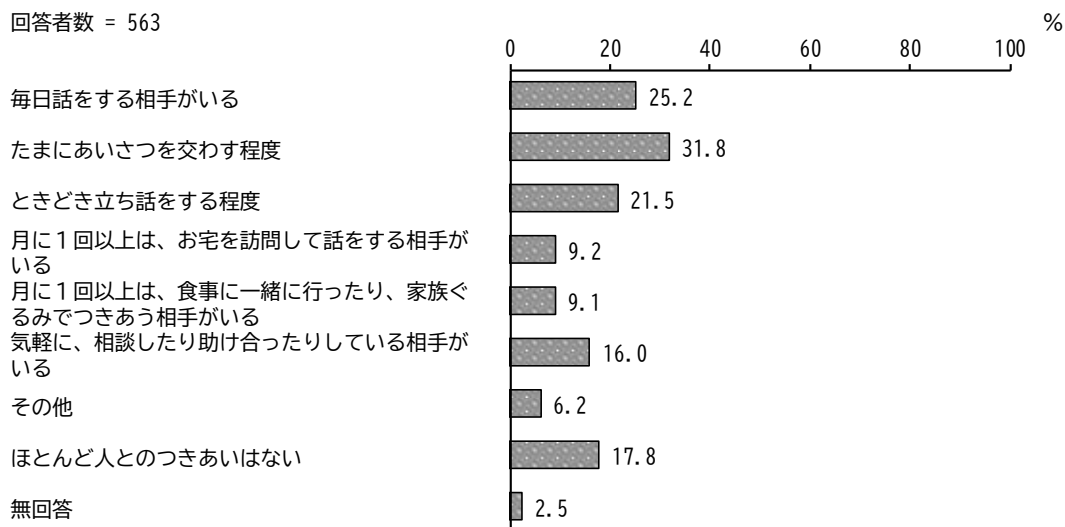
問7 週1回以上は外出していますか。（デイサービス等も含む。）（1つを選択）

「週2～4回」の割合が51.5%と最も高く、次いで「ほとんど外出しない（週1回未満）」の割合が18.8%、「週1回」の割合が14.9%となっています。



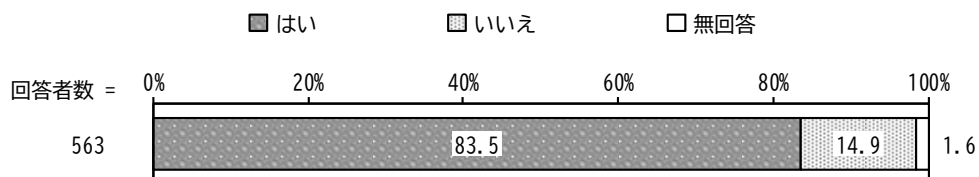
問8 となり近所とのおつきあいはどうですか。(近くに住む家族・親戚を含む)(複数回答可)

「たまにあいさつを交わす程度」の割合が31.8%と最も高く、次いで「毎日話をする相手がいる」の割合が25.2%、「ときどき立ち話をする程度」の割合が21.5%となっています。



問9 悩みを気軽に相談できる人や場所(機関)はありますか。(1つを選択)

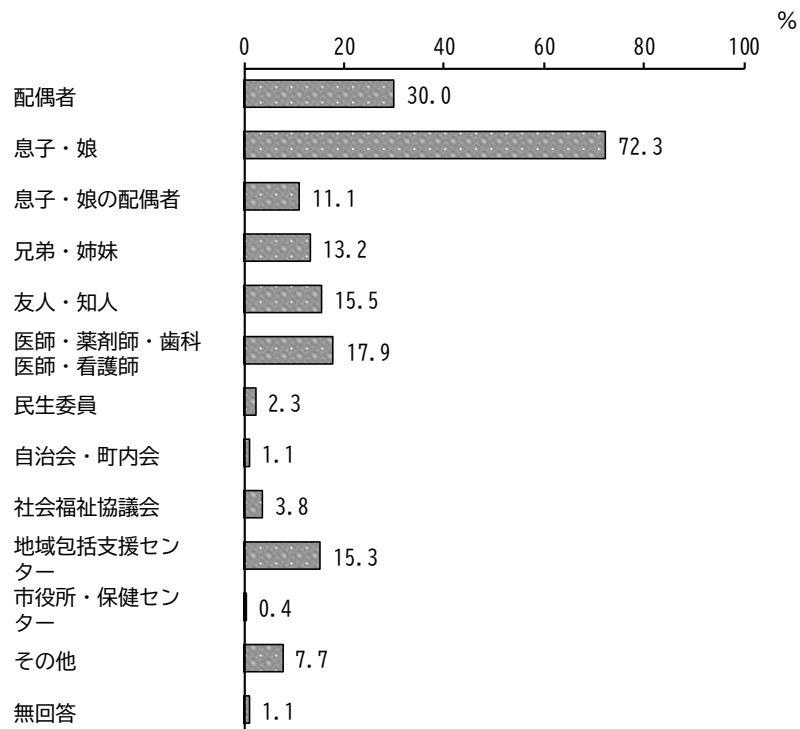
「はい」の割合が83.5%、「いいえ」の割合が14.9%となっています。



問9－1 問9で「はい」と回答された方にお尋ねします。具体的にはどこに相談されますか。(複数回答可)

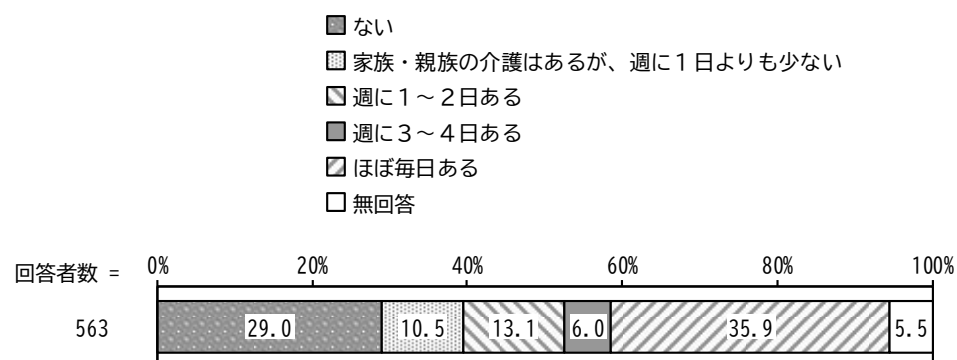
「息子・娘」の割合が72.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が30.0%、「医師・薬剤師・歯科医師・看護師」の割合が17.9%となっています。

回答者数 = 470



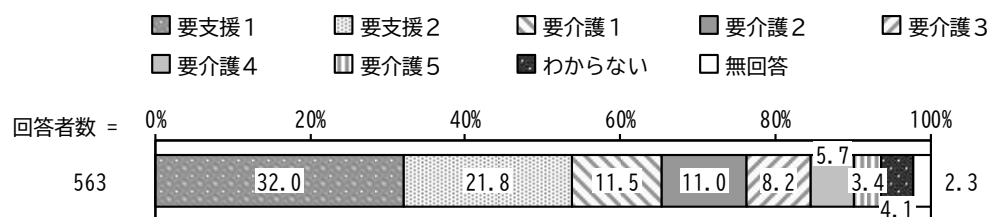
問10 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

「ほぼ毎日ある」の割合が35.9%と最も高く、次いで「ない」の割合が29.0%、「週に1～2日ある」の割合が13.1%となっています。



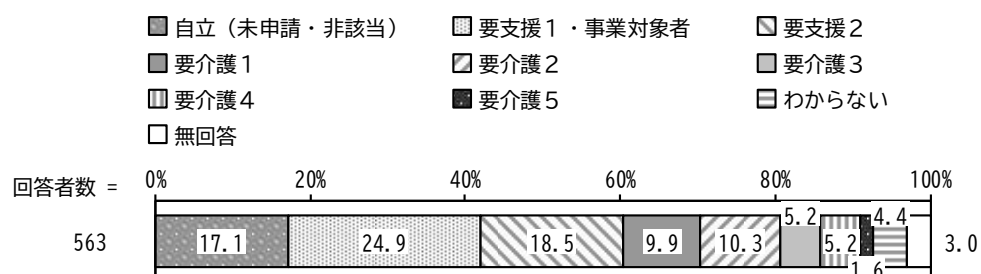
問 11 ご本人の要介護度について、ご回答ください。（1つを選択）

「要支援1」の割合が32.0%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が21.8%、「要介護1」の割合が11.5%となっています。



問 12 1年前の要介護度について、ご回答ください。（1つを選択）

「要支援1・事業対象者」の割合が24.9%と最も高く、次いで「要支援2」の割合が18.5%、「自立（未申請・非該当）」の割合が17.1%となっています。



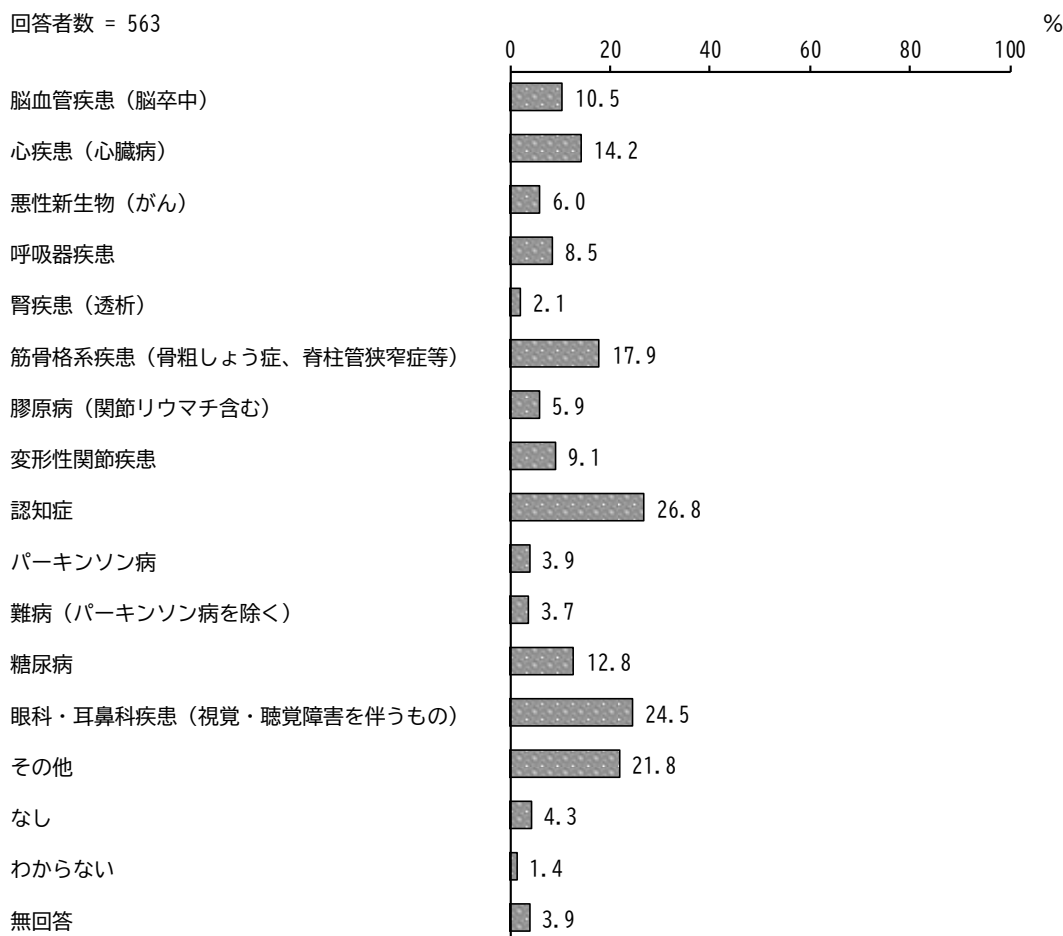
【現在の要介護度別】

1年前の要介護度別の現在の要介護度をみると、要介護度1では、1年前の要介護度より低くなった割合が25.0%と、他に比べて高くなっています。

		現在の要介護度									
		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	わからない	無回答
1年前の要介護度	全体	563	32.0	21.8	11.5	11.0	8.2	5.7	3.4	4.1	2.3
	自立（未申請・非該当）	96	49.0	12.5	8.3	7.3	10.4	4.2	2.1	5.2	1.0
	要支援1・事業対象者	140	66.4	13.6	12.1	2.9	2.9	0.7	0.0	0.7	0.7
	要支援2	104	12.5	69.2	4.8	5.8	4.8	0.0	0.0	1.0	1.9
	要介護1	56	21.4	3.6	53.6	14.3	5.4	1.8	0.0	0.0	0.0
	要介護2	58	6.9	19.0	3.4	56.9	5.2	0.0	6.9	0.0	1.7
	要介護3	29	3.4	6.9	0.0	6.9	62.1	13.8	6.9	0.0	0.0
	要介護4	29	3.4	6.9	0.0	0.0	10.3	65.5	10.3	3.4	0.0
	要介護5	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8	0.0	0.0
	わからない	25	24.0	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	4.0	56.0	0.0
	無回答	96	49.0	12.5	8.3	7.3	10.4	4.2	2.1	5.2	1.0

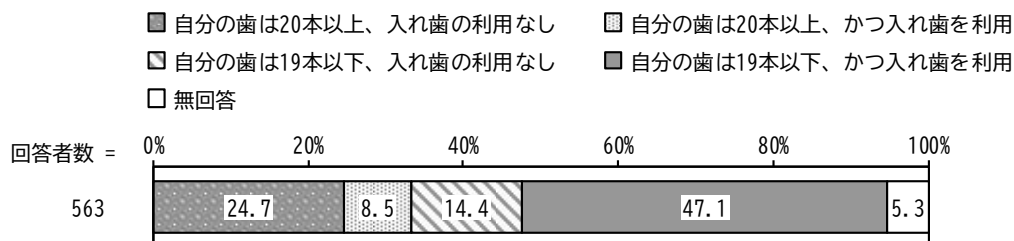
問 13 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（複数選択可）

「認知症」の割合が 26.8%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 24.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が 17.9%となっています。



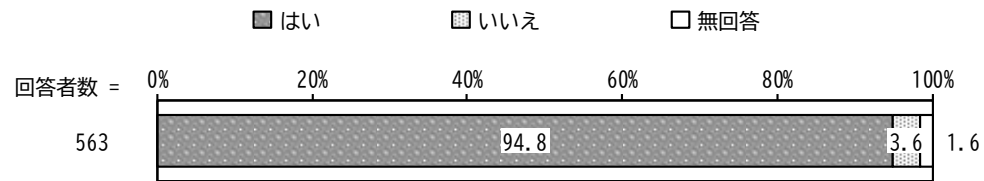
問 14 歯と入れ歯の利用状況をお教えてください。（1つを選択）※成人の歯の総本数は親知らずを含めて 32 本です。

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 24.7%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合が 14.4%となっています。



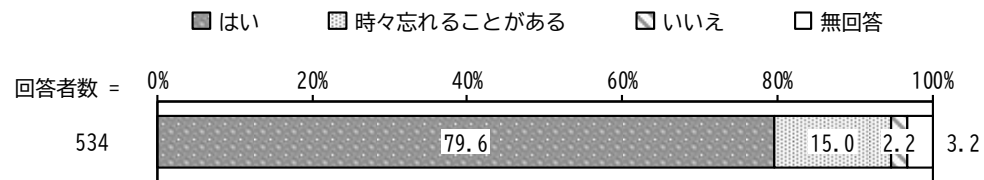
問 15 現在、薬を飲んでいますか。(1つを選択)

「はい」の割合が94.8%、「いいえ」の割合が3.6%となっています。



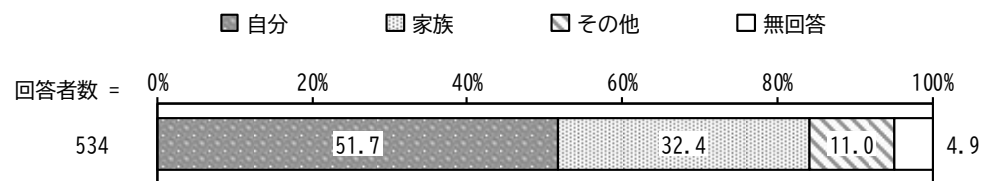
問 15-1 問 15 で「はい」と回答された方にお伺いします。薬はきちんと飲むことができますか。(1つを選択)

「はい」の割合が79.6%、「時々忘れることがある」の割合が15.0%、「いいえ」の割合が2.2%となっています。



問 15-2 問 15 で「はい」と回答された方にお伺いします。薬の管理はどなたが行っていますか。(1つを選択)

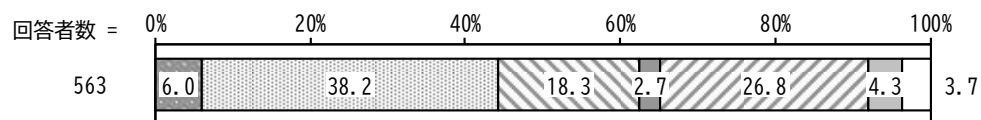
「自分」の割合が51.7%、「家族」の割合が32.4%となっています。



問 16 もし、現在の要介護度が上がったら、どのような方法での介護を望みますか。(1つを選択)

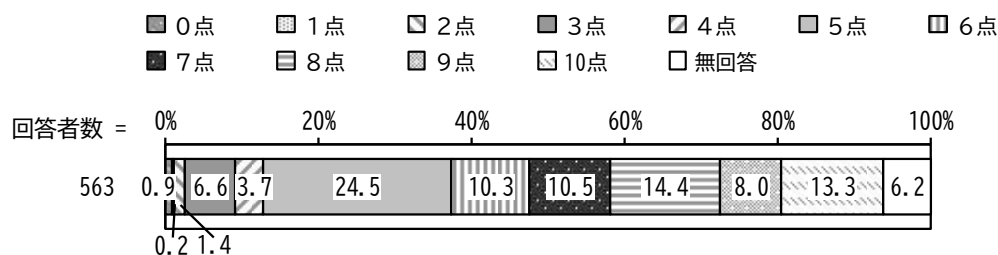
「今住んでいるところで、ホームヘルパーやデイサービスなどの介護サービスを利用しながら家族に介護してほしい」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや民間の有料老人ホームなどに入り、そこで介護してほしい」の割合が 18.3%となっています。

- ☒ 今住んでいるところで、家族だけで介護してほしい
- ☒ 今住んでいるところで、ホームヘルパーやデイサービスなどの介護サービスを利用しながら家族に介護してほしい
- ☒ 特別養護老人ホームや民間の有料老人ホームなどに入り、そこで介護してほしい
- ☒ 今以上の介護が必要となる前に、介護サービスも利用できる民間の有料老人ホームなどにあらかじめ引っ越したい
- ☒ わからない（必要になったときに考える）
- ☐ その他
- ☐ 無回答



問 17 ご本人は現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる数字に○をご記入ください)

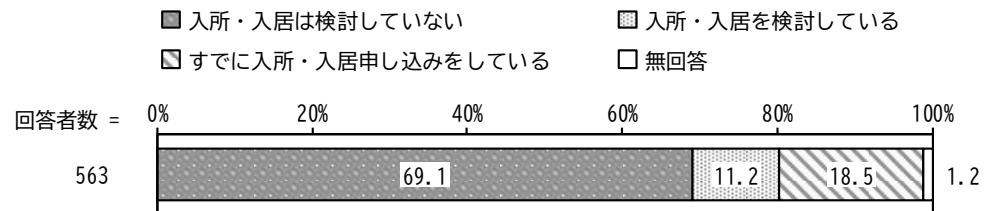
「5点」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「8点」の割合が 14.4%、「10点」の割合が 13.3%となっており、平均は 6.6点となっています。



B 介護サービスの利用などについて

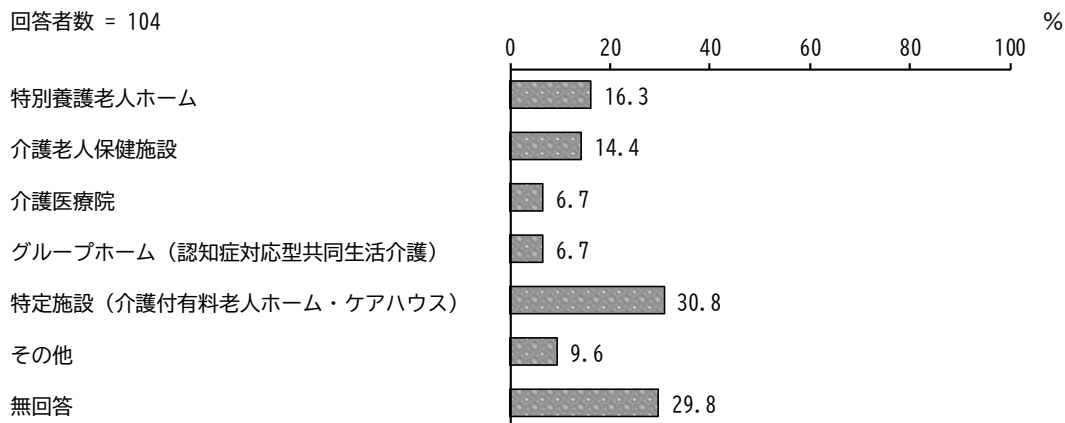
問 18 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

「入所・入居は検討していない」の割合が 69.1%、「入所・入居を検討している」の割合が 11.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が 18.5%となっています。



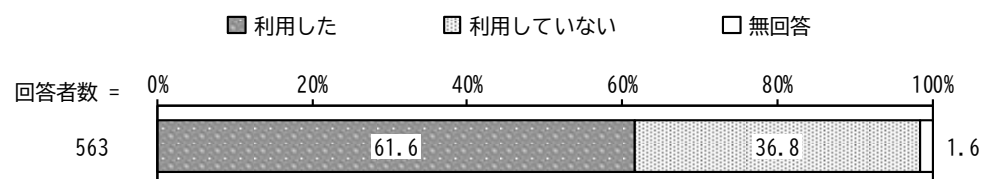
問 18-1 問 18 で「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答された方にお伺いします。施設の種類は何ですか。（複数回答可）

「特定施設（介護付有料老人ホーム・ケアハウス）」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」の割合が 16.3%、「介護老人保健施設」の割合が 14.4%となっています。



問 19 令和 7 年 11 月の 1 か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

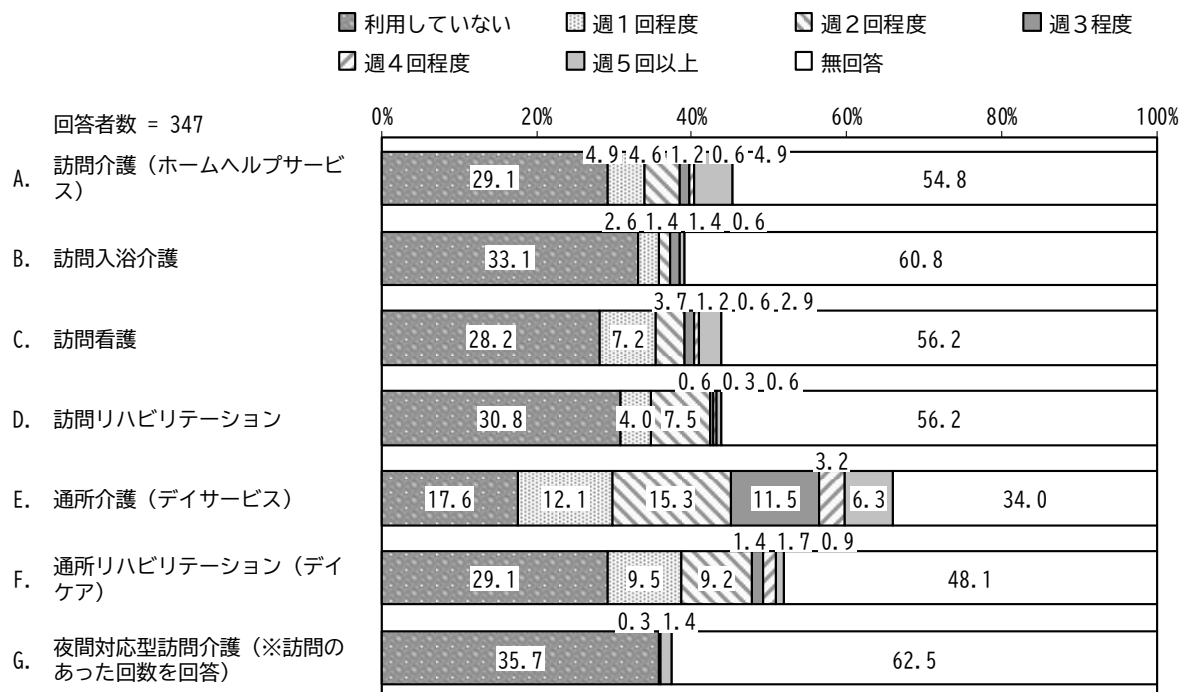
「利用した」の割合が 61.6%、「利用していない」の割合が 36.8%となっています。



問 19-1 問 19 で「利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、1 か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1 つに○）。

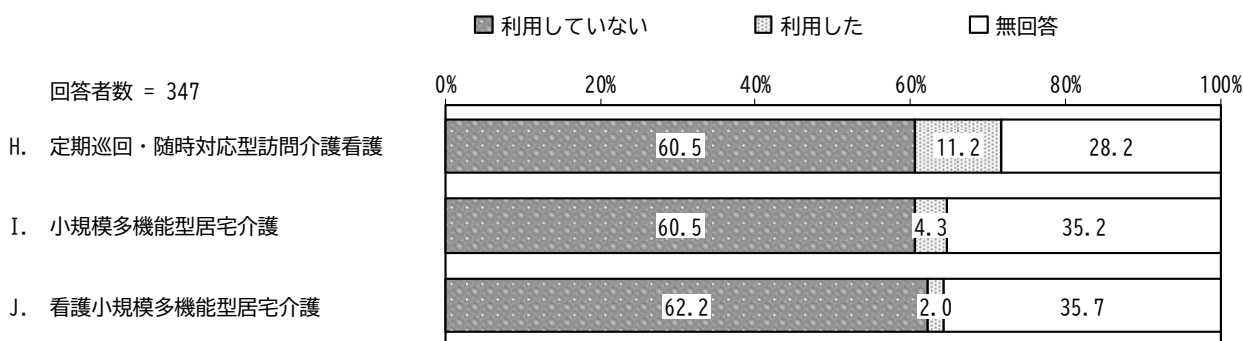
1 週間あたりの利用回数（それぞれ1 つに○）

週 1 回以上の利用回数においては、『E. 通所介護（デイサービス）』が 48.4%と最も高くなっています。次いで、『F. 通所リハビリテーション（デイケア）』が 22.7%と高くなっています。『G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）』で「利用していない」が最も高くなっています。



利用の有無（1 つに○）

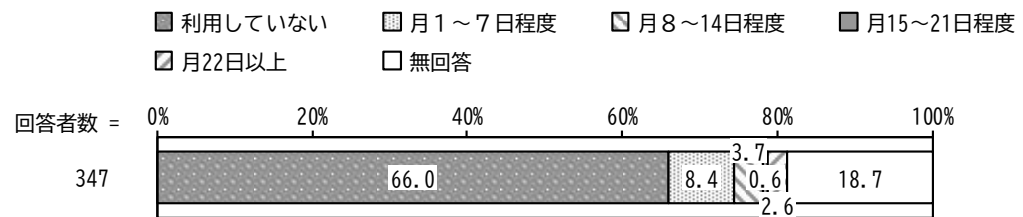
『H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護』で「利用した」が 11.2%と、一定の利用があるものの、どのサービスも「利用していない」が半数以上となっています。



1 か月あたりの利用日数（1 つに○）

K. ショートステイ

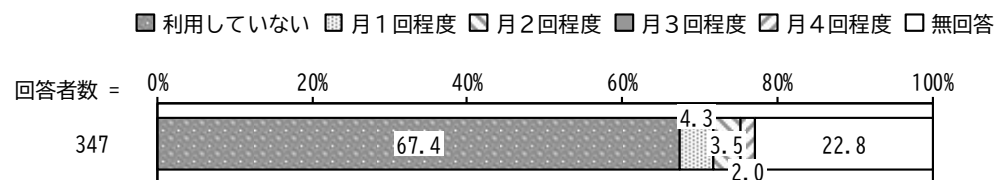
「利用していない」の割合が 66.0%と最も高くなっています。利用している中では、「月 1 ～ 7 日程度」が 8.4%と最も高くなっています。



1 か月あたりの利用回数（1 つに○）

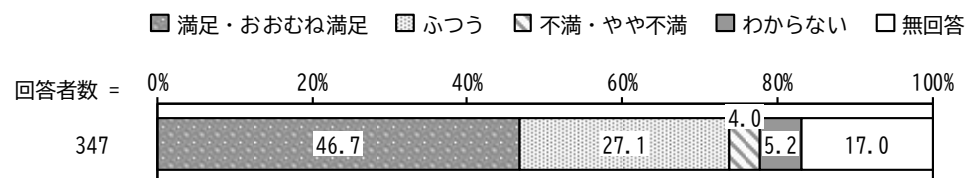
L. 居宅療養管理指導

「利用していない」の割合が 67.4%と最も高くなっています。利用している中では、「月 1 回程度」が 4.3%と最も高くなっています。



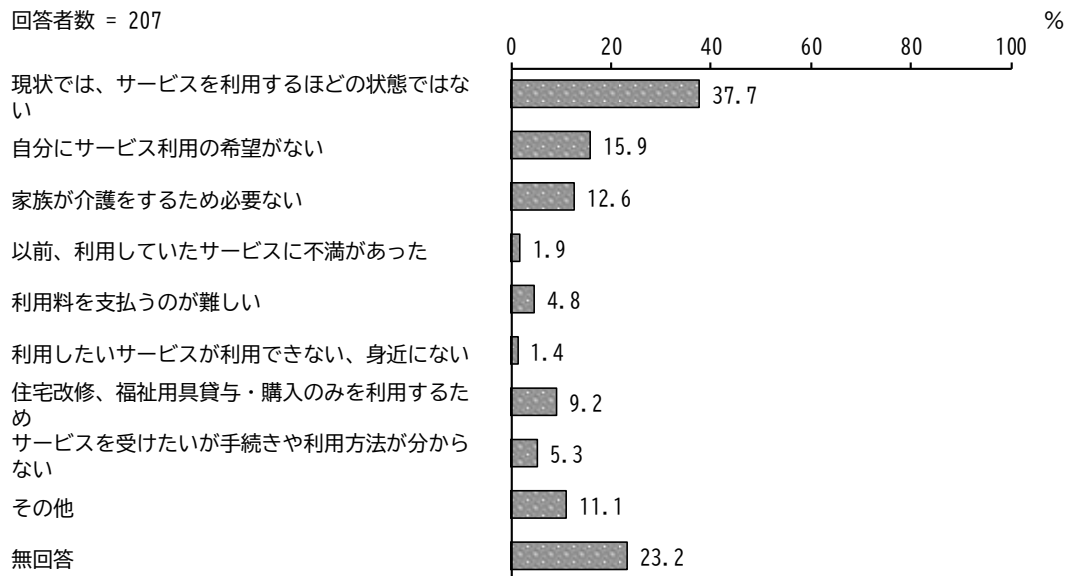
問 19－2 問 19 で「利用した」と回答された方にお伺いします。介護保険サービスの満足度はいかがでしょうか。（複数のサービスを利用されている方は全体の満足度についてお答えください。）（1 つを選択）

「満足・おおむね満足」の割合が 46.7%、「ふつう」の割合が 27.1%、「不満・やや不満」の割合が 4.0%となっています。



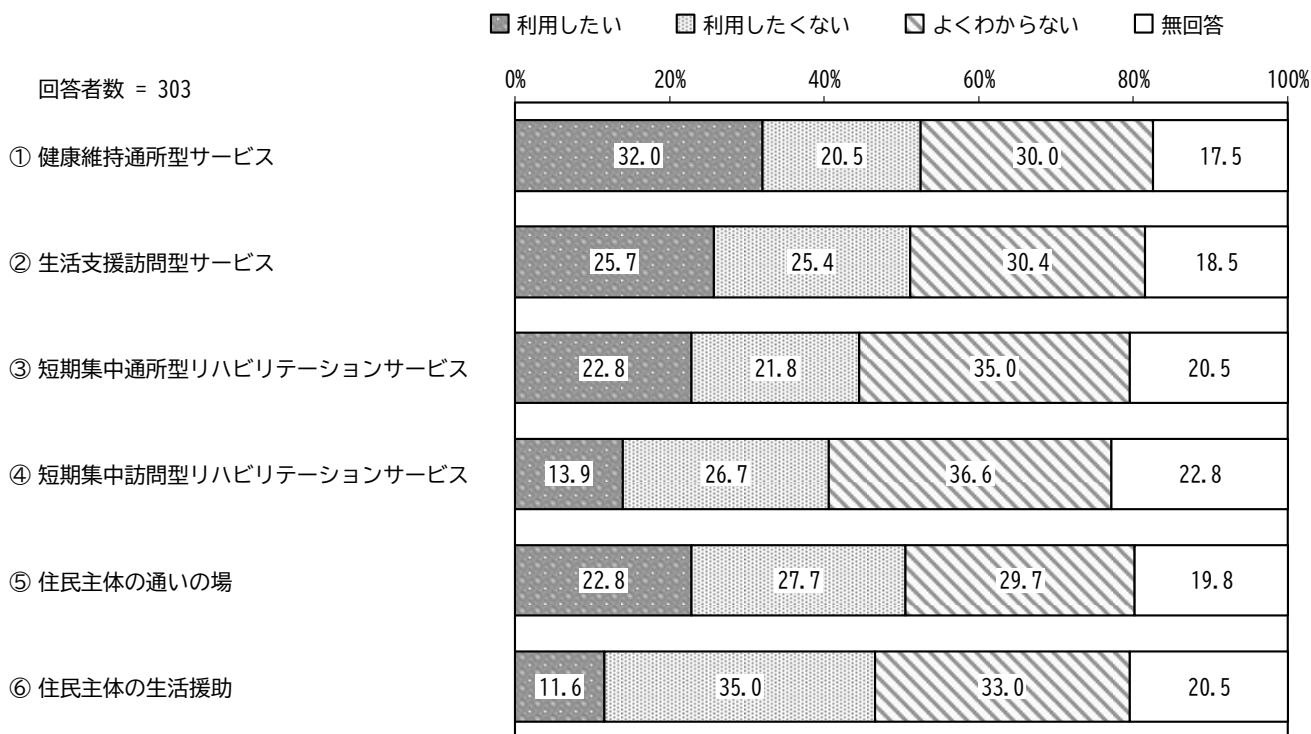
問 19－3 問 19 で「利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「自分にサービス利用の希望がない」の割合が 15.9%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 12.6%となっています。



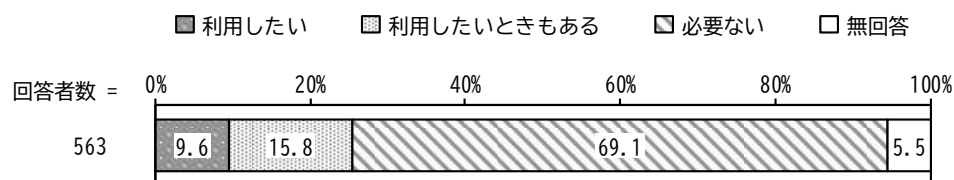
問 20 小牧市では、支援が必要な方に、要介護（要支援）認定を受けることなく利用できる下記のようなサービスを提供し、迅速にサービスに繋げていくことも考えています。今後利用したいと思いますか。①から⑥のサービスに対し、それぞれ該当する番号に○をつけてください。（○は1つずつ）※要支援1、2の方が対象

「利用したい」が最も多いのは、『① 健康維持通所型サービス』で 32.0%、次いで『② 生活支援訪問型サービス』が 25.7%、『③ 短期集中訪問型リハビリテーションサービス』と『⑤ 住民主体の通いの場』が 22.8%となっています。



問 21 夜間・早朝にホームヘルパーがご自宅を訪問して、安否確認や体位交換などのサービスを行う夜間・早朝サービスを利用したいと思いますか。（1つを選択）

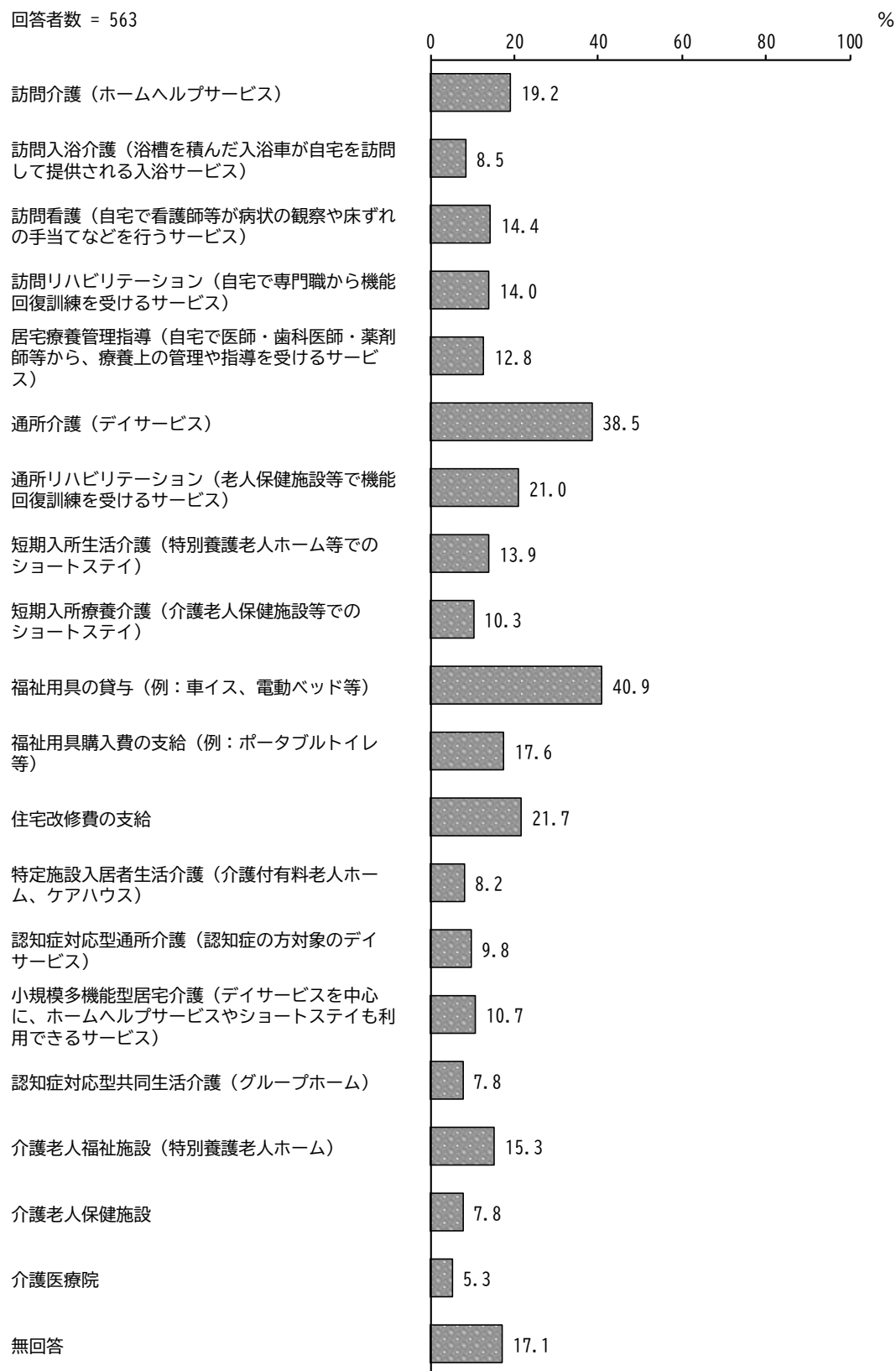
「利用したい」の割合が 9.6%、「利用したいときもある」の割合が 15.8%、「必要ない」の割合が 69.1%となっています。



問 22 次の介護サービスの内、今後利用したいものはありますか。（現在利用しているものを
含めて○をつけてください。）（複数選択可）

「福祉用具の貸与（例：車イス、電動ベッド等）」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「通所介護（デ
イサービス）」の割合が 38.5%、「住宅改修費の支給」の割合が 21.7%となっています。

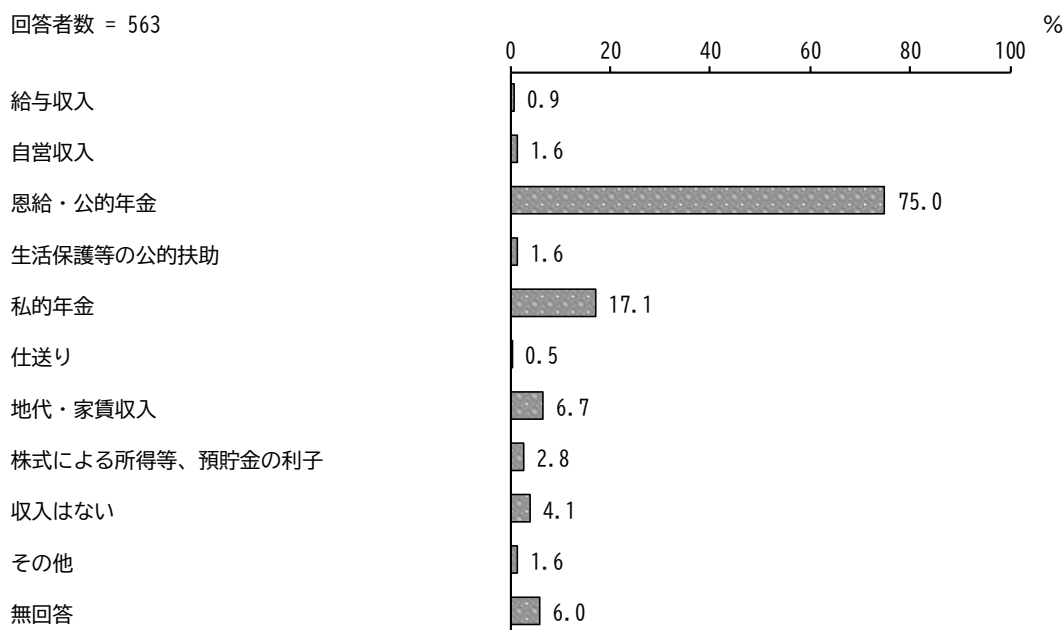
回答者数 = 563



問 23 ご本人（認定調査対象者）は、どのような収入がありますか。（複数選択可）

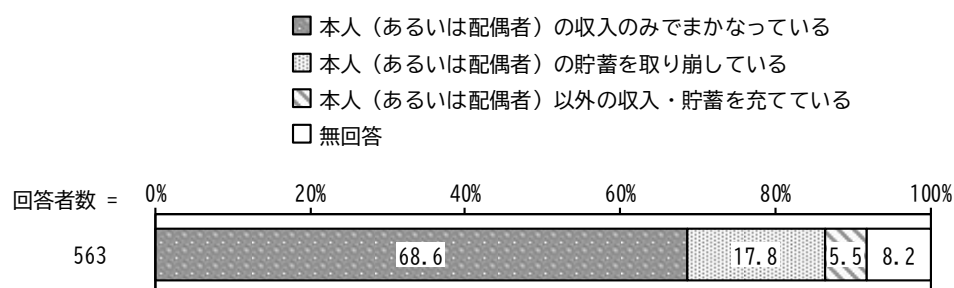
「恩給・公的年金」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「私的年金」の割合が 17.1%となっています。

回答者数 = 563



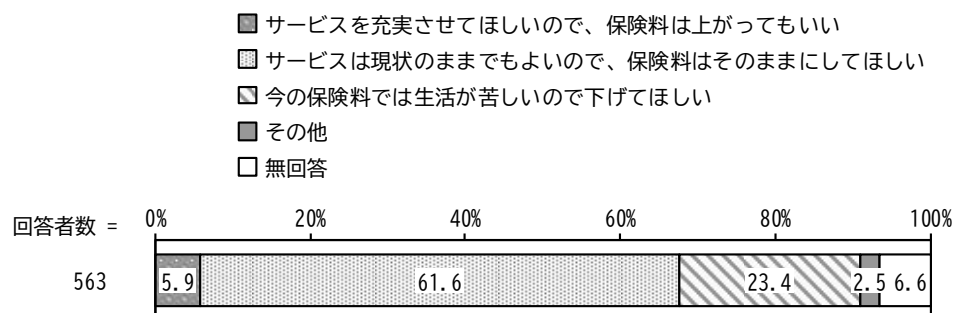
問 24 介護費用の負担はどうしていますか。（1つを選択）

「本人（あるいは配偶者）の収入のみでまかなっている」の割合が 68.6%、「本人（あるいは配偶者）の貯蓄を取り崩している」の割合が 17.8%、「本人（あるいは配偶者）以外の収入・貯蓄を充てている」の割合が 5.5%となっています。



問 25 介護保険料について、どのように感じていますか。（1つを選択）

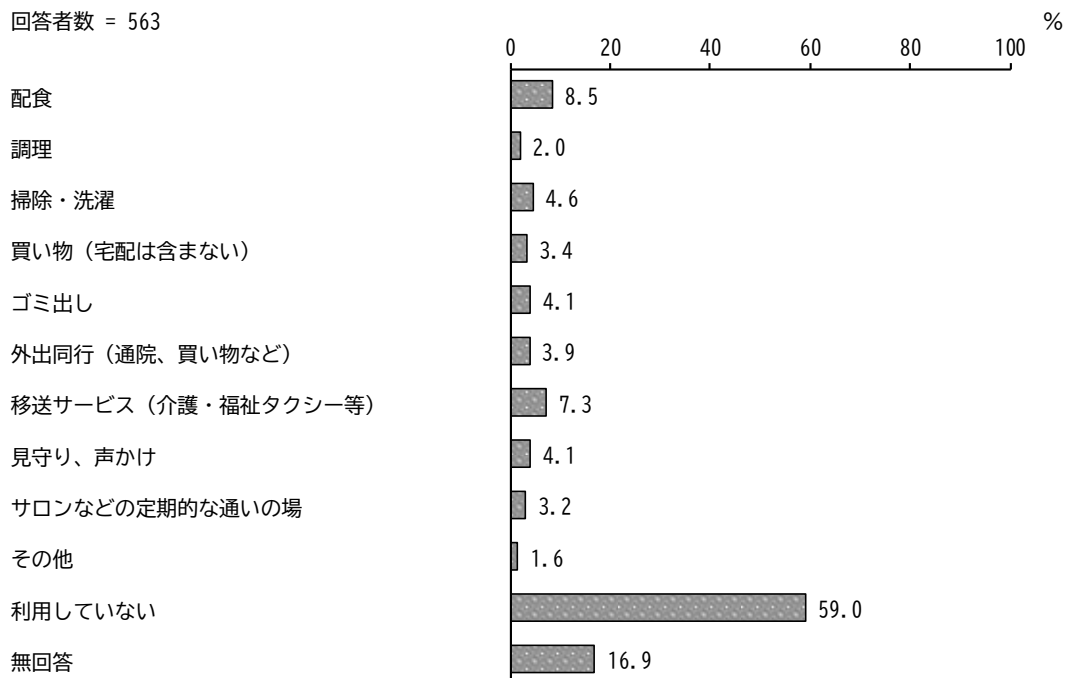
「サービスを充実させてほしいので、保険料は上がってもいい」の割合が 5.9%、「サービスは現状のままだでもよいので、保険料はそのままにしてほしい」の割合が 61.6%、「今の保険料では生活が苦しいので下げてほしい」の割合が 23.4%となっています。



C 介護保険サービス以外の福祉サービスについて

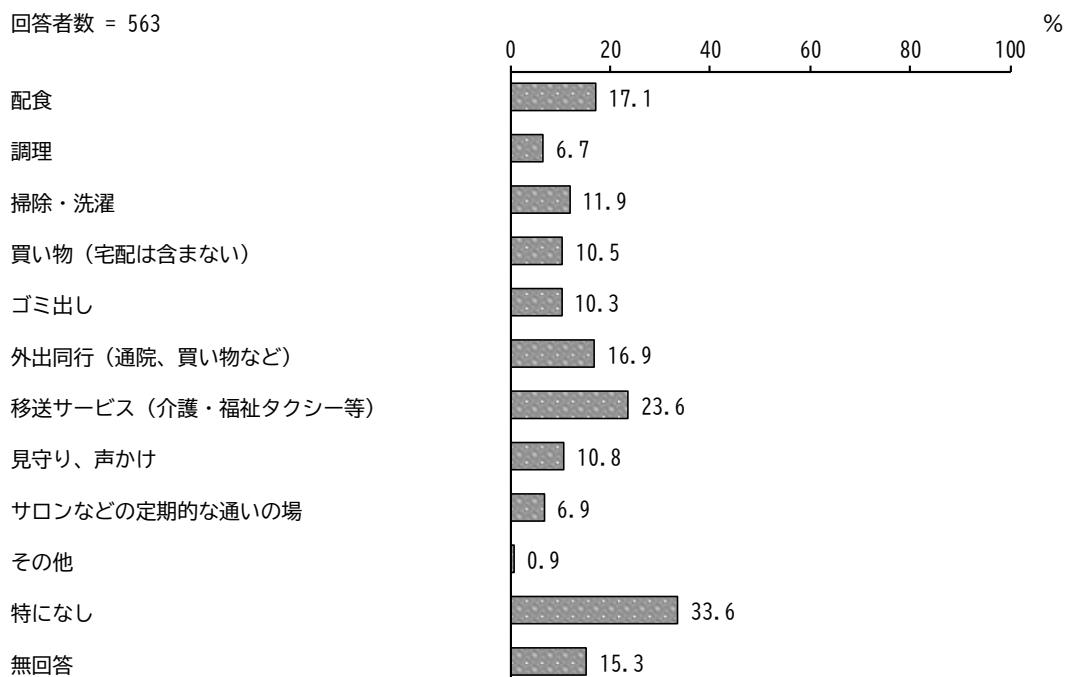
問 26 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

「利用していない」の割合が 59.0%と最も高く、利用しているサービスとしては、「配食」の割合が 8.5%と最も高くなっています。



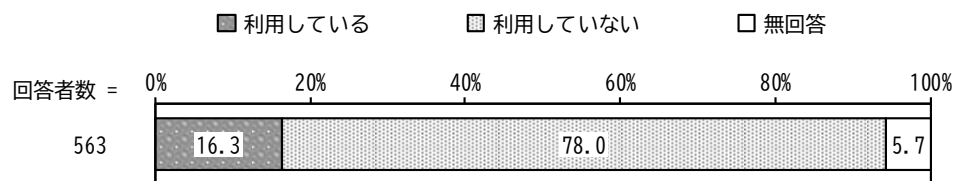
問 27 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

「特になし」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 23.6%、「配食」の割合が 17.1%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 16.9%となっています。



問 28 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

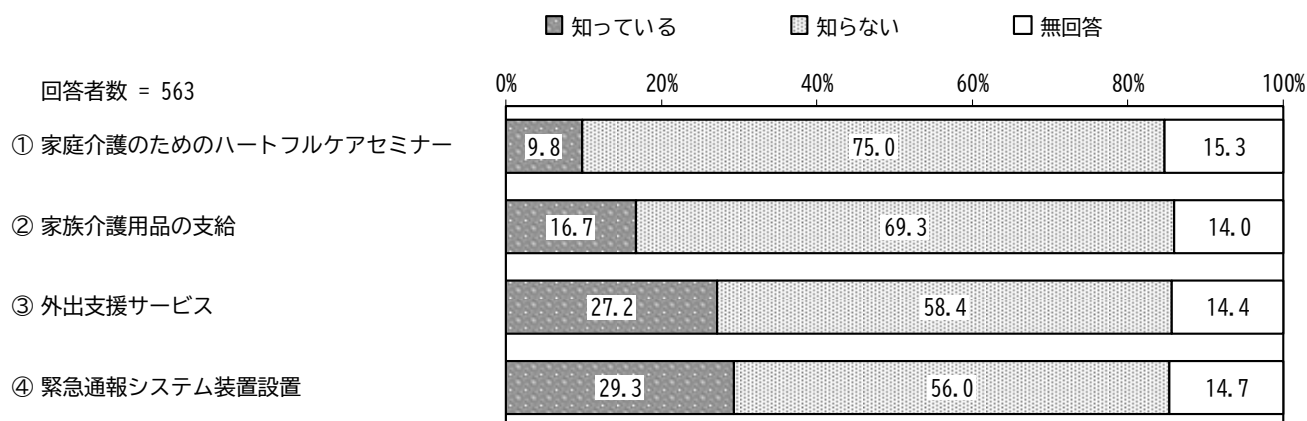
「利用している」の割合が16.3%、「利用していない」の割合が78.0%となっています。



問 29 小牧市には介護保険サービス以外に、次のような福祉のサービスがあります。これらのサービスを知っていますか。また、今後利用したいと思いますか。①から⑤の各サービスに対し、それぞれ該当する番号に○をつけてください。（○は1つずつ）

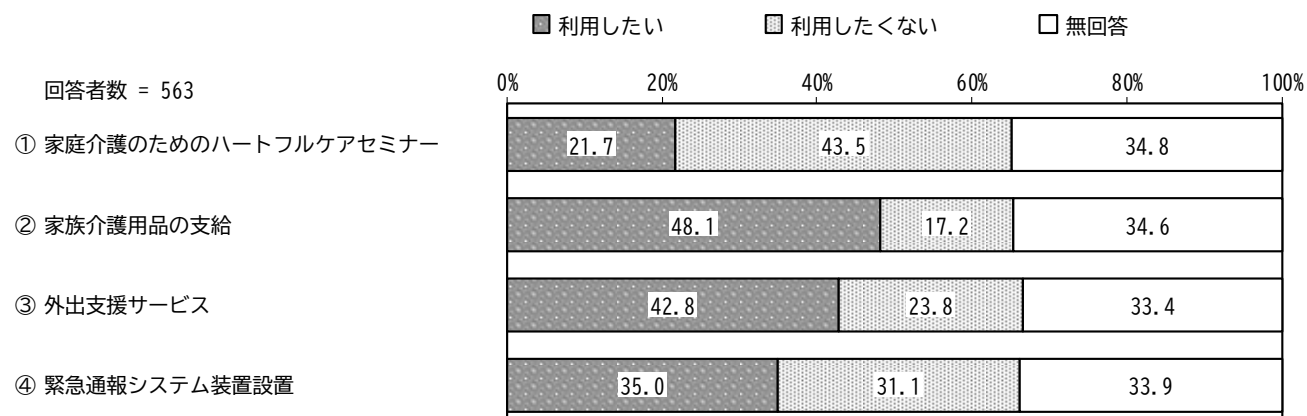
周知状況

『④ 緊急通報システム装置設置』で「知っている」が、『① 家庭介護のためのハートフルケアセミナー』で「知らない」が高くなっています。



利用意向

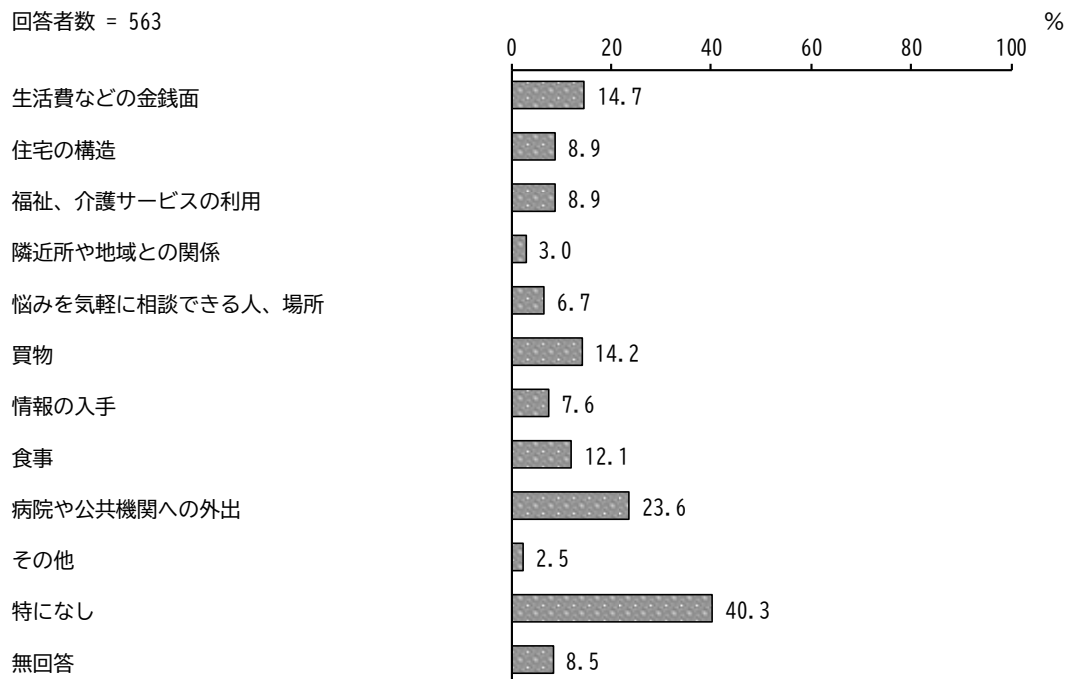
『② 家族介護用品の支給』で「利用したい」が、『① 家庭介護のためのハートフルケアセミナー』で「利用したくない」が高くなっています。



問 30 現在、ご本人が生活するうえで困っていることはありますか。（複数選択可）

「特になし」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「病院や公共機関への外出」の割合が 23.6%、「生活費などの金銭面」の割合が 14.7 %、「買物」の割合が 14.2%となっています。

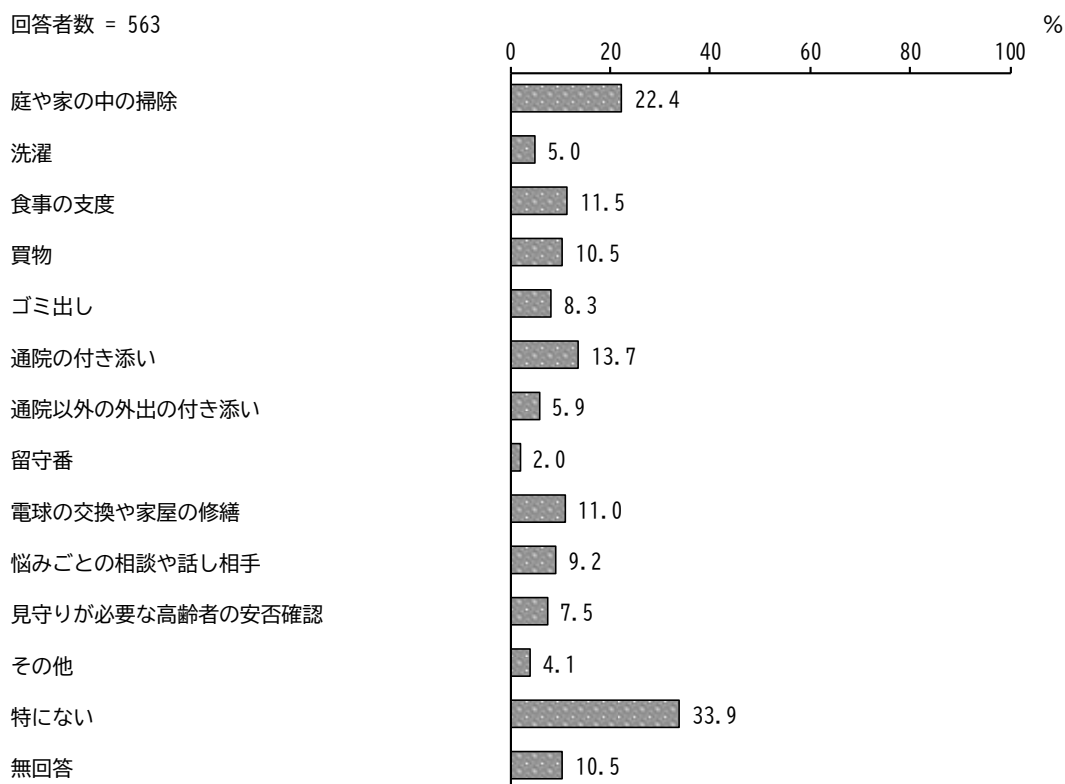
回答者数 = 563



問 31 もしボランティアの人が気軽に家庭を訪問し、手助けをしてくれるとしたら、どのようなことについて手助けを求めたいと思いますか。(3つまで選択可)

「庭や家の中の掃除」の割合が 22.4%と最も高く、次いで「通院の付き添い」の割合が 13.7%、「食事の支度」の割合が 11.5%となっています。

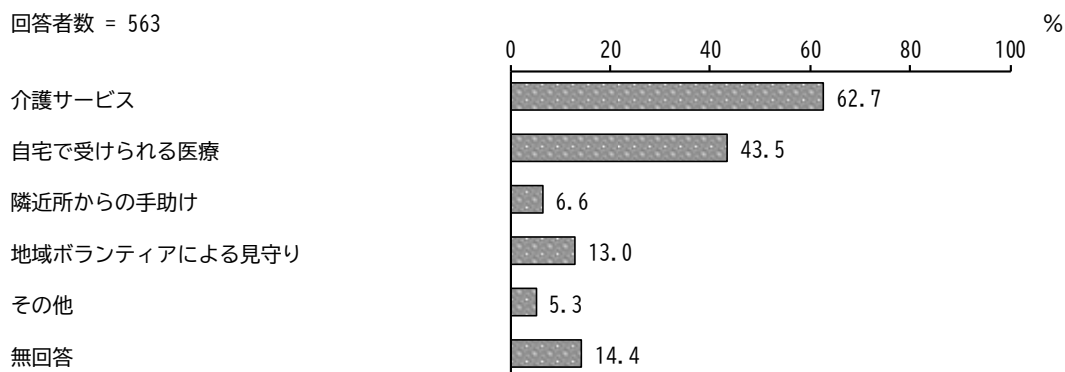
回答者数 = 563



問 32 自宅で暮らし続けるために、より充実させていく必要があると思われるものをお答えください。(複数選択可)

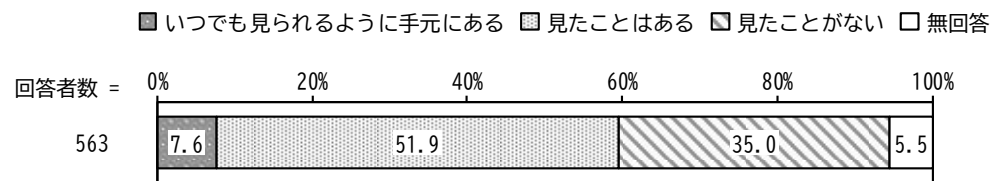
「介護サービス」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「自宅で受けられる医療」の割合が 43.5%、「地域ボランティアによる見守り」の割合が 13.0%となっています。

回答者数 = 563



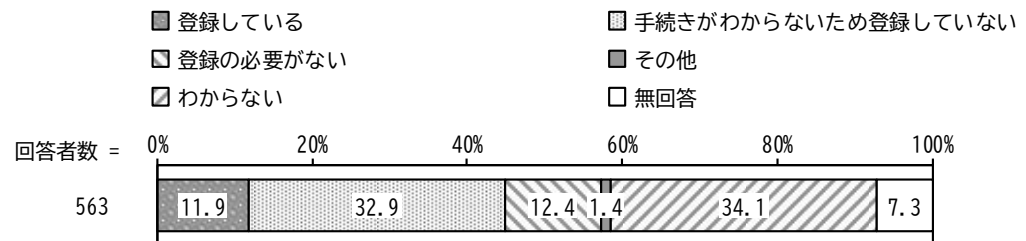
問 33 「防災ガイドブック」を見たことがありますか。(1つを選択)

「いつでも見られるように手元にある」の割合が 7.6%、「見たことはある」の割合が 51.9%、「見たことがない」の割合が 35.0%となっています。



問 34 ご本人（認定調査対象者）は災害時の避難行動要支援者台帳への登録をしていますか。(1つを選択)

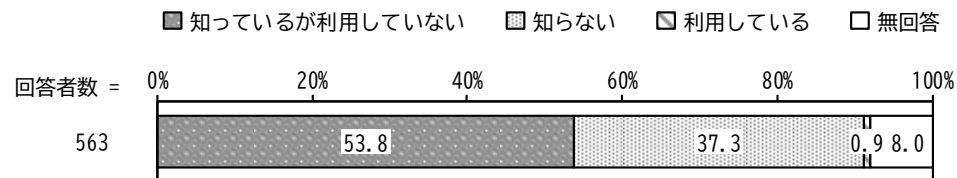
「登録している」の割合が 11.9%、「手続きがわからないため登録していない」の割合が 32.9%、「登録の必要がない」の割合が 12.4%となっています。



D 成年後見制度について

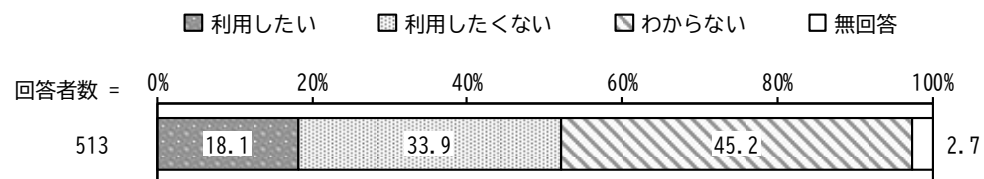
問 35 判断能力の不十分な方々の権利を擁護する「成年後見制度」を知っていますか。(1つを選択)

「知っているが利用していない」の割合が 53.8%、「知らない」の割合が 37.3%、「利用している」の割合が 0.9%となっています。



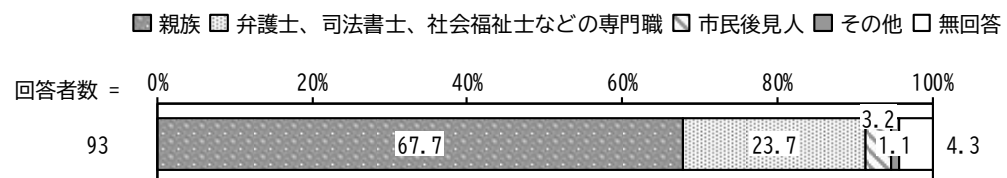
問 35-1 問 35 で「知っているが利用していない」「知らない」と回答された方にお伺いします。成年後見制度を今後、利用したいと思いますか。(1つを選択)

「利用したい」の割合が 18.1%、「利用したくない」の割合が 33.9%となっています。



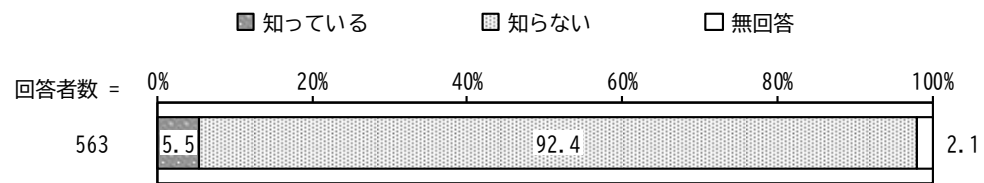
問 35-1-1 問 35-1 で「利用したい」と回答された方にお伺いします。支援してくれる後見人はどのような方を希望されますか。(1つを選択)

「親族」の割合が 67.7%、「弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職」の割合が 23.7%、「市民後見人」の割合が 3.2%となっています。



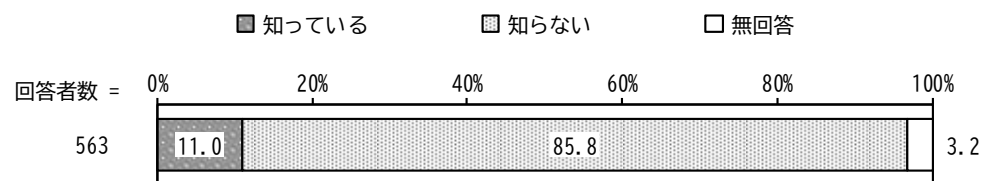
問 36 令和6年度に、小牧市に市民後見人が誕生したことを知っていますか。

「知っている」の割合が5.5%、「知らない」の割合が92.4%となっています。



問 37 成年後見制度の相談や利用支援などを行う「尾張北部権利擁護支援センター」（ふれあいセンター内）を知っていますか。（1つを選択）

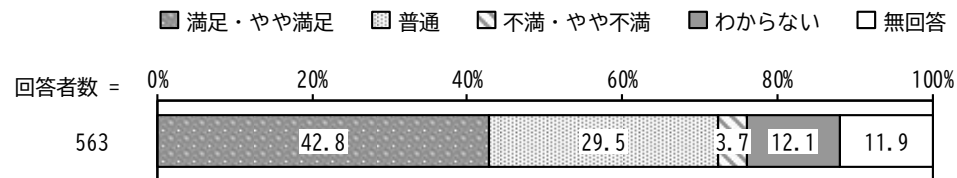
「知っている」の割合が11.0%、「知らない」の割合が85.8%となっています。



E ケアマネジャー（居宅サービス計画を作る人）について

問 38 ケアマネジャーおよび居宅サービス計画に関する現在の満足度について、該当する番号に○をつけてください。（1つを選択）

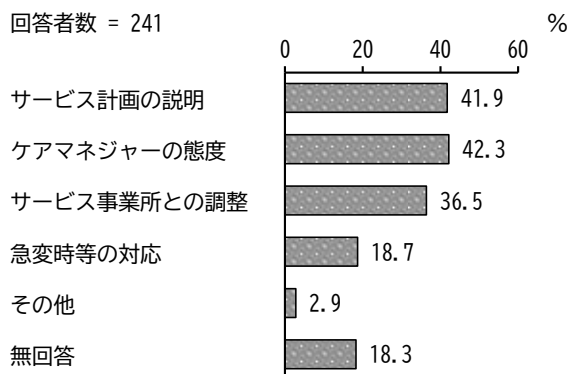
「満足・やや満足」の割合が 42.8%、「普通」の割合が 29.5%、「不満・やや不満」の割合が 3.7%となっています。



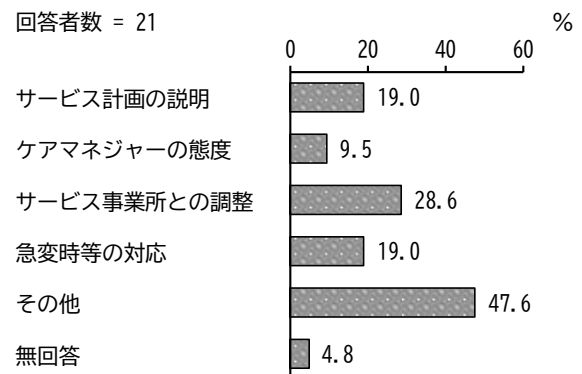
問 38-1 問 38 で「満足・やや満足」または「不満・やや不満」と回答された方にお伺いします。そう思われた主な理由は何ですか。（複数選択可）

ケアマネジャーおよび居宅サービス計画に関する「満足・やや満足」の主な理由は「ケアマネジャーの態度」が 42.3%で最も高く、次いで「サービス計画の説明」の割合が 41.9%、「サービス事業所との調整」の割合が 36.5%となっています。また「不満・やや不満」の主な理由は、「その他」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「サービス事業所との調整」の割合が 28.6%、「サービス計画の説明」の割合が 19.0%となっています。特に、「その他」については、「話を聞くだけで介護の状況が変わらない」「折り返しの連絡がない」といった声が挙げられています。

【「満足・やや満足」の主な理由】

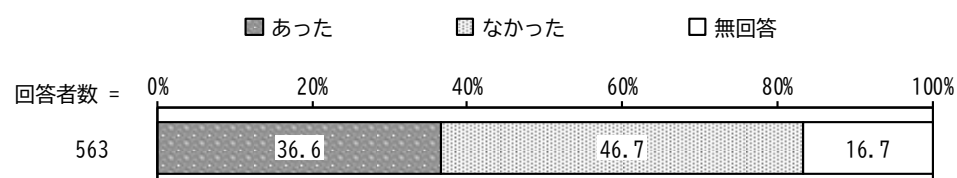


【「不満・やや不満」の主な理由】



問 39 ケアマネジャーから、介護保険サービス以外の福祉サービス（問 29 の①～④のサービス）の提案がありましたか。（1つを選択）

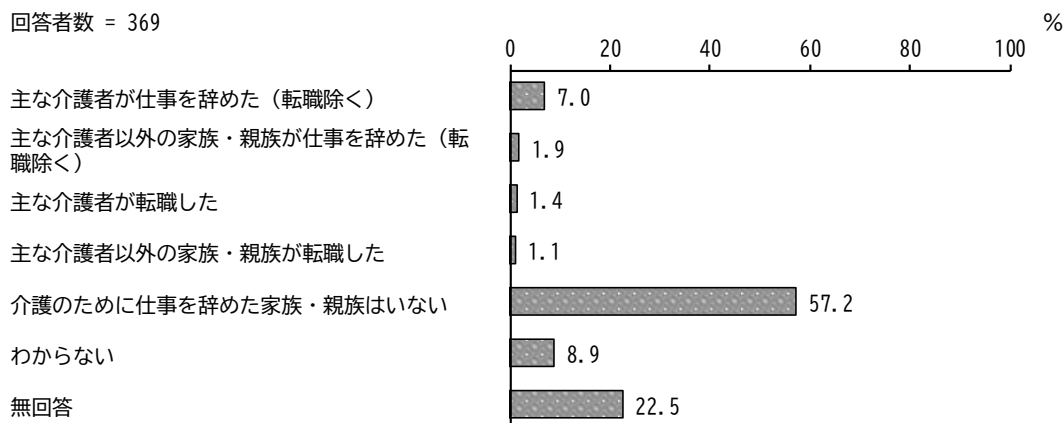
「あった」の割合が 36.6%、「なかった」の割合が 46.7%となっています。



F 主に宛名の方を介護している方について

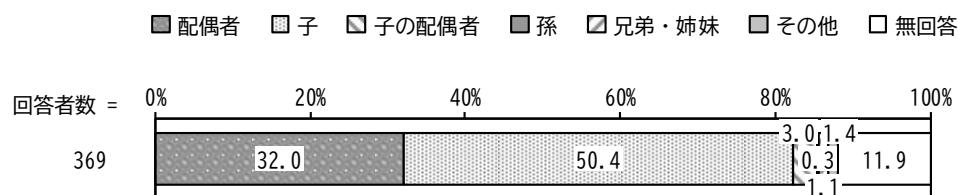
問 40 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が 57.2%と最も高くなっています。



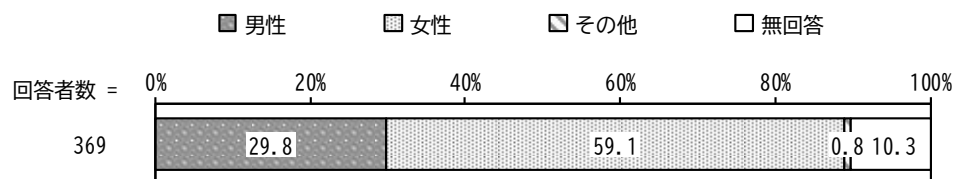
問 41 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

「子」の割合が 50.4%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 32.0%となっています。



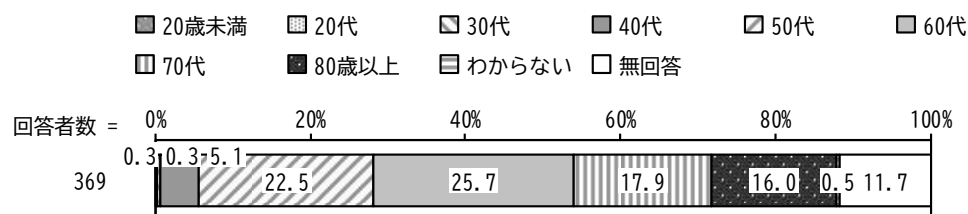
問 42 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」の割合が 29.8%、「女性」の割合が 59.1%となっています。



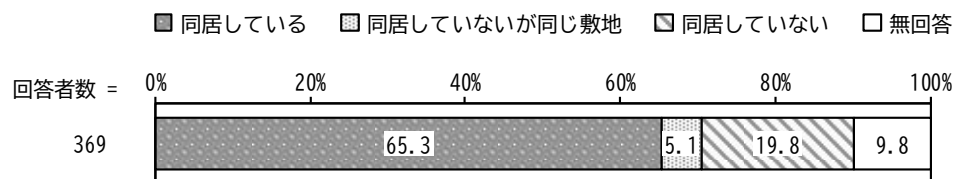
問 43 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

「60代」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「50代」の割合が 22.5%、「70代」の割合が 17.9%となっています。



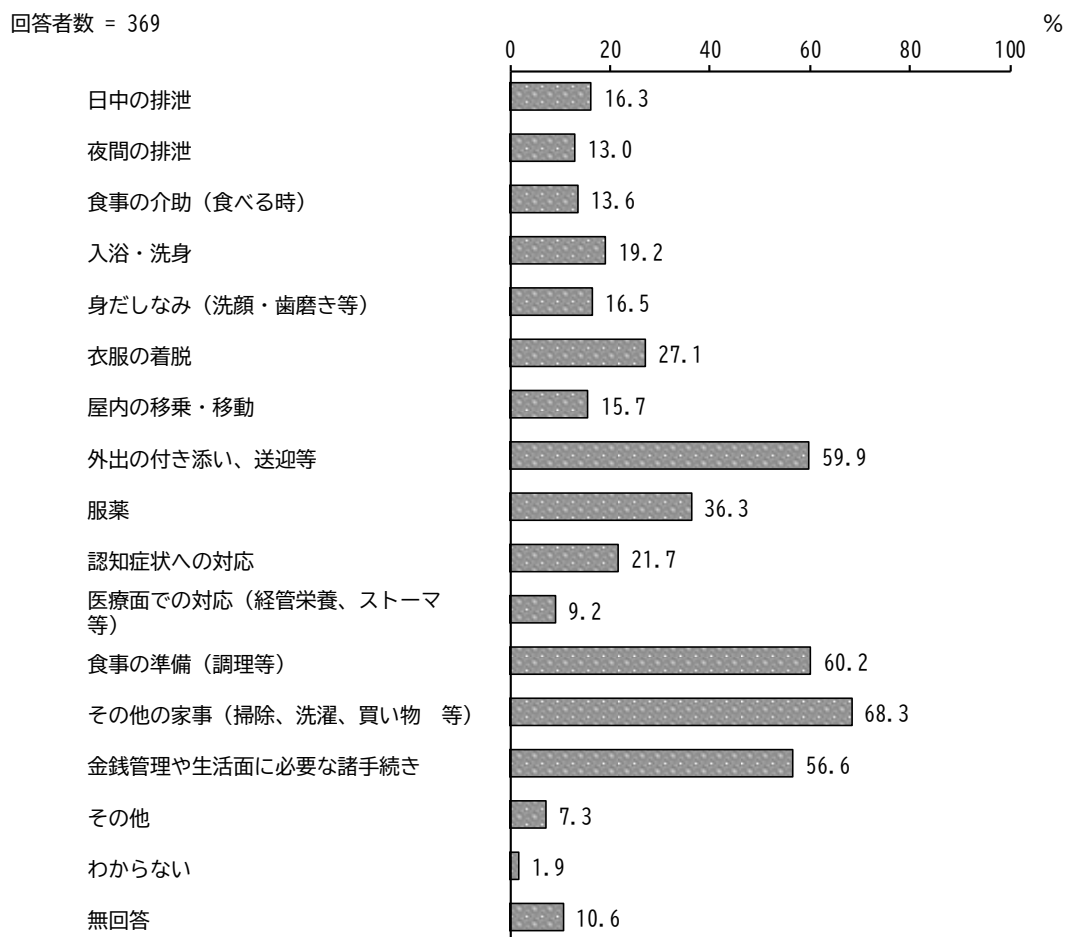
問 44 主な介護者の方は宛名の方と同居していますか。（1つを選択）

「同居している」の割合が 65.3%、「同居していないが同じ敷地」の割合が 5.1%、「同居していない」の割合が 19.8%となっています。



問 45 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

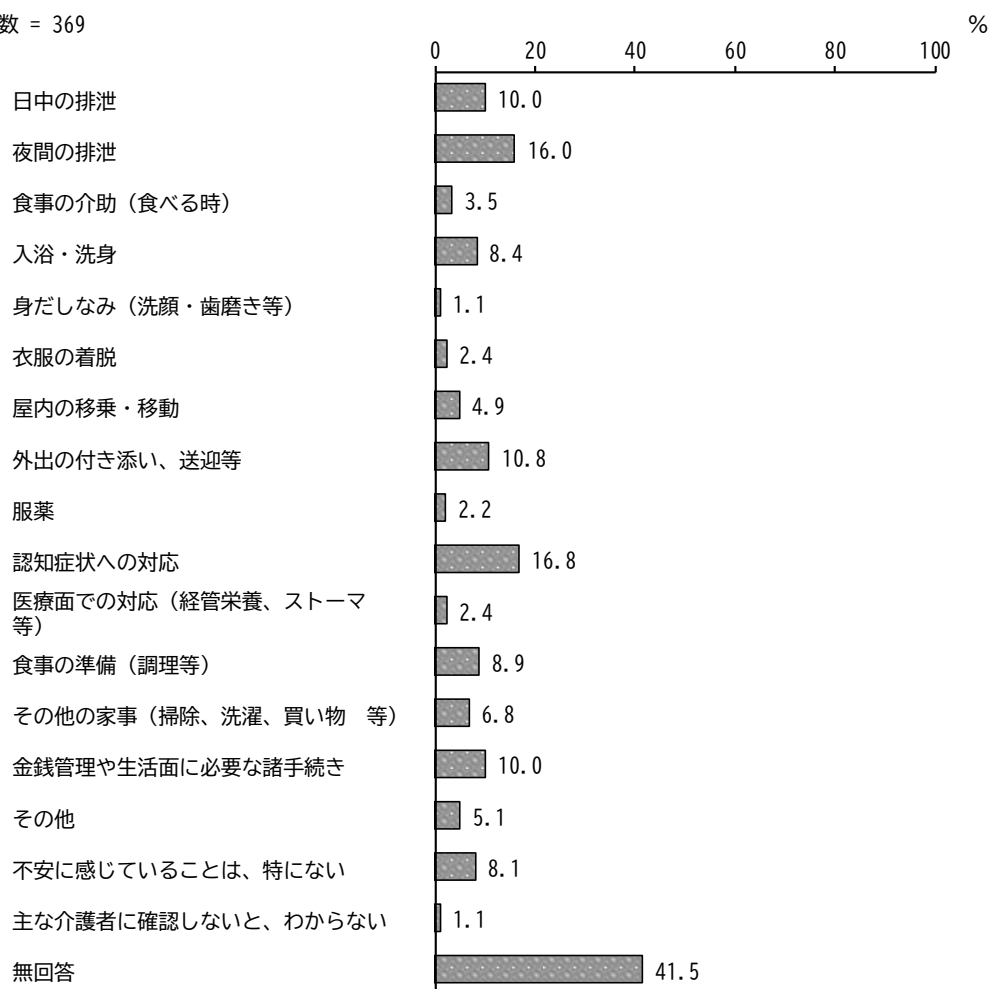
「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が 68.3%と最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」の割合が 60.2%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 59.9%となっています。



問 46 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

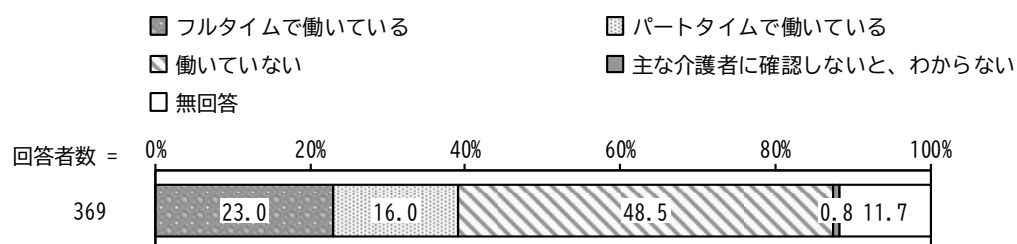
「認知症状への対応」の割合が 16.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 16.0%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 10.8%となっています。

回答者数 = 369



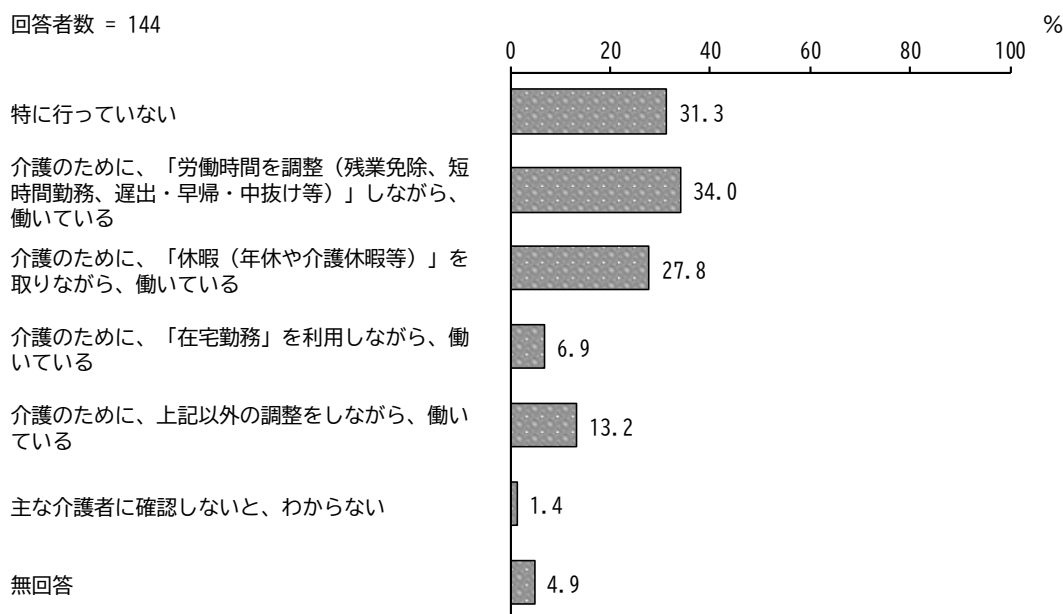
問 47 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

「働いていない」が 48.5%で最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」の割合が 23.0%、「パートタイムで働いている」の割合が 16.0%などとなっています。



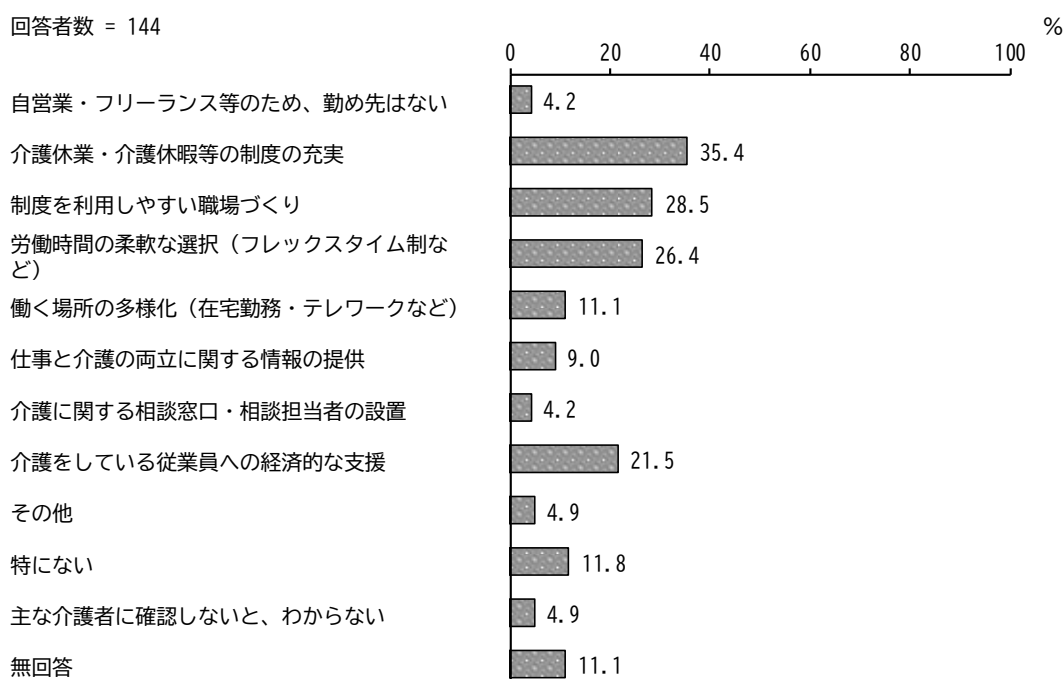
問 47-1 問 47で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「特に行っていない」が 31.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 27.8%となっています。



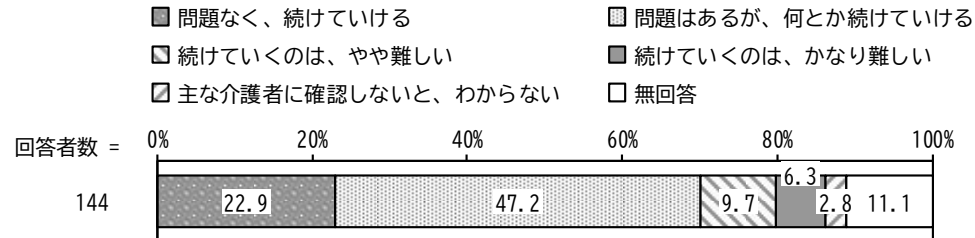
問 47-2 問 47で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 28.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が 26.4%となっています。



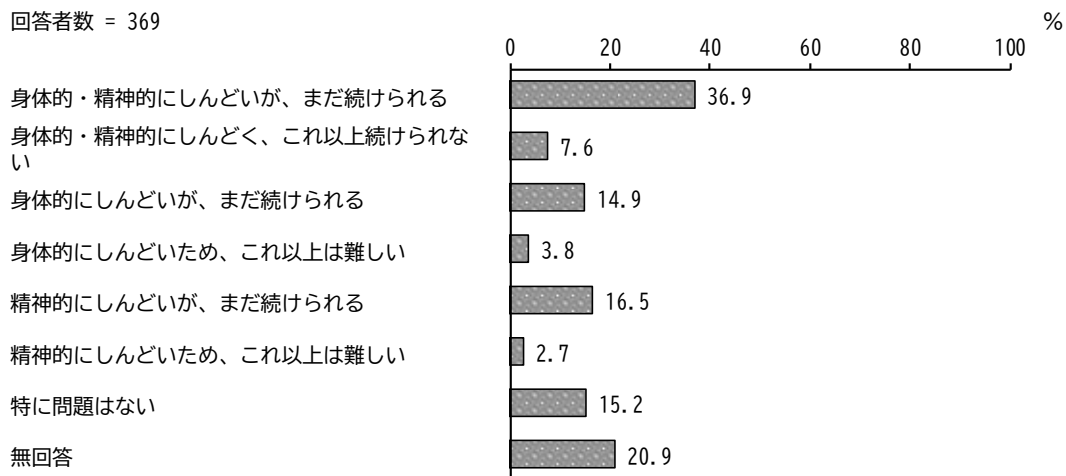
問 47-3 問 47で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 22.9%となっています。



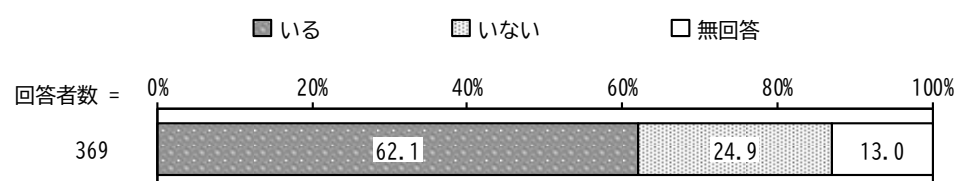
問 48 主な介護者の方が介護を行う際の身体的、精神的な負担についてどのように感じていますか。（複数選択可）

「身体的・精神的にしんどいが、まだ続けられる」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「精神的にしんどいが、まだ続けられる」の割合が 16.5%、「身体的にしんどいが、まだ続けられる」の割合が 14.9%となっています。



問 49 主な介護者の方が介護を行ううえで、身近にサポートしてくれる人はいますか。（1つを選択）

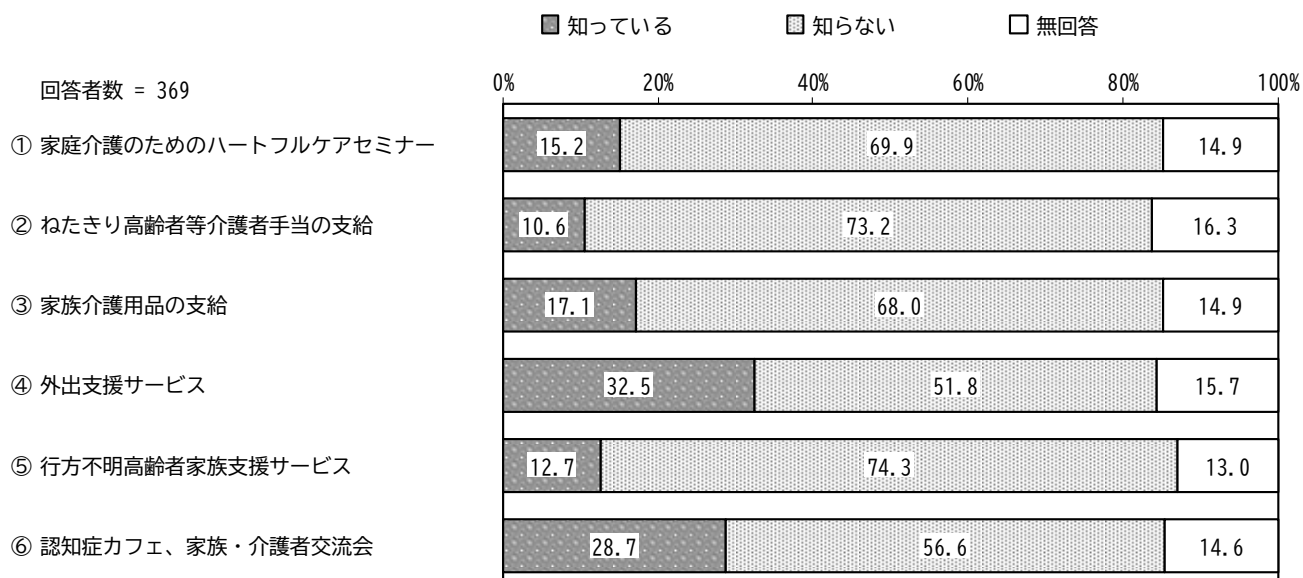
「いる」の割合が 62.1%、「いない」の割合が 24.9%となっています。



問 50 主な介護者の方は、次のような介護者向けサービスや活動について知っていますか。
また、利用してみたいと思いますか。(○はそれぞれに1つ)

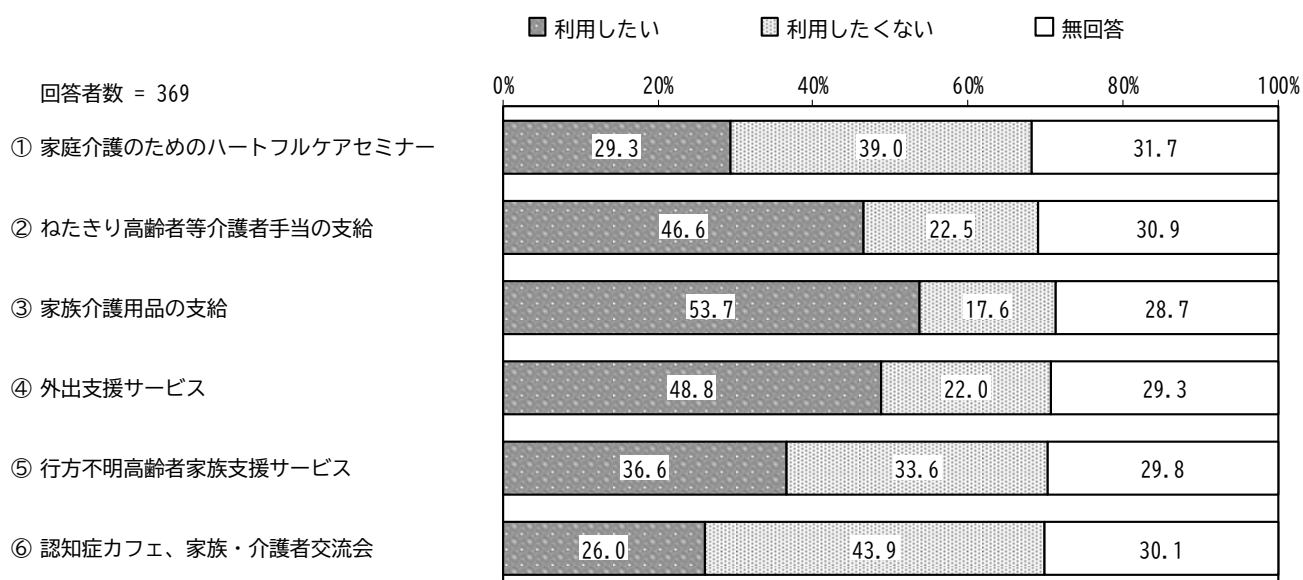
周知状況

『④ 外出支援サービス』で「知っている」が、『⑤ 行方不明高齢者家族支援サービス』で「知らない」が高くなっています。



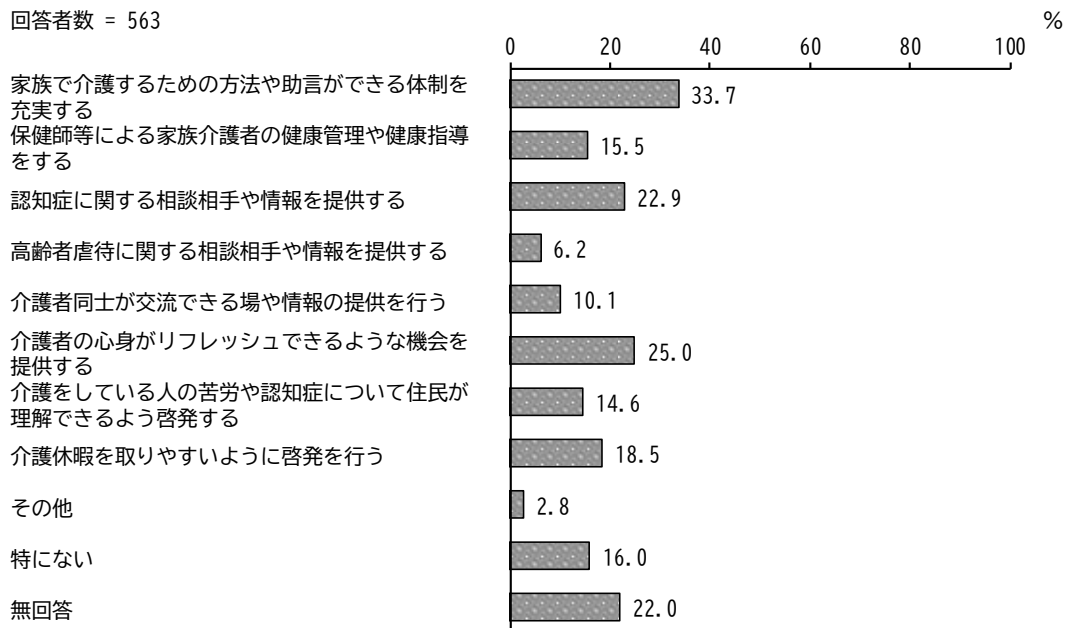
利用意向

『③ 家族介護用品の支給』で「利用したい」が、『⑥ 認知症カフェ、家族・介護者交流会』で「利用したくない」が高くなっています。



問 51 今後、介護者の方に対してどのような支援が必要だとお考えですか。（複数選択可）

「家族で介護するための方法や助言ができる体制を充実する」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「介護者の心身がリフレッシュできるような機会を提供する」の割合が 25.0%、「認知症に関する相談相手や情報を提供する」の割合が 22.9%となっています。



G 保険・福祉・介護の制度全般について

問 52 保健・福祉・介護の制度全般について要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

保健・福祉・介護の制度全般について、ご意見・ご要望を自由に記述していただき、以下の分類項目で該当する意見の件数を整理したところ、次の通りとなりました。

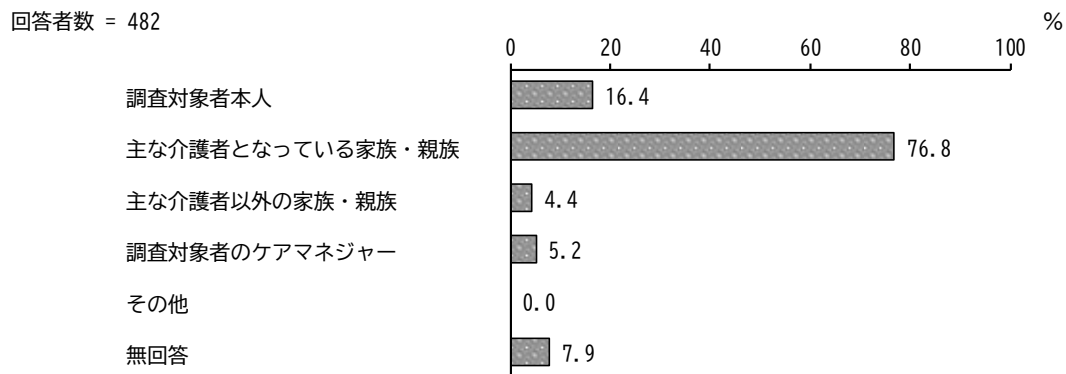
分類項目	件数
介護保険制度について	2
介護保険料やサービス利用料の負担について	10
認知症について	6
要支援・要介護認定について	8
介護保険サービスや福祉サービスについて	21
情報提供や相談の対応について	3
交通手段や外出支援について	6
介護者負担について	8
介護サービス提供従事者について	5
市政について	5

3 在宅介護実態調査（対面）

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

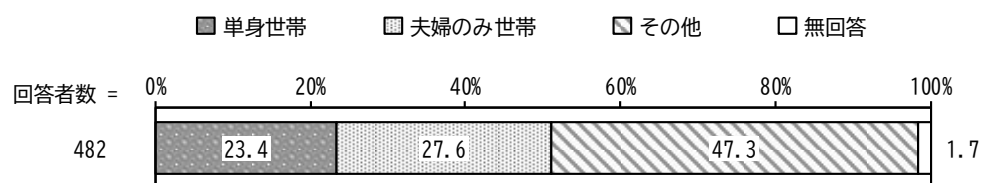
【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

「主な介護者となっている家族・親族」の割合が 76.8%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が 16.4%となっています。



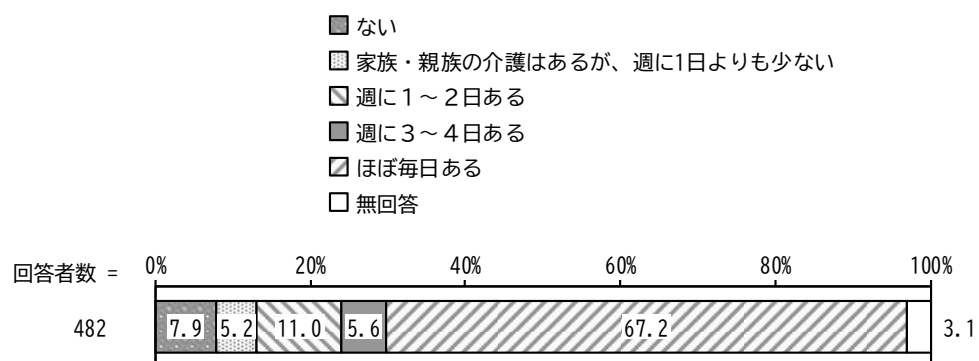
問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

「単身世帯」の割合が 23.4%、「夫婦のみ世帯」の割合が 27.6%となっています。



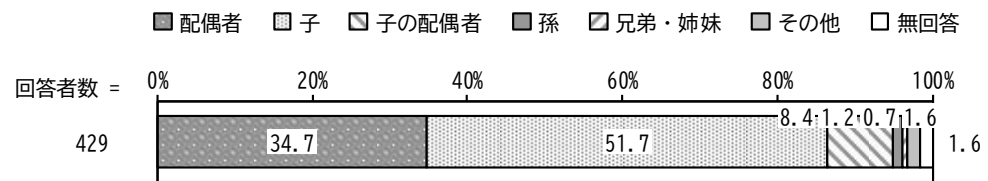
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)（1つを選択）

「ほぼ毎日ある」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「週に1～2日ある」の割合が 11.0%となっています。



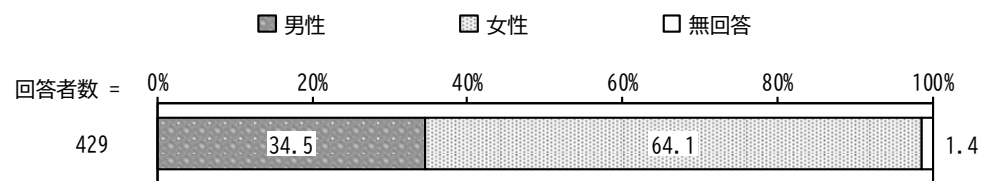
問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

「子」の割合が51.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が34.7%となっています。



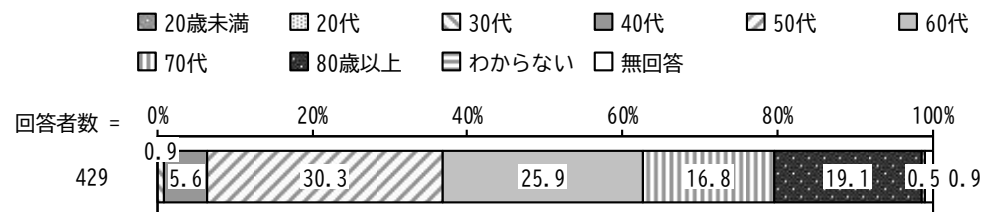
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

「男性」の割合が34.5%、「女性」の割合が64.1%となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

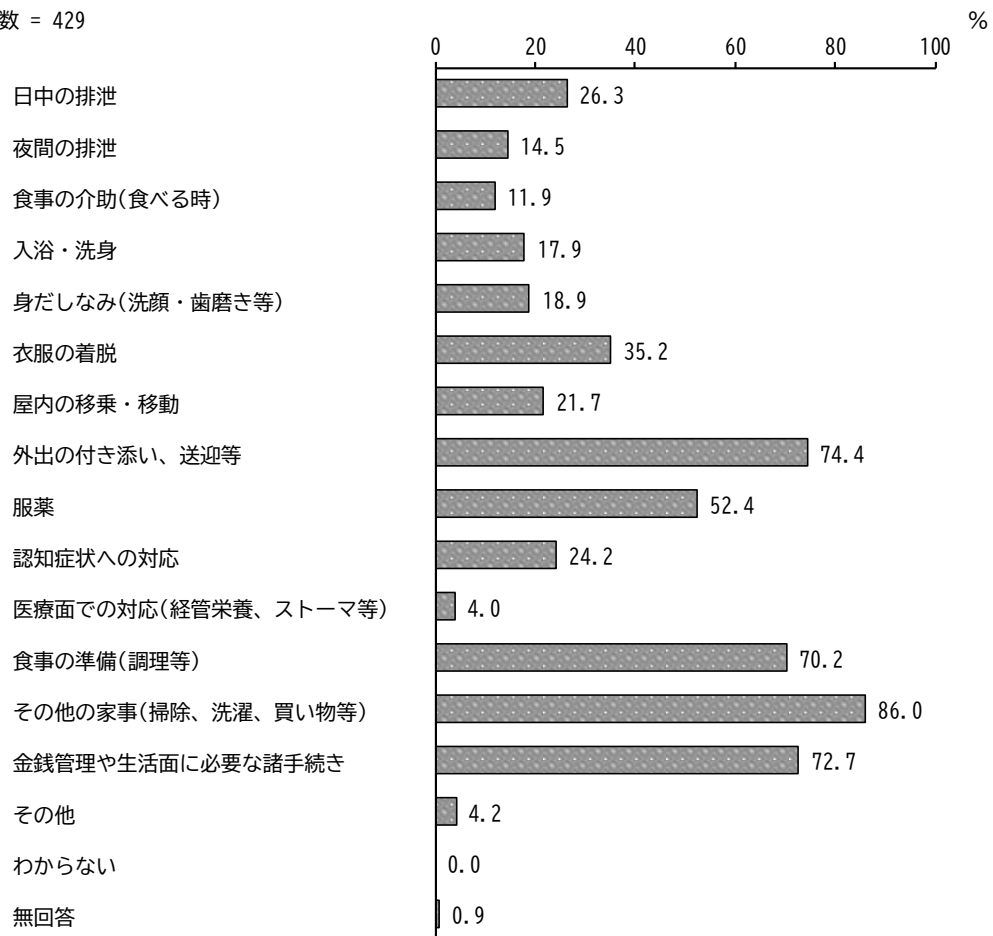
「50代」の割合が30.3%と最も高く、次いで「60代」の割合が25.9%、「80歳以上」の割合が19.1%となっています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」の割合が 86.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が 74.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 72.7%となっています。

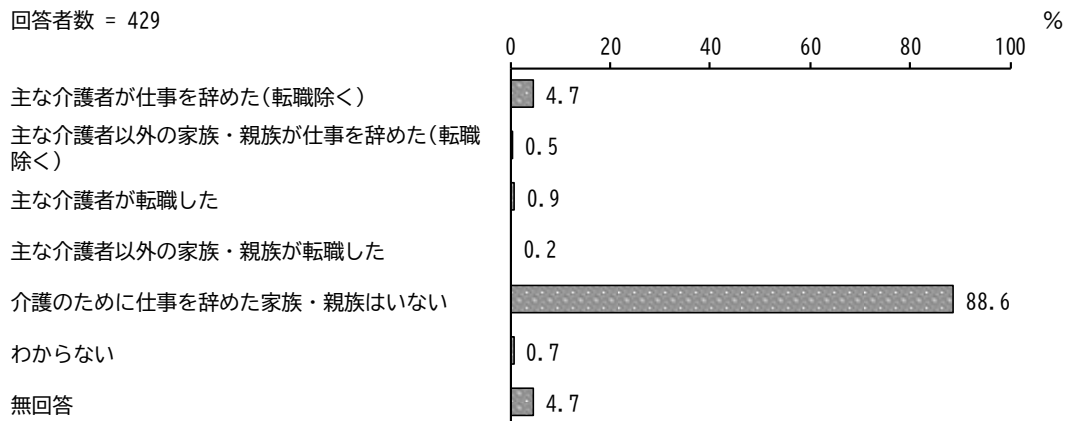
回答者数 = 429



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が88.6%と最も高くなっています。

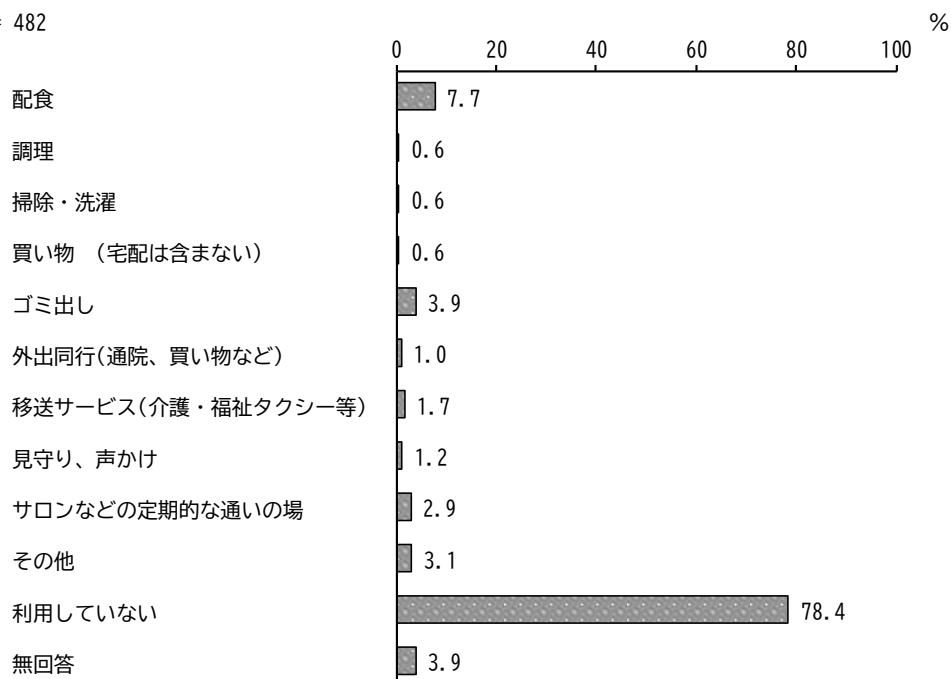
回答者数 = 429



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

「利用していない」の割合が78.4%と最も高く、利用しているサービスでは、「配食」の割合が7.7%と最も高くなっています。

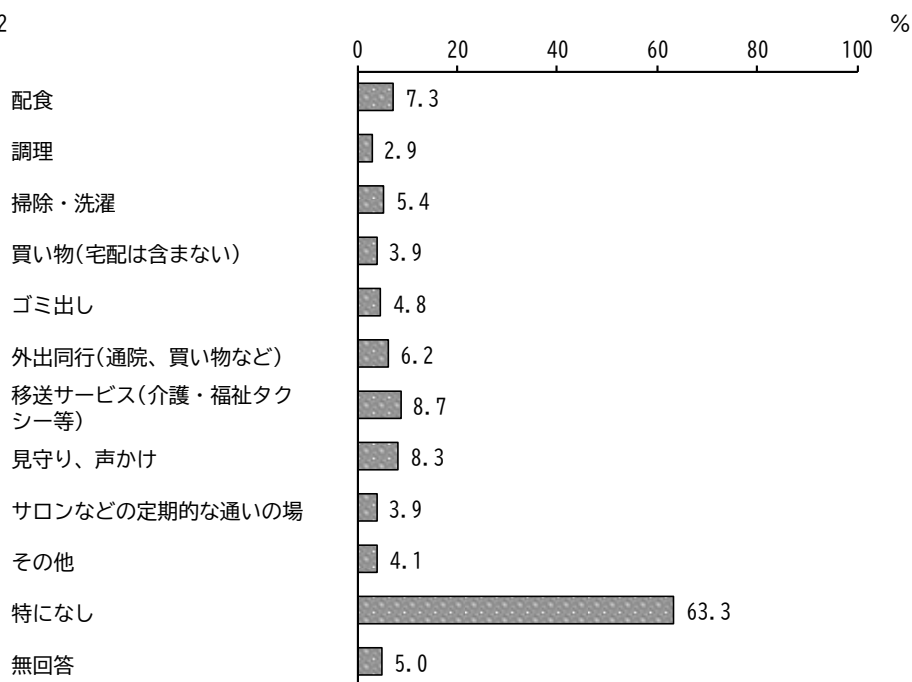
回答者数 = 482



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

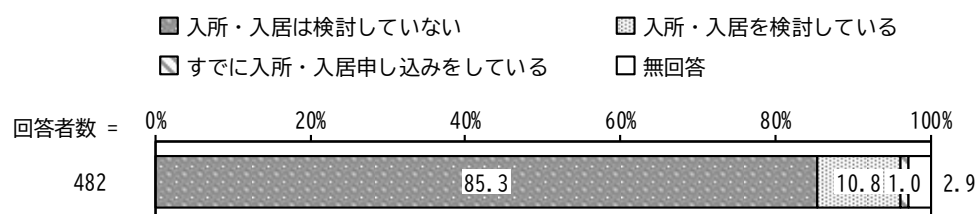
「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の割合が8.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 482



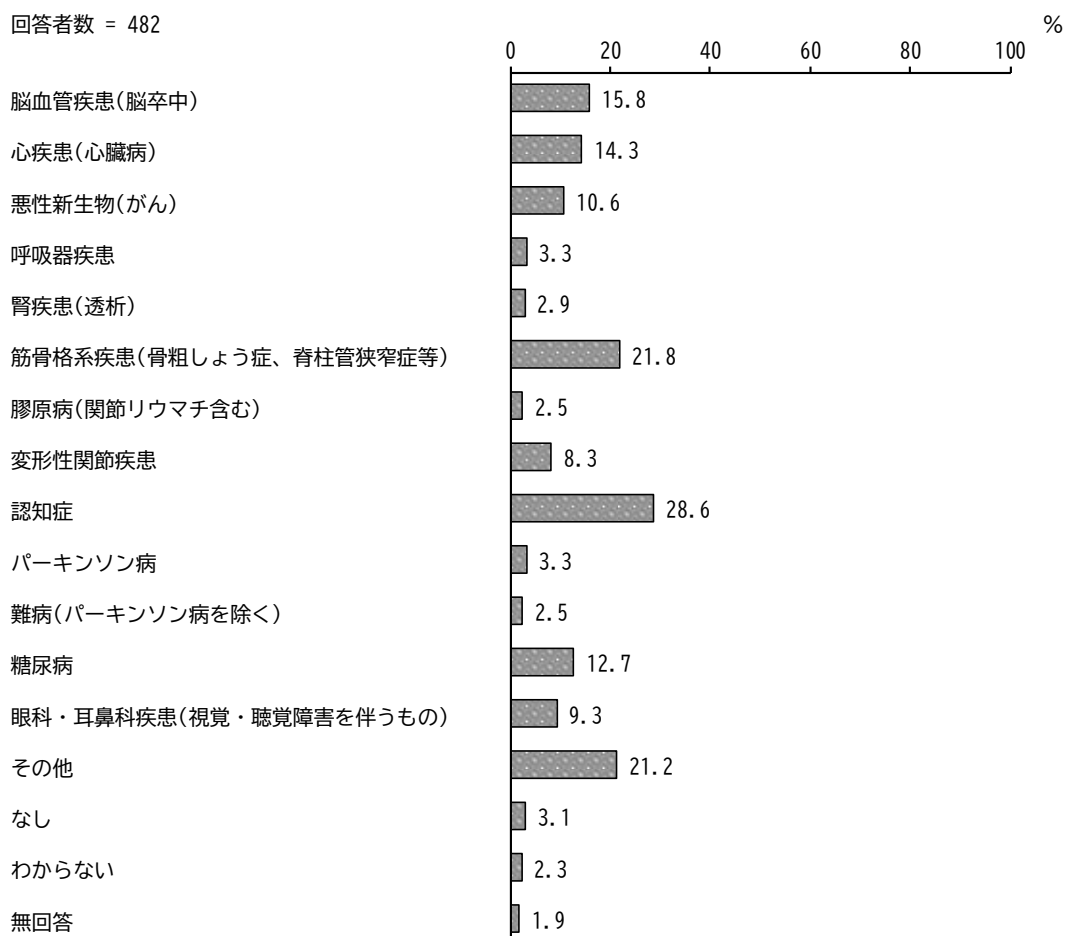
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

「入所・入居は検討していない」の割合が85.3%、「入所・入居を検討している」の割合が10.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が1.0%となっています。



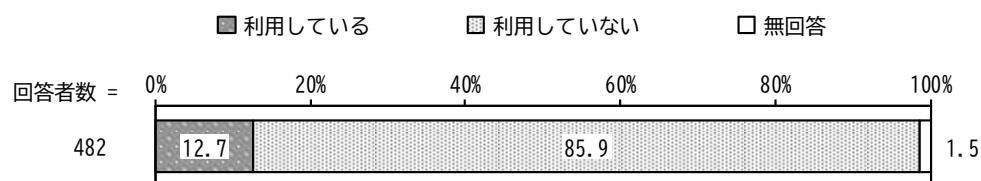
問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

「認知症」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」の割合が 21.8%、「脳血管疾患(脳卒中)」の割合が 15.8%となっています。



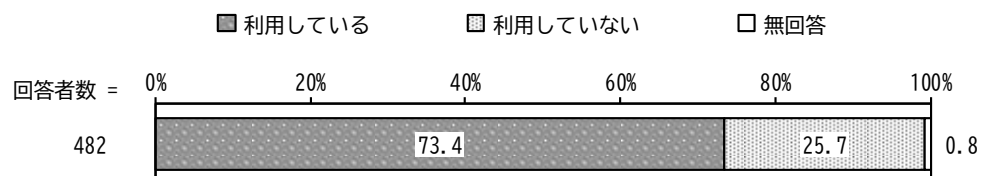
問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

「利用している」の割合が 12.7%、「利用していない」の割合が 85.9%となっています。



問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

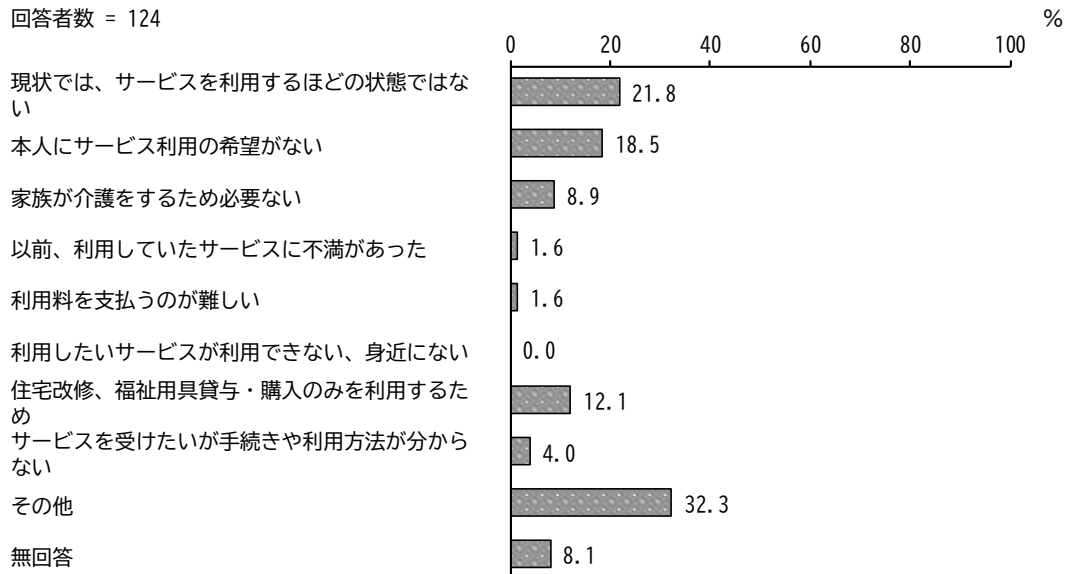
「利用している」の割合が 73.4%、「利用していない」の割合が 25.7%となっています。



●問 13 で「利用していない」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

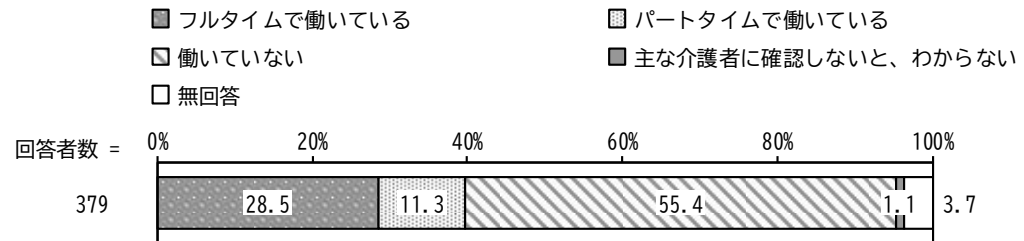
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 21.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 18.5%となっています。



B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

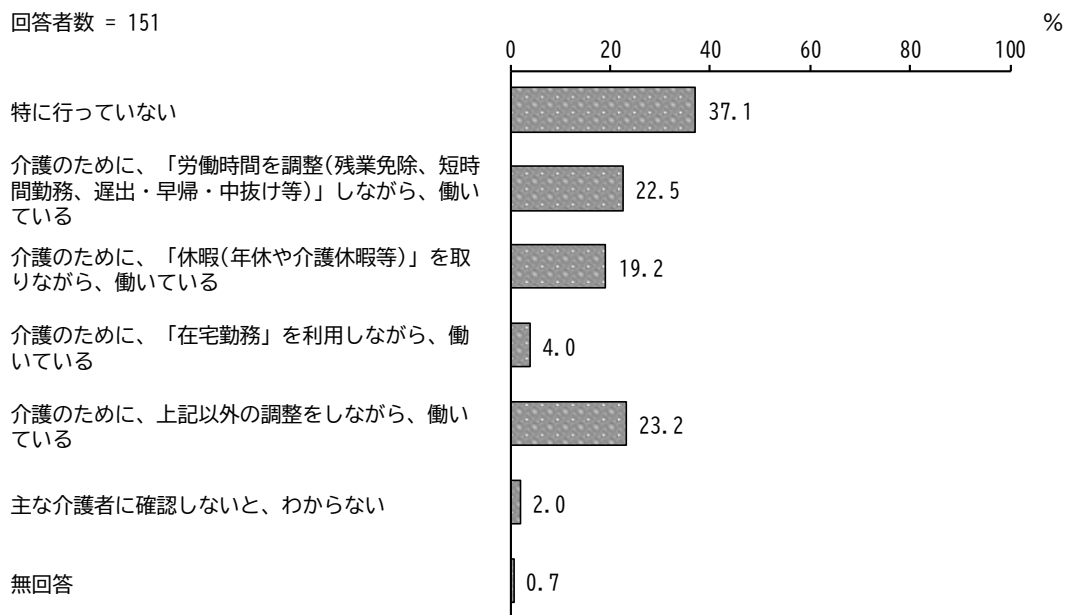
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

「フルタイムで働いている」の割合が28.5%、「パートタイムで働いている」の割合が11.3%、「働いていない」の割合が55.4%となっています。



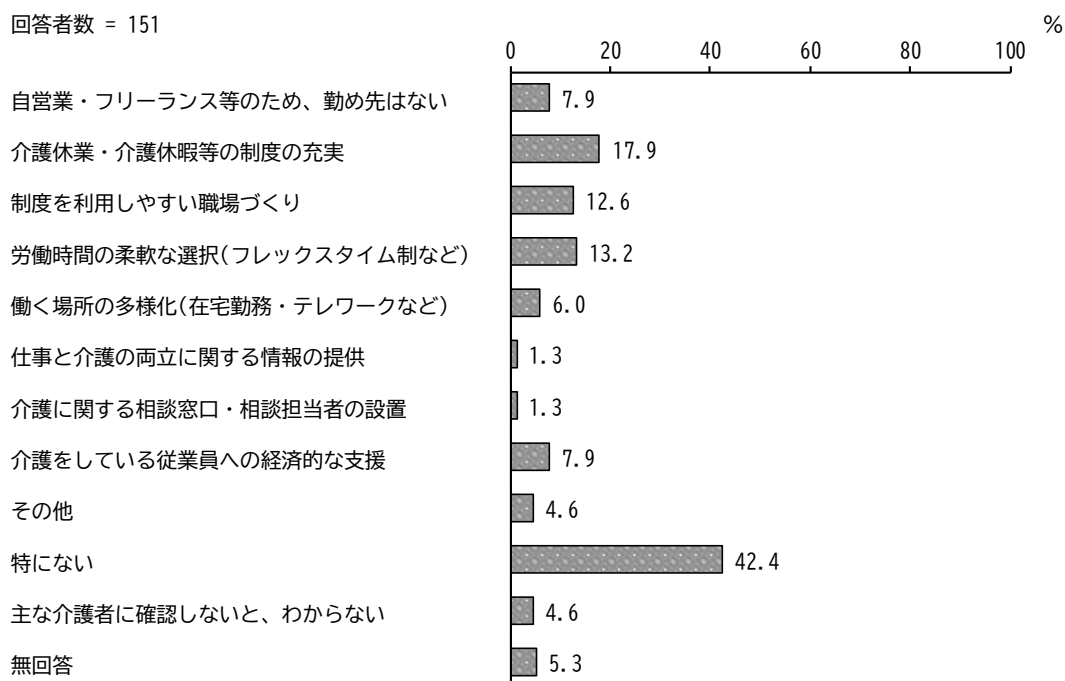
問2 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が23.2%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」の割合が22.5%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」の割合が19.2%となっています。一方、「特に行っていない」が37.1%となっています。



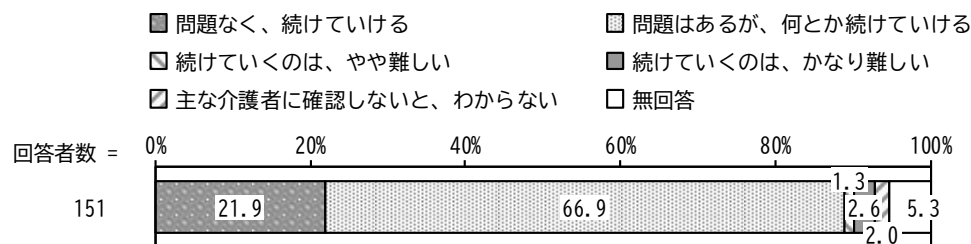
問3 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 17.9%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」の割合が 13.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が 12.6%となっています。



問4 問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

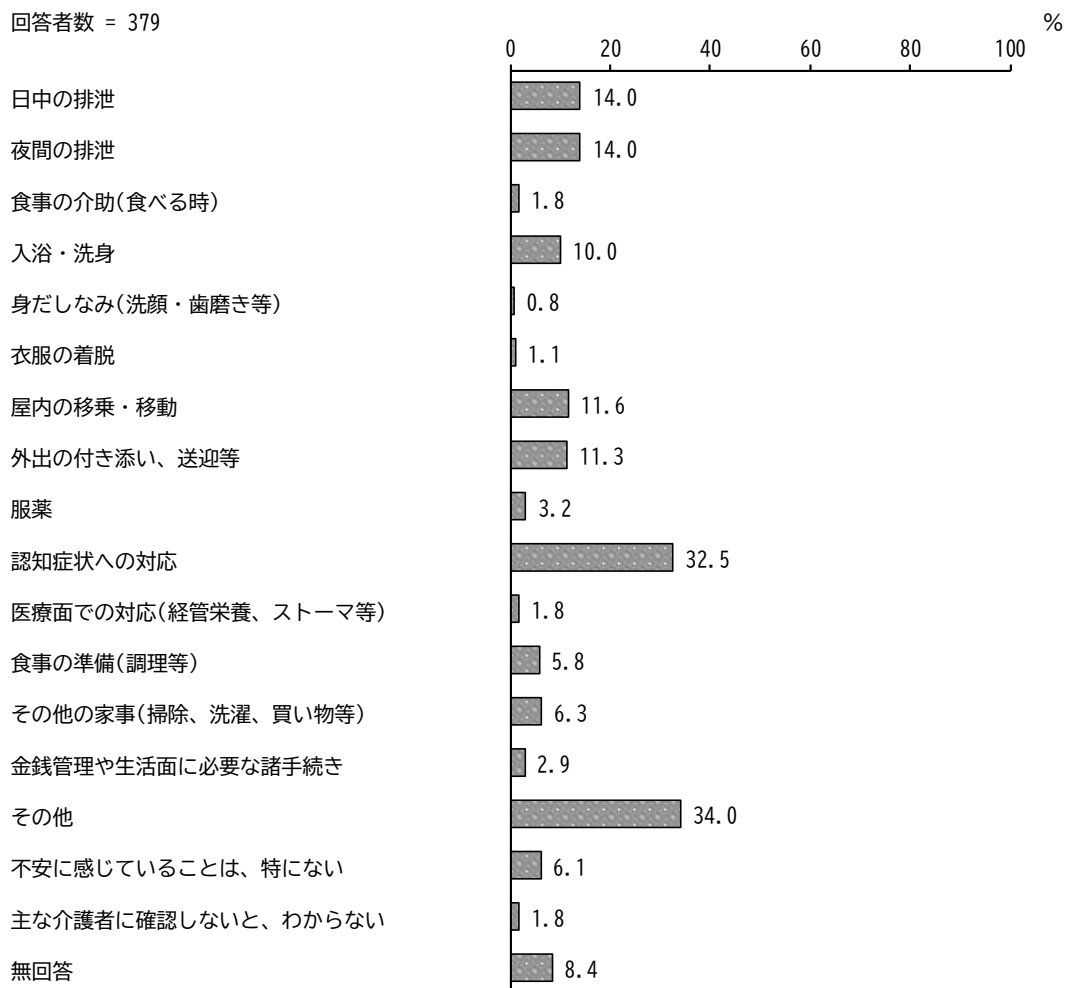
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が 21.9%となっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで選択可)

「認知症状への対応」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」の割合が 14.0%となっています。

回答者数 = 379

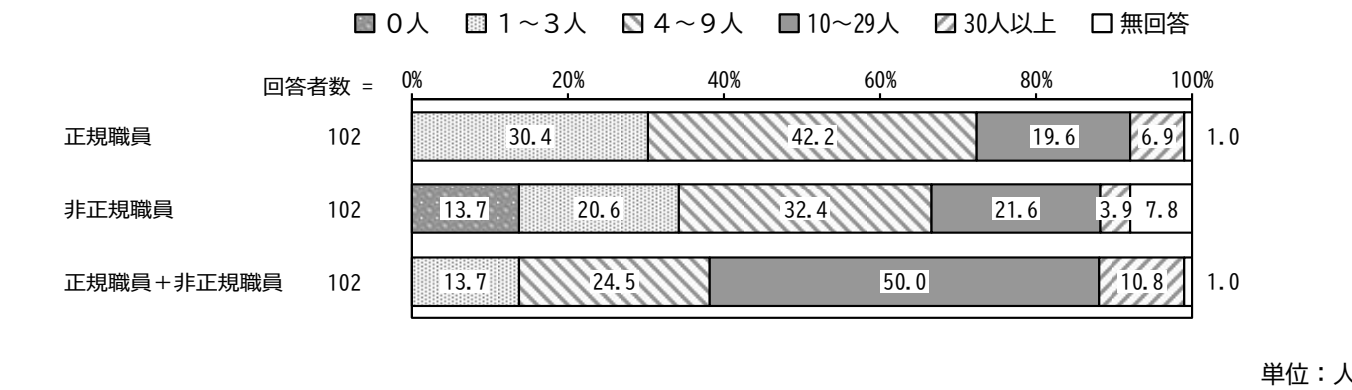


4 介護保険事業所調査

(1) 事業所の概要

貴事業所の従業者数(兼務の場合は常勤換算)

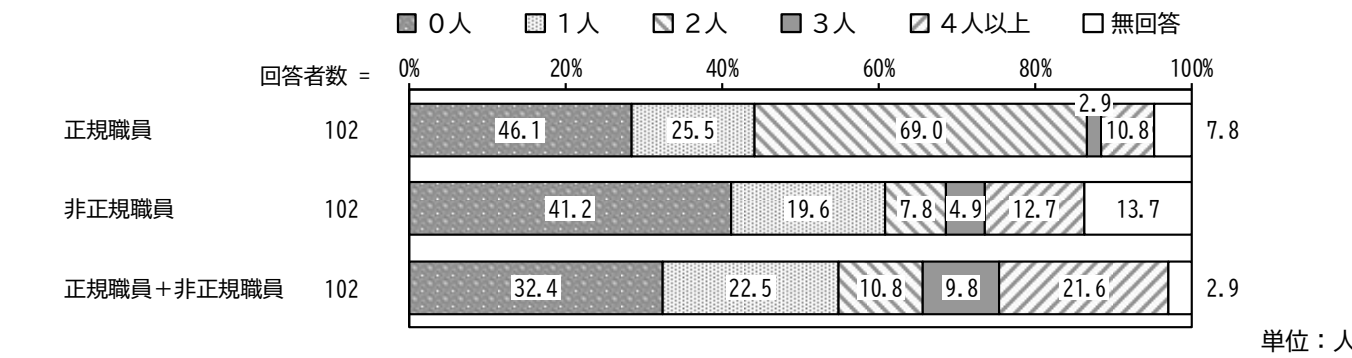
事業所の従業者数は、正規職員で「4～9人」(42.2%)が最も高く、次いで「1～3人」(30.4%)となっている。正規職員と非正規職員の合計でみると、「10～29人」(50.0%)が最も高く、次いで「4～9人」(24.5%)となっている。また、平均人数は、正規職員で9.32人(うち外国人は0.95人)、非正規職員で9.41人(うち外国人は0.70人)となっている。



	正規職員		非正規職員		合計 (正規職員 + 非正規職員)	
	合計	平均	合計	平均	合計	平均
職員数	941	9.32	884	9.41	1,825	9.36
うち外国人	73	0.95	53	0.70	126	0.82

2025 年の 1 年間の採用数

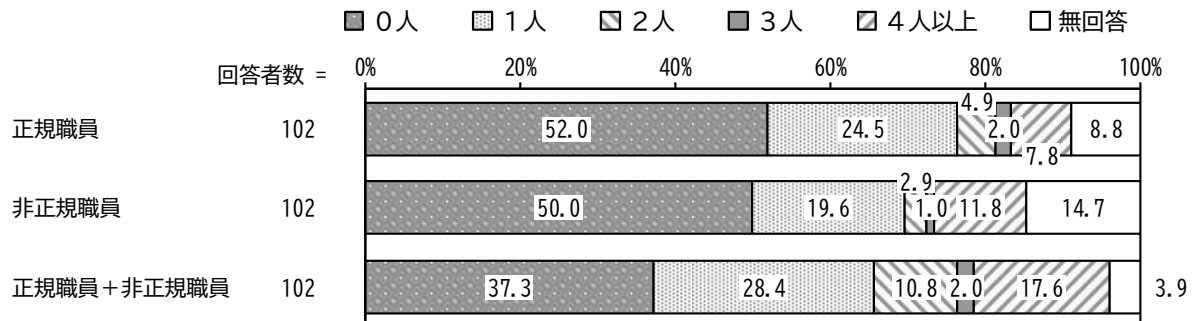
2025 年の 1 年間の採用数は、正規職員で「2人」が最も高く(69.0%)、次いで「0人」(46.1%)、となっている。正規職員と非正規職員の合計でみると、「0人」(32.4%)が最も高く、次いで「1人」(22.5%)となっている。また、平均人数は、正規職員で1.41人(うち外国人は0.50人)、非正規職員で2.05人(うち外国人は0.39人)となっており、定員に対する充足率は79.0%となっている。



	正規職員		非正規職員		合計 (正規職員 + 非正規職員)		定員に対する 充足率
	合計	平均	合計	平均	合計	平均	
職員数	132	1.41	180	2.05	312	1.72	79.0%
うち外国人	32	0.50	24	0.39	56	0.45	

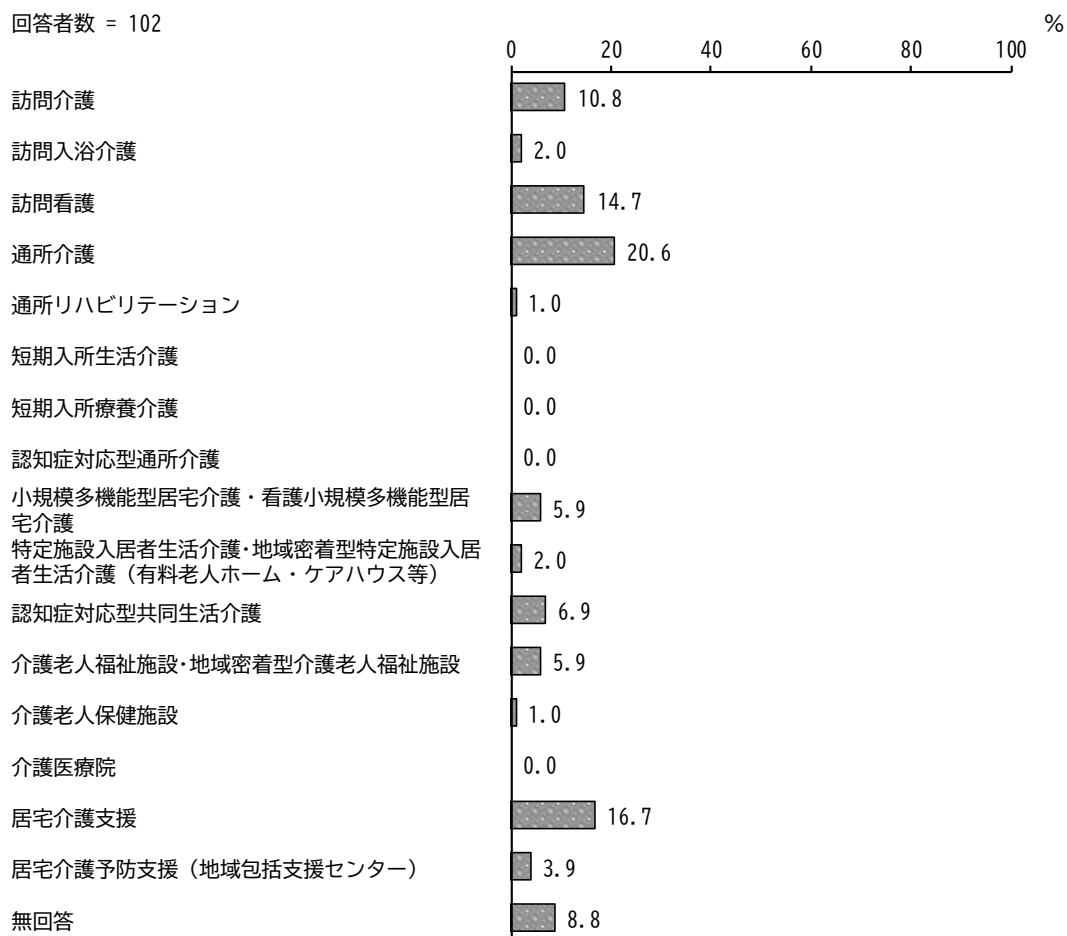
2025 年の 1 年間の離職者数

2025年の1年間の離職者数は、正規職員、非正規職員とも「0人」が最も高く（それぞれ52.0%、50.0%）、次いで「1人」（それぞれ24.5%、19.6%）となっている。また、正規職員と非正規職員の合計でみると、「0人」（37.3%）が最も高く、次いで「1人」（28.4%）となっている。



提供サービス

「通所介護」の割合が 20.6%と最も高く、次いで「居宅介護支援」の割合が 16.7%、「訪問看護」の割合が 14.7%となっています。



(2) 介護サービスの状況

貴事業所の利用者のサービス等の利用にあたって、市内の介護サービス（居宅サービス、施設サービスなど）の状況をどのように感じていらっしゃいますか。

サービス名（意見件数）	利用しづらい状況など（主な意見）
訪問介護 （11 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスを利用回数を増やすと訪問介護が導入できない、少なすぎる ・ 訪問介護スタッフが不足していると聞きます。 ・ 土・日・祝対応可能な訪問介護員が不足している。 ・ ヘルパー不足、朝や夕方遅め等、利用しづらい。
通所介護 （3 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 味噌地区に集中している。 ・ 短時間の通所サービス
通所リハビリテーション （2 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所リハビリがもう少し増えると選択肢が増える気がする。
短期入所生活介護 （ショートステイ） （2 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイの数が少ない。緊急時の対応が難しい時がある。
施設サービス （特養・グループホーム等） （3 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設（特養・グループホーム）は、待ちがなく入れる場合が多い。待機してもらっても他の施設に空きがあり、決まることが多いので、充足している。ナーシングホームもすごく増えていると思われる。 ・ グループホームが少なく感じます。
居宅介護支援 （6 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅支援事業所など軽度者を重点的にケアプランの作成をしていただける事業所が少ない印象があります。 ・ ケアマネジャーの不足（定年、離職） ・ 介護支援専門員の数少なくサービス利用に至るまでに時間を要する。
移動・外出支援 （介護タクシー等） （2 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシーに代わる移動サービスの充実 ・ 外出できるように、介護タクシーの料金の支援など
訪問入浴介護 （1 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問入浴の事業所は少ないと感じますが反面私用単位も多いのでどれだけ利用が出来るのかという思いもあります。
10 その他 （8 件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフォーマルサービスの周知が少ない。 ・ 看護小規模への紹介、周知が乏しい。

(3) 在宅介護の支援

要介護者が在宅で生活を続けていくために必要な支援や現在の課題等があれば、自由にご記入ください。

※貴事業所のサービス利用者だけでなく、小牧市全体でお考え下さい。

① 医療的なケアが必要な方（医療と介護の連携）

●早朝、夕方、夜間、土日のサービス不足

- ・夜間の利用は、点数が高い、週に何回も利用する場合はオーバーする。
- ・休日、時間外、新規往診を必要となる高齢者の支援の協力体制について

●訪問診療、往診の充実

- ・デイ利用中の往診の依頼が何度かありました。
- ・往診可能な病院、訪問介護事業所が少ない。
- ・通院が難しい方など、往診に来てもらえると良いと思う。（介護者の負担が軽減）

●訪問看護の充実

- ・入院施設のある病院へ通院中の方が訪問看護対象となった場合指示者が必要となる。
- ・訪問看護師の不足
- ・訪問看護を利用する際に単位数が見合わない事もある。

●介護・生活支援等サービスの充実・課題

- ・医療的ケアがスムーズに行えない可能性がある。
- ・サービスには限界があるので毎日頻回に吸引が必要な方や1日3回経管栄養は介護者必要
- ・医療的なケアが必要な方のショートステイやレスパイト

●情報共有、連携

- ・主治医につながりにくく、指示書発行までに時間を要し、開始が遅れることがある。
- ・各担当者の情報共有不足・主治医不在時の判断が家族や介護職に委ねられやすい。
- ・電子カルテの普及が進むと事業所間の情報共有がスムーズに行える。
- ・在宅診療以外、大きな病院との連携がとりにくい。

●人材確保・配置、育成

- ・ヘルパーで吸引できる方が増えると良い。
- ・訪問介護の依頼について、人員不足を理由に断られることが増えた。

②認知症高齢者への対応や環境

●サービスの充実・体制整備

- ・安心して過ごせる環境が必要。家族だけでは負担が大きいため介護サービスをどんどん使え
るとよいが使える単位数には限界がある。
- ・認知症対応型のデイサービス等の施設は今後も需要が増すと思います。
- ・認知症初期症状が出ている時に誰もかかわっておらず、ひどくなってからいきなり、グルー
プホーム入居の相談がくることがあるので、その支援が充実すると良い。

●生活援助・独居支援

- ・配食弁当を頼んでも食べられていない事が多い。
- ・独居認知症の方の支援体制
- ・1人で住んでいる方もいるので、訪問介護との連携

●居場所・参加の機会

- ・年をとったら高齢者アパートにすみかえた方がよいと思う。
- ・できる範囲で慣れ親しんだ活動に参加の機会（孤独にならないように）

●地域との連携・啓発・見守り

- ・地域の見守りシステム
- ・安心した町作りが必要

●家族・介護者への支援・理解

- ・家族の知識が十分でないため、在宅での生活が難しくなる場合が多い。
- ・家族や地域の方の認知症に関する理解の啓発。相談窓口の周知。
- ・家族だけでは対応しきれない、負担の軽減と理解をしてほしい。

●企業の理解促進

- ・認知症サポーターは企業を含め多くの方がなれると良い。商業施設にサポーターがいるマー
クがはってありそのような施設が増えると良いと思います。
- ・地域の方やお店の方に認知症に対する理解が十分に広まっておらず、ご意見をいただくこ
とがある。

●制度・認定・人材に関する課題

- ・人材確保と人材育成のサポート
- ・本人が介護や受診を拒否するケース・症状の変動が大きく、サービス量の見極めが難しい
- ・ハラスメントとならない様な、勉強会を行ってゆくと良いかと思う。

③介護ロボットや介護用機械の導入

<ul style="list-style-type: none">●利用しやすさ・操作性・安全性<ul style="list-style-type: none">・簡易で軽量の機械の開発・認知症状がある方が混乱する。操作が難しい。
<ul style="list-style-type: none">●費用負担・助成金・制度<ul style="list-style-type: none">・レンタル、補助があれば利用してみたい。・責用支援が必要・費用負担が大きく導入しにくい。・リースを安価にできる仕組みを作してほしい。
<ul style="list-style-type: none">●支援内容・活用方法・必要性<ul style="list-style-type: none">・認知症の方の見守りにもっと活用してほしい。・入浴時の介助負担を減らすためには必要
<ul style="list-style-type: none">●介護・機械に対する抵抗感・考え方<ul style="list-style-type: none">・機械に世話されることへの抵抗感や不安
<ul style="list-style-type: none">●情報提供・普及・周知<ul style="list-style-type: none">・どんなものがあるのか具体的に知る機会が身近であると良い。・介護ロボットについて多くの事を知りたい。プラスの場合マイナスの場合全国でどの位利用しているのか？・多種多様な機種があり、どれが良いか、判断が難しい。・導入事例を知らない。

④その他

●情報提供、周知

- ・地域の方との情報共有（個人情報の問題など）
- ・家族の方の情報や理解が十分でないため、早い段階で施設入所を選ばれるケースがあります。

●サービス内容

- ・日常のちょっとした困りごとを支援してもらえると助かると思います。独居だけでなく、同居家族がいても頼みづらいという話をよく聞きます。
- ・生活困難者、身寄りのない方の支援で制度の間により対応に苦慮することがある。
- ・災害時の連携について、単身世帯、老老介護の方や障がい者など、一人ですごすことが不自由な方への支援

●人材不足、業務軽減

- ・訪問介護事業者についての存続危機感がある。
- ・必要な支援に時間をかける為提出物の削減やペーパーレスをどんどんすすめてほしい。

(4) 要支援者・事業対象者の支援について

要支援者などが介護保険サービス以外に「地域のサロン」や介護予防事業等に参加しやすくするために必要な支援や現在の課題等があれば、自由にご記入ください。

●送迎

- ・移動手段。一人では目的地まで行くことが難しい。
- ・送迎が必要
- ・自分で歩いて行けられる方ばかりではないので、シャトルバスなどの利用ができれば支援の方も参加でき、地域との交流も図る事ができる。
- ・会場までの移動手段が乏しい地域も多いときく。
- ・歩道のない道や坂も多く、地区の会館でのサロンにも参加できないことが多い。送迎でなくても地域の住民やサロンスタッフが徒歩で迎えに行くなど連れ出してくれるサービスがあると参加しやすいと思う。一人では心配だが誰かと一緒にあれば歩いていける人が大勢いると感じている。
- ・移動手段がない方も多いので手伝いのできる方などの育成

●周知

- ・何のサービスがあるのか分からない人がいると思うためアプローチの仕方の工夫
- ・介護予防事業についてもっとPRしてもらいたい（いつ、どこでやるか、あまり知られてない）。
- ・支える側も高齢化が進んでいるので難しいと思いますが、地区で検討していく周知の働きかけを工夫していただく必要があると思います（地域支え合い推進員の活動）。
- ・地域サロンの定義で、介護サービス利用中でのサロン利用はよくないなど、どこまでサービス事業所としてかわれるのか、わかっていない現状がある。サロンと介護保険のサービスの違いなど分かりやすい説明があると良いと思います。

●利用しやすさ

- ・心理的な不安を軽減する工夫が重要だと考える。「高齢者向け」「介護予防」といった表現ではなく、気軽に参加できる名称にすることで抵抗感を減らせるのでは？
- ・年齢が若い方もいるので、若い年齢向けのサロンがあっても良いかも知れません
- ・男性はそのような場に参加しにくい、現実もあるのでは…
- ・サロンの雰囲気、なじみにくい

●活動内容

- ・行きたいと思えるようなイベント、プレゼント
- ・こまき山体操など介護予防 子ども達も参加してみては？

●参加のきっかけ作り、協力体制

- ・ご自身で動けるが、他者との関わりを持ちたくない方をどのように地域に入りやすくしていくかが課題と考えます。
- ・なかなか1人でサロンへの参加が難しいと思うので、地域活動として、近所や地区で集合して、参加するなどがあればいいのかなと思います。
- ・移動手段や情報（声掛け「来て下さい」では、行きにくい。「一緒に行きませんか」と参加しやすい声掛け）

(5) 貴事業所の介護人材について

①資質向上のための取り組み

(ア) 訪問系

●事業所内での研修

- ・オンライン研修（①上期②下期③個別目標に合わせた年間研修）
- ・身体拘束廃止、虐待防止、感染症予防の研修を3ヶ月に1回
- ・訪問介護職員全員月1回ケース会議事例検討
- ・3ヵ月に1回認知症ケアや倫理、法令
- ・月1回、BCP、虐待、感染症、認知症、ハラスメント、嚥下、介護保険制度、災害、コミュニケーション、メンタル
- ・年1回ハラスメント、虐待、感染対策。看護ケアの質を高める為の症例検討年2回
- ・全職員を対象に個別面談や勉強会を月1回開催

●事業所外での研修

- ・年1回～2回ポジショニング研修、サービス提供責任者の研修等
- ・学会参加
- ・特に新人を対象とした利用者様宅で介護研修
- ・経営に関する研修 年5回
- ・リーダーシップ研修、レク研修 随時

●上記以外の取組

- ・資格取得支援、補助
- ・月に1度カンファレンス行う 月に1度ヘルパー会議

(イ) 通所系

<p>●事業所内での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2ヶ月に1回ミーティングにて感染症、防災、虐待他・ 1ヵ月に2～3回の研修あり、月によりテーマが設定・ 全員月1虐待防止、感染症予防、BCP研修・ 各種委員会の開催（2回／月）、全職員・ 研修の伝達講習（全職員月1回）、新人育成プログラム、キャリアアッププログラム（定期見直し）・ 毎月実施 1年間の予定をたて必須研修中心に実施・ 毎月1回全職員、理念・事故防止尊厳
<p>●事業所外での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ キャリアパス研修、現場（スタッフ）・ 介護職員のメンタルヘルスケア研修・ ハラスメント、認知症の方への対応等・ 半年に1回外部研修又はオンライン研修
<p>●上記以外の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2ヶ月に1回くらいの頻度で外部講師を招いて研修 オンデマンド研修への参加・ 不審者対策（さすまたの使い方）・ 定期的な面接を行っている。

(ウ) 短期入所系 ※該当事業所なし

(エ) 小規模多機能型居宅介護と認知症サービス事業所

<p>●事業所内での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 法人内合同での研修（月1回）法定研修＋グループワーク・ 全職員対象に各種委員会の開催（2回／月）・ 法人内研修、毎月、法定決められた研修内容プラス必要な介護研修・ 毎月オンラインで講師による研修を施設内で行っている。
<p>●事業所外での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 老社協主催の研修、不定期・ 全スタッフが年度初めに目標を立て、何か1つ以上の研修に参加・ 管理者、月2回、コンプラ研修・ 特定研修への参加 実務者研修への参加
<p>●上記以外の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他事業所との交換研修（同日日に日勤スタッフが入替って研修を実施）・ eラーニングでの個別学習・ 入職者に対し、その方のスキル、経験値に合ったチェック表を使い入職研修をする。

(オ) 施設系

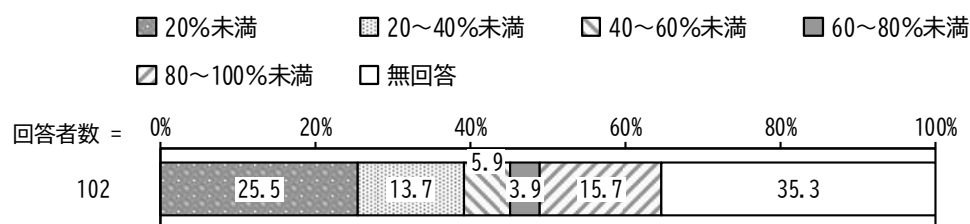
<p>●事業所内での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 毎月オンライン研修・ 月1回社内ミーティング・ 毎月、高齢者虐待防止、身体拘束の防止、自動車の安全運転講習、接遇等・ 2回年の他事業所との合同研修、約毎月1回の社内研修、入社時の新任研修・ 介護支援専門員に必要な研修実施・ 毎週行う定例会・ 月1回、介護技術等・ 全職員対象に、月2～3回程実施。法定研修＋必要と感じている内容を選定・ 毎月1～2回全職員で研修会レポート提出を行っています。
<p>●事業所外での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2か月に1回程度 他職種連携や重層化支援、主任ケアマネ更新研修、調査員研修等・ ICT関連研修・ 年2～3回ケアマネ、訪問介護の内容・ 法人主体の研修（年10回程）、外部研修受講（必要に応じて）・ 外部講師による研修会を3ヵ月に一度
<p>●上記以外の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他のケアマネジャーや他職種交流・ 法人居宅部会での研修 毎月・ 外部の方にセルフキャリアドックを行ってもらっている各職員年3回程個別にて

(カ) 居宅介護支援

<p>●事業所内での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 対象は全員とし、月一回のミーティング後に開催。内容は「感染予防」「虐待防止」「ハラスメント防止」「BCP石研修」等・ ジョブメドレー（毎月決まった項目）で研修を実施している。・ 職員全員を対象としたハラスメント研修(法人)、感染防止・BCP等(施設内)
<p>●事業所外での研修</p> <ul style="list-style-type: none">・ 対象は全員で、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域推進員の各専門研修・ 事例検討会（井戸端会議3回／年）、法人内の研修（2回／年位）・ 虐待防止、認知症地域支援推進員活動強化。主任介護支援専門員更新等
<p>●上記以外の取組</p> <ul style="list-style-type: none">・ ケアマネジメント支援推進部会で、包括職員向け、資質向上研修を開催

昨年度の外部研修受講者数

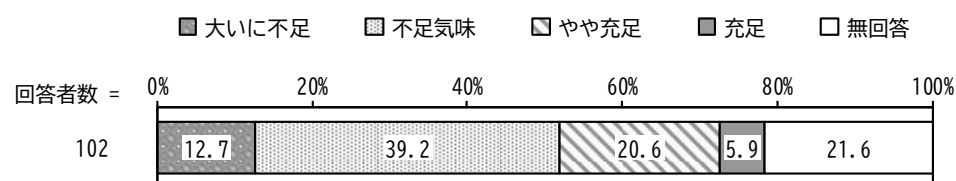
職員数に対する昨年度の外部研修受講者数の割合は、20%未満（25.5%）が最も高く、次いで80～100%（15.7%）となっている。



②貴事業所における、介護人材の充足状況

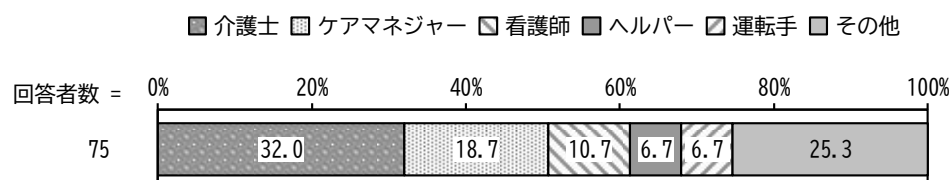
貴事業所での介護人材の充足状況

「大いに不足」「不足気味」を合わせた“不足”の割合が51.9%、「やや充足」「充足」を合わせた“充足”の割合が26.5%となっています。



特に不足している人材

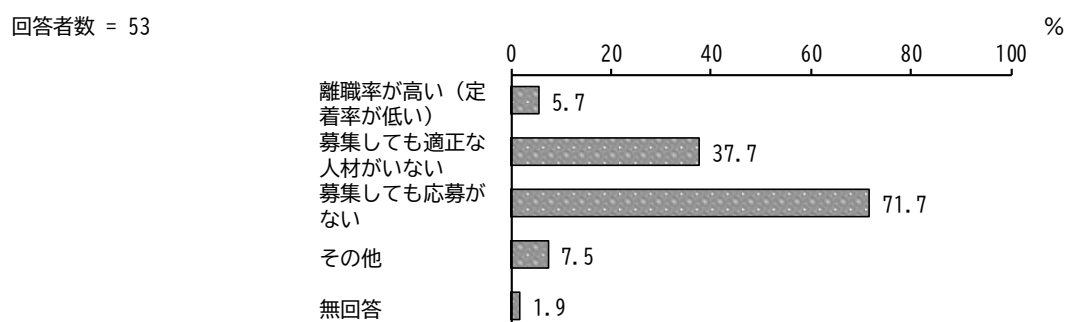
「介護士」が最も多く、32.0%となっています。また、「その他」には「生活相談員」「早朝勤務スタッフ」などが挙げられています。



※介護人材が不足している事業所のみ

③介護人材が不足している理由

「離職率が高い(定着率が低い)」の割合が5.7%、「募集しても適正な人材がない」の割合が37.7%、「募集しても応募がない」の割合が71.7%となっています。



介護人材の採用や育成について、支援してほしいことがあれば自由にご記入ください。

●情報発信

- ・ 合同企業説明会。新卒・転職向けフェアがあれば参加したい。
- ・ 市の配布誌などに求人掲載してほしい。
- ・ 介護業界そのものに魅力がない、という認識が強く専門コースの学生も違う分野に行くとかそもそも定員割れしていると聞きます。若い世代から介護分野の魅力、触れる機会があるといいと思います。

●研修、講習会

- ・ 介護事業における運転技能講習があると良い。
- ・ 外国人技能実習生への語学指導。
- ・ 小牧市で初任者研修を開き人材育成をし、小牧市内の施設を紹介していただく。
- ・ 接遇マナーに関する研修を実施してほしい。または効果的な取り組みを発信してほしい。

●制度、仕組み

- ・ 事業所と人のマッチング…アプリのように簡単に募集、応募ができるようになるとうい。
- ・ 入社してすぐにやめてしまう事が多いので、入職祝いや1年続けたらお祝い金が出るような補助金があるとよい。
- ・ 人材紹介
- ・ 現状は人員不足ではありませんが、今後を見据え、次世代を担う介護職員の育成を目的とした具体的な施策を行政に求めたい。
- ・ 有資格者の登録バンクなどがあればと思います。

●経済的援助

- ・ 人材紹介会社からの紹介料補助、派遣費用の補助
- ・ 採用については賃金も大きく関わっていると思うため地域等級をu pするとういと思います。
- ・ 職員の処遇改善

（６）施設サービス事業所・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入所者生活介護事業所の入所状況について

施設サービス事業所・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入所者生活介護事業所の方におうかがいします。貴事業所において、2025 年の 1 年間の下記の状況について教えてください。

施設サービス事業所・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入所者生活介護事業所（「提供サービス」の質問で「10、11、12、13、14」と回答）に、2025年の1年間の、「2025年に入所された方」、「2025年に入所待ちの方で入所案内をしたものの、入所辞退された方」の状況を聞いたところ、入所された方の合計が191人、辞退された方の合計が99人であった。

	2025年に入所された方 合計	2025年に入所待ちの方で入所案内 をしたものの、入所辞退された方 合計
合計	191人	99人
うち 介護保険施設	133人	76人
うち 介護保険施設以外	58人	23人

(7) B C P (業務継続計画) について

感染症や非常災害の発生時において介護サービスを継続的に実施するため、2024年4月よりB C Pの策定が義務化となりましたが、災害時最も必要と考えられるものや課題について自由にご記入ください。

●物資・備蓄・インフラ

- ・災害の影響が長期となった際の物資、医療的な対応の限界
- ・非常電源や水などのライフラインの確保が一番だが、備蓄できるものがなかったり、あっても少なかったりと確保場所もない状態
- ・電気、水道の確保が最優先と考えています。
- ・車イスの台数増やす。
- ・帰宅困難となった場合の食量の確保が課題
- ・ライフラインや、食料等は皆の目が向くので、意外となんとかなるのではと思うが、被災直後のマンパワーや、ゴミ・排泄物（トイレ含む）の問題を懸念している。
- ・電源、燃料の確保
- ・冬場の暖房機器と夏場の冷房機器

●連携・情報共有・連絡手段

- ・他職種、同職種との連携
- ・情報共有、要援護者の情報を共有しておくことが大切と考えます。
- ・介護事業所と介護サービス関連の担当者、ご家族との地域ネットワーク
- ・早期の感染症についての情報の共有。
- ・仕事中に災害がおきたら、隣接している市町村との協力が今後必要
- ・情報、人材、医療機関との連携（情報収集の手段ツール）

●人材・人員確保

- ・避難所への移動や人員の確保が難しい。
- ・実際職員がかけつけられるか、利用者を自宅へ帰すことができるのか。
- ・職員も被災するため人員確保が困難と思われる。

●安全確保・避難・生活支援

- ・独居高齢者で認知症のある方が支援が入るまでの間、一人で過ごせるのか避難所へ行けるのか、その際の支援は必要であると思う。
- ・従業員の安全を守ること。利用者様への支援をどこまで行えるか。
- ・利用者の安全、生活支援を継続するための優先業務の整理が課題である。

●備え・訓練・計画

- ・スタッフの数の把握や安全に避難できるよう訓練し、業務の優先順位を考える。
- ・災害時は職員に対して、それぞれの役割を確認しておく。
- ・災害の規模が明確でないため、どこまでを想定してよいか迷います。
- ・職員一人ひとりが、B C Pの全体像を把握することが必要。

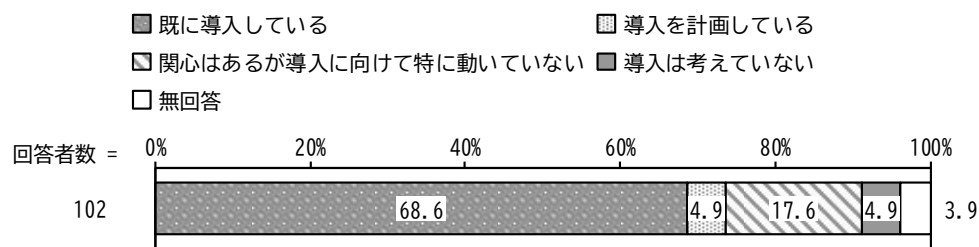
●行政への要望・その他

- ・人材確保。事業連絡会などで災害の件の研修等行っても市の方は来ない。現場で何がおこっているのか 施設や、訪看などに頼るだけでなく、市として何を手伝ってくれるのか示してほしい。例) 自家発電の軽油代金補助など…点検費用、施設の場所提供代金など
- ・行政のリーダーシップに期待

(8) ICTを利用した業務について

7-1 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(〇は1つ)

「既に導入している」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「関心はあるが導入に向けて特に動いていない」の割合が 17.6%となっています。

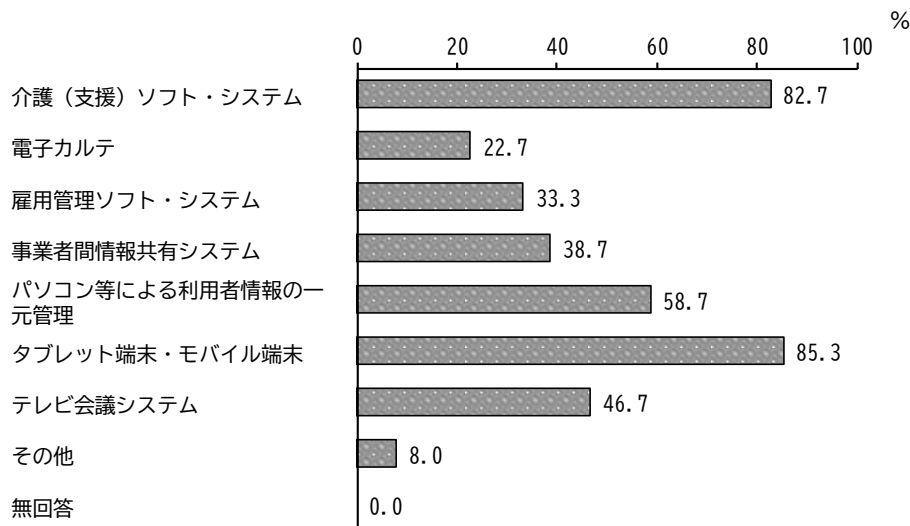


【7-1. で「既に導入している」または「導入を計画している」と回答した事業所にお聞きします。】

7-2 貴事業所ではICTを利用して業務を行っていますか。(複数回答可)

「タブレット端末・モバイル端末」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「介護（支援）ソフト・システム」の割合が 82.7%、「パソコン等による利用者情報の一元管理」の割合が 58.7%となっています。

回答者数 = 75

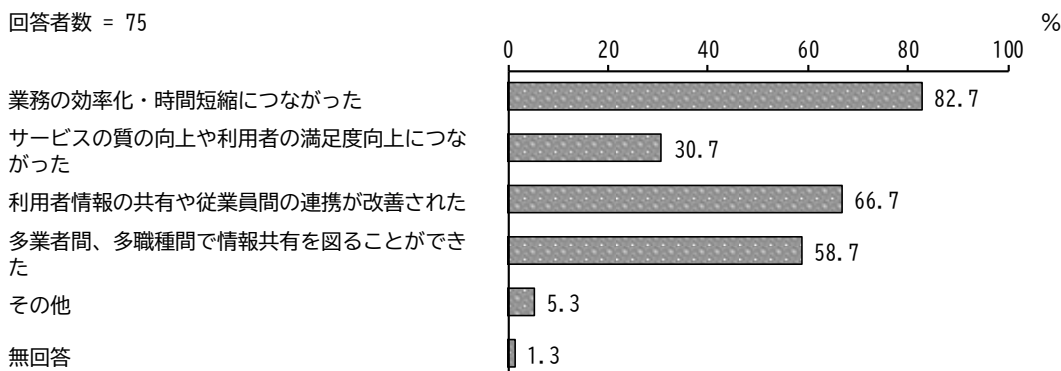


【7-1. で「既に導入している」または「導入を計画している」と回答した事業所にお聞きします。】

7-3 ICTを導入してよかったことや効果があったことを教えてください。(複数回答可)

「業務の効率化・時間短縮につながった」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された」の割合が 66.7%、「多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた」の割合が 58.7%となっています。

回答者数 = 75

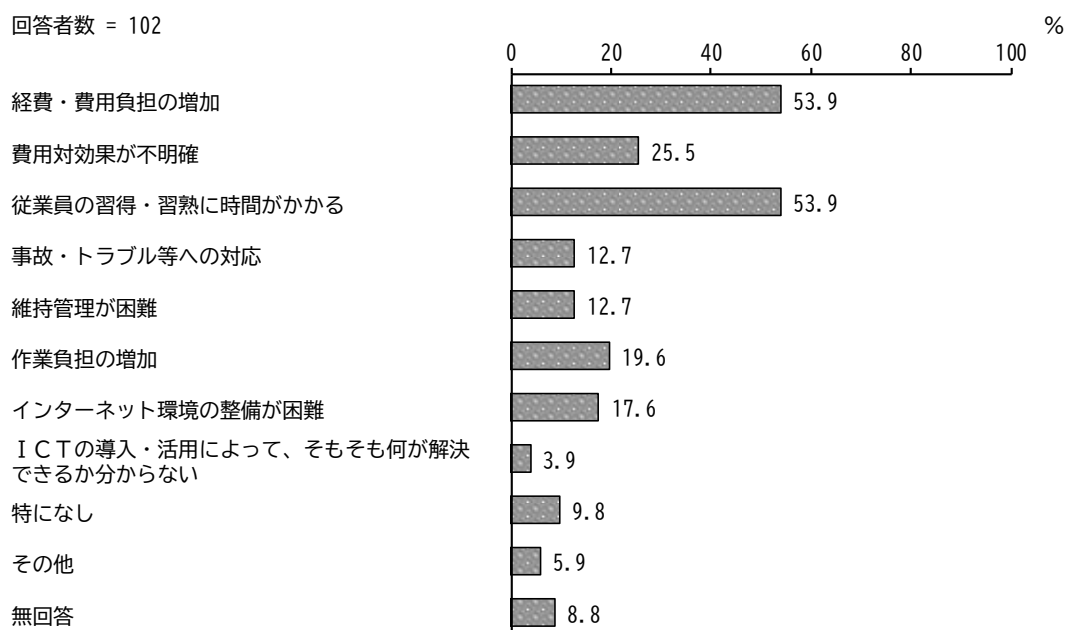


【7-1の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。】

7-4 ICTの導入・活用にあたって課題があれば教えてください。（複数回答可）

「経費・費用負担の増加」、「従業員の習得・習熟に時間がかかる」の割合が53.9%と最も高く、次いで「費用対効果が不明確」の割合が25.5%となっています。

回答者数 = 102



(9) 介護情報基盤の活用について

8. 介護情報基盤を活用するにあたり、課題等があればご記入ください。

●IT スキル不足・運用負担

- ・使える人しか使えていないのが現状。全員が使えるようになってこそ、初めて業務効率のUPにつながる。
- ・職員の理解不足や操作負担
- ・電子入力に慣れない職員に対する業務指導
- ・作業効率化や正確性向上の観点から必要性は感じてますが職員の高齢化もあり、理解、習得に時間を要するケースが多いのが現状です。

●システム連携・統一化の課題

- ・事業者間情報システムを統一できるとやりとりがスムーズかと思います。
- ・ケアプラン、提供者、実績のやり取りをPCで完結する仕組みができれば、印刷費の軽減、業務効率化につながると思います。
- ・介護情報基盤と情報公表の相関性が理解できていない。一本化して欲しい。
- ・システムに統一性（互換性）がない。

●コスト・環境整備

- ・端末の増設費用かかる。
- ・システム導入に係るコストがどれくらい必要なのか（カードリーダー購入等）。
- ・金額が高額なものが多く、リースなどのお試しなどがあれば良い。

●セキュリティ・個人情報保護

- ・個人情報保護等の法律の壁が課題と感じる。
- ・セキュリティー対策

●多職種・機関間の情報共有

- ・他機関との連携の難しさ
- ・医療関係者、地域関係者との情報を共有できていない。
- ・災害時に誰もが必要な情報を閲覧できるようになると良い（利用者情報）。

(10) 小牧市の介護保険事業について

9. 小牧市の介護保険事業において日頃感じていることや提案

●人材不足、事業所不足

- ・訪問介護事業を閉鎖する流れが全国的に広がっている。独居者等の支援についてこれからもっと困難ケースが増え、サービスにひっかからない人への対応等にも力を入れる必要がある。
- ・利用者がサービスを選ぶ事が困難となり、サービス事業所が利用者を選ぶ様になってきている。
- ・入職者を増やしたい。

●情報提供、情報共有

- ・情報提供（メールでの案内）など助かっています。
- ・こまきつながるくんが他システムと比べて使いづらい。他システムのようにタブレットやモバイルに特化したアプリがあるとありがたいです。

●要介護認定

- ・小牧市は主治医の意見書をどのようにみているのか？主治医の意見書には認知やもの忘れ等について詳しく書いてくれてありましたが要支援だった。
- ・認定調査が適性に行われていると感じるが判定が厳しいと感じることもあります。
- ・身体機能に支障がない認知症の方や精神疾患の方について、特に独居だと周囲(地域)の人が困ることが多いにもかかわらず、認定が軽くなる。同様に、がん末期で進行が早い病気の方についても、現状が動いていると支援1となるが、認定が出た頃には病状が悪化しておりより多くのサービスが必要になることがある。

●制度、仕組み

- ・利用者の生活を支える重要な制度だと感じる一方、制度の複雑さが課題である。
- ・介護保険において地域区分の見直しが行われるのでしょうか（医療も同様かもしれませんが）。
- ・開示決定通知書を後日郵送ではなく、申請した時に預けるとありがたいです。
- ・総合事業の書類を他市町村と統一化

●行政の対応

- ・時間短縮（公務対応）のため問い合わせに不十分さを時々感じる。
- ・事業所にわからない事を確認してくるが、その際にサービス面についての小言を言われたり、質問の仕方に嫌な気分になった事が時々あります。
- ・地域への支援に対して、先導的になってほしい。

